迷わず塗れる！ 肌の色から決める

キャラ塗り配色レシピ。

ディープブリザード

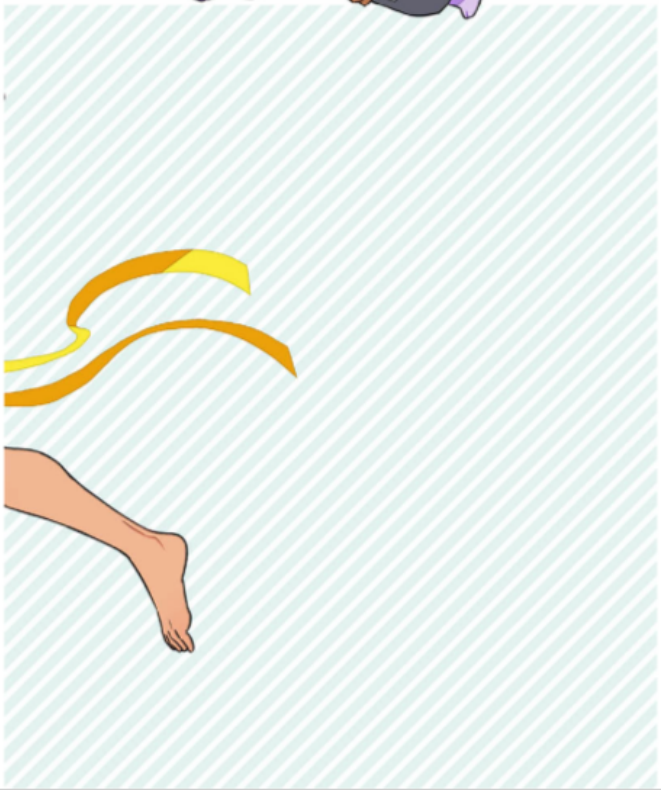
マイナビ

ディープブリザード

YouTubeやXで初心者に向けたイラスト入門動画を中心にお絵かき講座を公開している。YouTubeのチャンネル登録者数は40万人（2026年2月現在）。
著書に『魔王とはじめる! iPadキャライラスト Procreateを使った簡単&時短テクニック』（KADOKAWA）、『ディープブリザードといっしょに! いちばんたのしいコピック』（日本文芸社）などがある。

［YouTube］
https://www.youtube.com/@deepblizzard

［X］
@mao_DBmiyuki



迷わず塗れる！ 肌の色から決める

キャラ塗り配色レシピ

ディープブリザード［著］

マイナビ

- 本書の特典について -

Chapter 1 で紹介している「入門カラーパレット」をダウンロードできます。
使用方法は 15 ページ以降をご確認ください。

https://book.mynavi.jp/supportsite/detail/9784839988845_tokuten.html

■本書は 2026 年 2 月段階での情報に基づいて執筆されています。
■本書に掲載しているRGB 値およびCMYK 値は、Photoshop で確認しております。ご使用の環境やイラストソフトによっては、表示や色の数値がわずかに異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
■本書に登場する製品やソフトウェア、サービスのバージョン、画面、機能、URL、製品のスペックなどの情報は、すべてその原稿執筆時点でのものです。執筆以降に変更されている可能性がありますので、ご了承ください。
■本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としております。したがって、本書を用いての運用はすべてお客様自身の責任と判断において行ってください。
■本書の制作にあたっては正確な記述につとめましたが、著者や出版社のいずれも、本書の内容に関してなんらかの保証をするものではなく、内容に関するいかなる運用結果についてもいっさいの責任を負いません。あらかじめご了承ください。
■本書中の会社名や商品名は、該当する各社の商標または登録商標です。そのほか、本書中の会社名や商品名は、該当する各社の商標または登録商標です。本書中では™ および® マークは省略させていただいております。
■本書の訂正情報はこちら：https://book.mynavi.jp/supportsite/detail/9784839988845.html

はじめに

色選びに、いつも少しだけ迷ってしまうあなたへ
はじめまして、我はお絵描き魔王ディープブリザードなのである！
この本を読んでおるあなた！！　髪や瞳の色にはこだわるのに、肌の色はなんとなく決めておらぬかの？　実は、キャラクターの印象をもっとも大きく左右するのは「肌」なのである。肌の色が決まると、影が決まり、髪が決まり、瞳が決まり、キャラクター全体に自然な物語が生まれるのである！
何を言っているのか？　本当なのか信じられない？
この本では感覚や勘に頼るのではなく、「肌」を起点に配色を組み立てる方法を丁寧に解説するのである。「もっと自分の色を理解したい」「配色に自信を持ちたい」と願っているのなら、この一冊はきっと力になるのであるぞ。
さあ、迷わず塗れる喜びを一緒にはじめようである！

2026 年 3 月
ディープブリザード

うーん……？
かき
かき

なーんか色塗りが
いいかんじに
ならない…
はあ…

線画はかわいく
できたと思うん
だけどな～？
ん～～～～？

誰か色塗りの方法
教えてくれないかな～…
その悩み…
ピアアアア…

お絵描き魔王
ディープブリザードが
解決しちゃうのであ…
モガッ!?
バキィ!!

モガ
その悩み…
お絵描き魔王…
モガ
パラ…パラ…
言い直すよりも
早く天井から
降りてきて！

ぷはっ
うぬの素敵な線画とお悩みに
我は呼び出されたのである
素敵な線画!?

そのー…色塗りが
いい感じに
できなくってぇ…
スス…

どれどれ
おー　これは
たしかに可愛い…

どよ～ん
…虹色地獄から
やってきた
悪魔少女かの…？
ちがいますっ！
推しのアイドルです！
であるならば
バランスが取れて
おらぬのであろう
バランス？
つまり
すべての色を「主役」に
しようとして色同士が
ケンカしてるのであるよ
はー！
言われてみると
たしかに……
色塗りに迷ったときは
主役になる「最初の１色」を
決めて、相性の良い色を
組み合わせるのである！
シャキーン
そこで魔王が
よくやっている
「最初の１色」は…
ゴゴゴゴゴゴ

キャラクターに欠かせない
「肌の色」
なのである！
イエーイ…！
肌の色をまず決めて、
髪や瞳の色を選べば
自然とまとまるのである！
肌の色を決めると！
まとまらなくても…
ホントだ！
この本を読めばうぬも自然と
キャラクターを塗るための
知識を得られること間違いなし！
である！
この色は？
こっちもいいかも！
わい
わい
ほーら、
始めるであるよ！

目次

本書の特典について　004
はじめに　005

CHAPTER 1 | 色選び入門編！ 色について知ろう …… 013

1 | 入門カラーパレットを使ってみよう …… 014
2 | 色の基本①「色相環」を知ろう …… 026
3 | 色の基本②「彩度と明度」を知ろう …… 031
COLUMN メリハリを生む髪色の明度調整 …… 036
4 | 肌の色から選ぶキャラクター配色法 …… 037
COLUMN イラストを描くときに知っておきたいRGBとCMYK …… 040

CHAPTER 2 | まずはここから決めよう！ 肌と影色のレシピ …… 043

1 | オレンジベースの影色配色レシピ …… 044
2 | イエローベースの影色配色レシピ …… 048
3 | ブルーベースの影色配色レシピ …… 052
4 | 明るい褐色ベースの影色配色レシピ …… 056
5 | 濃い褐色ベースの影色配色レシピ …… 060
6 | ファンタジーベースの影色配色レシピ …… 064

CHAPTER 3 | 肌の色から決める 髪色のレシピ …… 067

0 | キャラクター配色における髪色の役割 …… 068
1 | オレンジベースの髪配色レシピ …… 070
2 | イエローベースの髪配色レシピ …… 075
3 | ブルーベースの髪配色レシピ …… 080
4 | 明るい褐色ベースの髪配色レシピ …… 085
5 | 濃い褐色ベースの髪配色レシピ …… 090
6 | ファンタジーベースの髪配色レシピ …… 095
COLUMN ハイライトの色がキャラクターの印象を決める？ …… 100

CHAPTER 4 | 肌の色から決める 瞳の色のレシピ …… 101

1 | オレンジベースの瞳の配色レシピ …… 102
COLUMN 色に正解はない！ …… 109
2 | イエローベースの瞳の配色レシピ …… 110
COLUMN 瞳の影をアレンジして印象を変えてみよう① …… 117
3 | ブルーベースの瞳の配色レシピ …… 118
COLUMN 影色を変えて生まれるキャラの魅力 …… 125

4 | 明るい褐色ベースの瞳の配色レシピ …… 126
COLUMN オッドアイにするときのポイントは? …… 133
5 | 濃い褐色ベースの瞳の配色レシピ …… 134
COLUMN 瞳の影をアレンジして印象を変えてみよう② …… 141
6 | ファンタジーベースの瞳の配色レシピ …… 142
COLUMN 瞳の影をアレンジして印象を変えてみよう③ …… 149
COLUMN 髪と瞳の組み合わせを楽しもう …… 152
COLUMN 配色レシピを使って色塗りしてみよう …… 154

本書で扱う「肌の色」や「配色レシピ」は、あくまでキャラクターデザインにおける色使いを楽しむためのものです。肌の色・髪色・瞳の色の名称や紹介文についても、創作で使いやすくすることを目的としており、実在の人物や特定の人種・民族・文化・肌の色などを評価・分類したり、優劣を示すためのものではありません。

本書で紹介するレシピは、配色に迷ったときのヒントや、色選びを楽しむための一例にすぎません。本書の内容は創作意欲を高めるためのガイドであり、読者のみなさまが自由に色を楽しみ、自分だけのキャラクター表現を広げるきっかけとなることを目的としています。ご自身の表現スタイルに合わせて自由にアレンジして活用してください。

CHAPTER 1

色選び入門編!

色について知ろう

ここでは特典として用意した入門カラーパレットの使い方を紹介するとともに、色相環をはじめとした色の基礎知識を解説していきます。

「色選びが難しい」「なんとなく感覚で塗っている」という方でも、色の成り立ちや仕組みを理解することで、自分の配色に自信が持てるようになります。基礎を押さえておくと、Chapter 2以降に登場する配色レシピがぐっと使いやすくなり、キャラクターづくりをよりスムーズに楽しく進められるようになります。

1 入門カラーパレットを使ってみよう

◆どの色で塗る？　線画を活かす配色テクニック!

「お気に入りの線画が描けた！　次は色を塗って仕上げよう！」
そこで意外と悩みがちなのが「**どんな色で塗るか？**」ということ。思いつくまま自由に色を塗っていくのも楽しいですが、あれこれ色を使いすぎると、イラスト全体がごちゃついて見づらくなってしまいます。印象に残るイラストを描き上げるためには、全体の雰囲気を左右する「配色」の理解が不可欠です。

どの色で塗るかによって、同じ線画でもイラストの印象はだいぶ変わるのである!

色選び、むずかしすぎるよ～!

●どの色で塗る？　線画を活かす配色テクニック!

本書のChapter 2 以降では、まずはじめに肌の色を決めて、その肌に合う「肌の影」「髪」「瞳」の色を提案していきますが、ここではまず特典の入門カラーパレットを活用して、色の決め方と配色の基本を学びましょう。色について基本の知識があると、Chapter 2 以降の配色レシピもより活用しやすくなります。

肌の色から決めるって、なんだかコスメ選びみたいだね!

肌の色に合う最適な配色を提案しているから、パレットを使うだけで楽に塗れるのである!

カラーパレットを使って色塗りしてみた状態

◆迷わず塗れる！　入門パレットがおすすめの理由

・配色の失敗が少なく、色選びに迷わない！
カラーパレットは肌・髪・瞳の色がセットになっているので、どの色にするか悩むことなくすぐ塗りはじめられます。パレット内の色は相性がよく、組み合わせるだけで自然な仕上がりになるように設計されています。

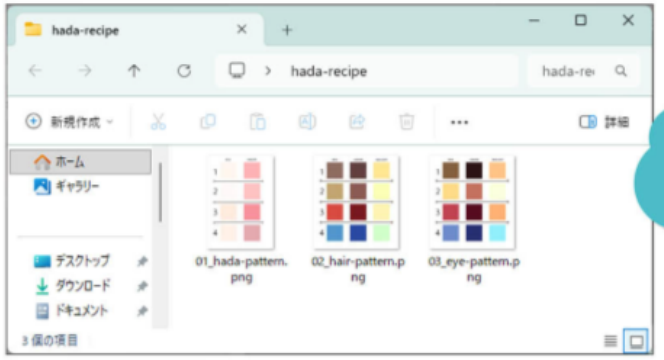
・配色の基本が自然に身に付く
使っていくうちに、どんな色同士が調和するかの感覚が養われます。慣れてきたら、パレットを少しアレンジして自分だけの配色に発展させることも◎

・初心者でもプロっぽい仕上がりに
色の組み合わせが「今っぽさ」を演出できるように計算されているため、初めてでも完成度の高いイラストになります。「うまく塗れた！」という体験によって、お絵描きが楽しくなります。

まずはパレットを使って、感覚的に色選びのコツをつかむのであるよ

◆特典カラーパレットの使い方

ダウンロードしたZip ファイルを解凍して開くと「肌」「髪の毛」「瞳」の3 つのPNG 画像が入っています。「01_hada_pattern.png」が肌、「02_hair_pattern.png」が髪、「03_eye_pattern.png」が瞳の配色パレットです。



魔王秘伝のカラーパレット、心して使うがよい

特典のダウンロード方法は4ページを確認であるぞ

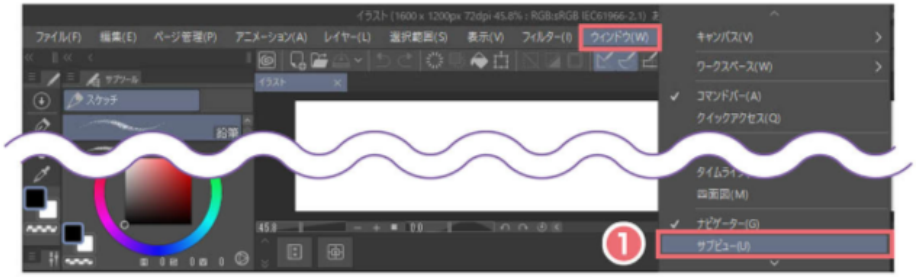
◆カラーパレットの使い方

●［サブビュー］を使ってパレットの色をスポイトしよう

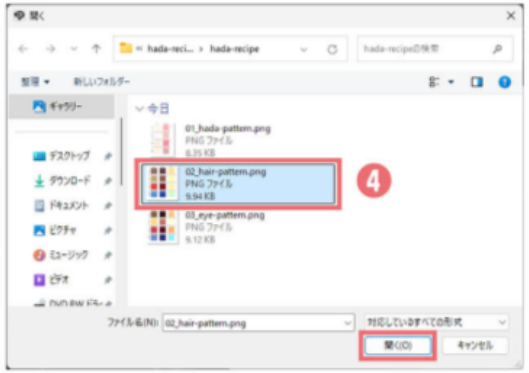
本書の特典として付属しているカラーパレット（PNG画像）は、キャラクターに手軽に着彩するための色見本です。画像内に四角で配置された色は、それぞれ「キャラクターの肌」「影色」など、目的ごとに整理されています。ここでは、CLIP STUDIO PAINTでこの画像を参照しながら、スポイトで色を取り込んで着色する方法を解説します。

●パレットを参照画像として開く

CLIP STUDIO PAINTを開いたら、［ウィンドウ］→［サブビュー］（❶）を選択します。



［サブビュー］が表示（❷）されました。［サブビュー］の画面右下にある［読み込み］を選択（❸）して、表示したいカラーパレット画像を選択（❹）します。



するとパレットが表示（❺）されました。これで、キャンバスで作業しながら、常にカラーパレットを表示した状態で作業できます。

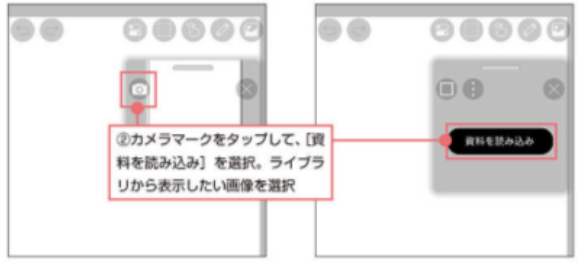
［サブビュー］には 専用のスポイト機能が搭載されています。［サブビュー］左端にある［スポイト］アイコンをクリック（❻）して、サブビュー内の色をクリック（❼）すると、その色が現在の描画色として選択されます。あとは、［ブラシツール］などを使ってそのままキャンバスでキャラクターに着色するだけです！

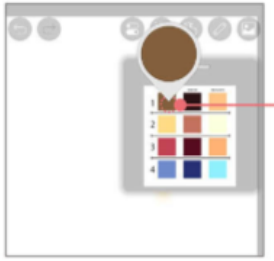
MEMO

複数画像を選択・表示して、右下の◀▶で画像を切り替えすることもできます

◆アイビスペイントで使用する場合

アイビスペイントでも、［参照ウィンドウ］を使用してカラーパレットを表示、スポイトで色を選択することができます。





次のページからは、カラーパレットの色の特徴を「肌」「髪」「瞳」の順に解説していくぞ♪

●肌のパレット

• SKIN COLOR NO.01

ベースはほんのりピンクがかったやわらかい色。影色にも赤みを加えて、やさしくあたたかみのある印象を与える組み合わせに。

「迷ったときにはこれ!」というくらい、魔王が一番ベーシックで使っている肌の色である。他の色を邪魔しないニュートラルな印象で、明るく元気な作風にもピッタリ

明るく親しみやすい雰囲気のキャラクターに

• SKIN COLOR NO.02

ベースは明るく透明感のある色。影も淡い赤系を組み合わせることで、繊細で清潔感のある雰囲気を演出。儚さや清楚さを演出したいときに。

01のベースの色をより明るくした配色である。淡い色を使うので、儚げな印象になる。キャラの印象をやわらかく、おだやかにしたいときには意識的に肌の色を淡くするとよいぞ

夢さやおとなしさ、繊細な印象のキャラクターに

• SKIN COLOR NO.03

オレンジ寄りのベースに赤みの強い影色を合わせた、元気で活発な印象の組み合わせ。

彩度を高くして色を濃くすることで、元気で活発な印象に。01に比べると血色感があり、少年・少女問わず使える明朗快活な配色である。
濃い髪色や瞳の色にも負けないぞ

元気で活発な印象を与える、あたたかみのあるキャラクターに

• SKIN COLOR NO.04

やや落ち着いたトーンのベースに、くすみ感のある影色を合わせた、マットでおだやかな印象の配色。落ち着いた雰囲気を演出。

青みがある落ち着いた影色を組み合わせることで、02とはまた違ったおとなしさを演出。コンクリートグレーや空の色にもなじみやすく、都会っぽいイラストにも合う配色であるぞ

肌の色だけで、たしかに印象が全然ちがって見えるね!

知的で冷静な性格や、落ち着いた雰囲気のキャラクターに

●髪の色パレット

• HAIR COLOR NO.01

落ち着いたブラウンに少し赤みを加えた影色と、やわらかなゴールド系ハイライトが調和。

癖がなく、どんな肌でもどんなキャラクターにも合う万能色。赤み、青みを消したニュートラルで親しみやすい色にしているのがポイント。迷ったときはまず、この色に設定しておけば間違いなしである

• HAIR COLOR NO.02

黄色がかった明るいブラウンに赤みのある影色、淡い黄色のハイライトが加わり、自然で軽やかな印象に。

彩度をやや高め、明度を少し下げた「落ち着きのある輝き」のトーンにすることで、どんなキャラクターにも合わせやすいニュートラルな金髪に。くすませすぎず・明るくしすぎずの絶妙なバランスを取ることがポイントである

• HAIR COLOR NO.03

鮮やかな赤系に深い赤の影色、黄みの強いハイライトが華やかさを強調。

赤は強さや熱量があるため、そのまま使うと暑苦しい印象になりがち。少量のブラウンを影に使って落ち着かせることで、おだやかで大人っぽい雰囲気に整えられる。ハイライトに黄色を使って赤の鮮やかさを引き上げつつ、影のおかげで騒がしくなりすぎないバランスを保っているであるぞ

• HAIR COLOR NO.04

青系のベースに合うパキッとした影色、グリーン寄りのハイライトが爽やかさと透明感を演出。

クールになりすぎない青ベースの髪色。ハイライトに明るい色を使用することで、寒色ながら元気でポジティブな印象になるであるぞ

●瞳の色パレット

• EYE COLOR NO.01

深みのあるブラウンに暗めの影色、あたたかみのあるハイライトが加わり、落ち着いた知的な印象。

イラストに比較的、真面目さやしっかりした印象を出したいときに魔王がよく使用する色である。茶の瞳は「嫌われにくい」瞳の色としても使いやすいであるぞ

• EYE COLOR NO.02

明るいゴールド系の瞳に赤みのある影色とやわらかなハイライトが加わり、華やかで陽気な印象。

アンバー寄りの黄色は、目の輪郭や瞳孔に使うと強い存在感を生む。危険信号にも使われる黄色は刺激が強く、「目力」をぐっと際立たせられる一方で、濃くしすぎると人間離れした印象が強くなる。ベースの色を明るくするなど、やりすぎないバランスを取ることがポイントである

• EYE COLOR NO.03

赤みの強い瞳に濃い影色とオレンジ系のハイライトが加わり、情熱的で印象的な目元に。

わずかにくすませた赤は、上品でやわらかい印象が魅力的。鮮烈な赤にすると攻撃性が強く出るが、彩度を少し落とすことで、赤特有の情熱・強さを残しつつ、深みのある印象になるであるぞ

• 瞳 EYE COLOR NO.04

青系の瞳に深い影色と爽やかなハイライトが加わり、透明感と清涼感のある印象。

ベースに水色を使うことで、青の持つ透明感を残しつつ、過度な主張を抑えた、どんなキャラクターにも使いやすい色味。輪郭や影に少しだけ深いネイビーを入れると、目の奥行きが強調され、知性と清潔感が出せるのである

◆パレットを使って着色してみよう

カラーパレットを使って、実際に配色してみましょう。ここでは「SKIN COLOR NO.01」を使った配色例を紹介しますが、カラーパレットの髪の毛・瞳のパターンは、基本的にどの肌パターンにも合うように調整しています。いろいろ試してみましょう。

●STEP 1 まずは肌の色を決めよう

肌の色は、キャラクターが持つ性格や設定と結びつけて考えると自然な表現につながります。たとえば、活発で健康的なキャラクターなら明るく血色のよい肌色、神秘的なキャラクターなら深みを持たせた落ち着いた肌色など、**キャラクターの性格や雰囲気を明確にし、そのうえで肌色を選ぶことで、配色全体に一貫性が生まれ**、より魅力的なキャラクターをつくりあげることができます。

まずは肌のパターンを選択！　ここではベーシックな「SKIN COLOR NO.01」を選んでみたのである

●STEP 2 髪の毛の色を選ぼう

髪の色はキャラクターの個性や物語性をもっともわかりやすく伝える要素であり、見た瞬間に印象が決まる重要なパーツです。髪色と肌色の明度や彩度が近すぎると輪郭がぼやけてしまうときがあるため、その際は肌より明るくするか暗くするかを明確にしてコントラストをつけましょう。鮮やかな髪色は一般的に活発さやファンタジーっぽさを強調し、彩度を抑えた髪色は落ち着いた雰囲気や現実味を持たせます。

髪の色は情熱の赤を選択

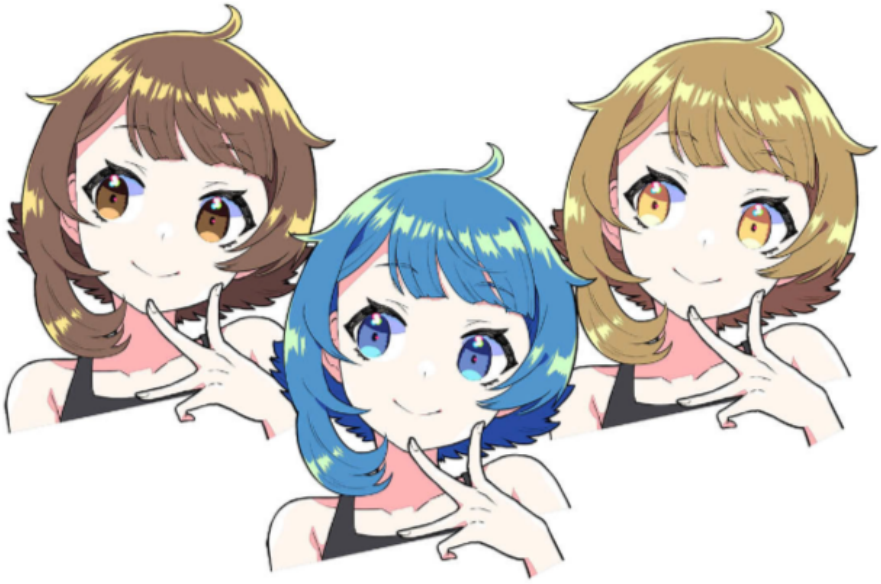
●STEP 3 瞳の色を選ぼう

瞳の色は、イラストの中で視線がもっとも集まりやすいパーツであり、キャラクターの感情や生命力を表現する大切なポイント。そのため、作品全体のアクセントカラーとして強い役割を持ちます。**髪色との組み合わせによっても印象は大きく変わり、同系色でまとめれば落ち着いた統一感が生まれ、補色に近づけると瞳が際立ち**、強い存在感を放ちます。

瞳の色も赤でまとめると…かんたんに色塗りが完成するのである♪

すごい！　統一感ある配色でキャラクターが塗れたね！

パレット内の色はどの色を組み合わせてもばっちりハマるようにつくられている。どの色でも相性抜群の秘密はこのあとわかるぞ！



2 色の基本①「色相環」を知ろう

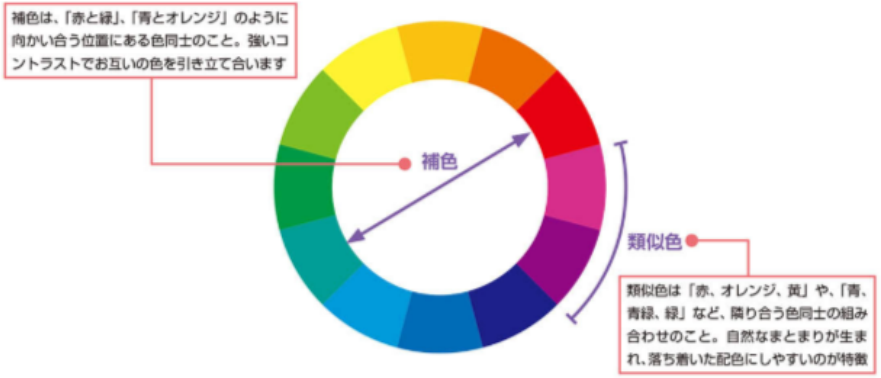
◆キャラクターが輝く配色のコツ

まったく同じ線画であっても、どのような色を使うかによってキャラクターの印象は大きく変わります。たとえば、左のイラストのように明るく鮮やかな色を使えば、軽やかで元気なイメージが生まれ、右のイラストのように落ち着いたシックな配色では、どこかミステリアスで静かな雰囲気が感じられるでしょう。

このように、**配色はキャラクターの性格や空気感を伝えるうえで欠かせない要素**です。色を選ぶ際には、まず「どんな印象を持たせたいのか」を意識することで、より魅力的で印象に残るイラストに仕上げることができます。

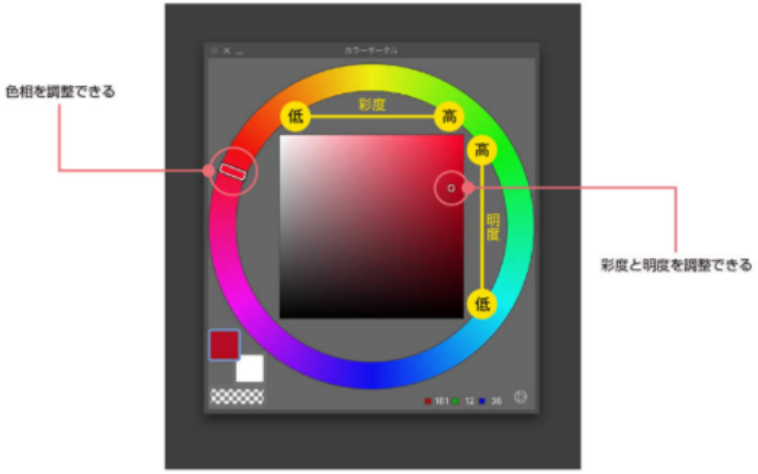
◆色相環って何？

色相環とは、色の種類（色相）を、赤・黄・緑・青……と、連続的な色の変化を円形で表現したものです。**隣り合う色は調和しやすい「類似色」、円の反対側にある色は、強いコントラストを生む「補色」と呼ばれます**。色と色同士の関係を直感的に理解できるのが、色相環の大きな利点です。



●色相環とカラーサークルの関係性

CLIP STUDIO PAINT やアイビスペイントなどのイラストアプリに搭載されているカラーサークルは、色相環の考え方をベースにつくられています。円を操作することで色相を選び、さらに中心にあるボックス部分で彩度や明度を調整して任意の色に設定できる仕組みです。



CLIP STUDIO PAINT のカラーサークル。外周をドラッグすると色相を選択できる

●類似色と補色

● 類似色でまとめた配色

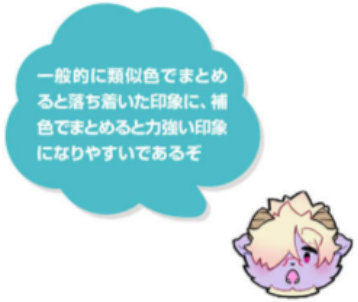
類似色でまとめたキャラクターイラストは、全体に統一感があり、おだやかで落ち着いた印象を与えます。これは、色相環で隣り合う色同士（例えば青〜青緑〜緑など）を使うことで、色同士が自然になじむからです。**キャラクターのイメージとしては、「やさしさ」「やわらかさ」「安心感」**を表現したいときに向いています。

キャラクターの髪と目を青系の色でまとめたイラスト。全体におだやかでまとまりのある仕上がりに

● 補色でまとめた配色

一方、補色でまとめたキャラクターイラストは、視覚的なインパクトが強く、印象に残りやすいのが特徴です。色相環で正反対に位置する色（例えば赤と緑、青とオレンジなど）を組み合わせることで、色同士が互いを引き立て合い、鮮やかで力強い印象を生み出します。このような配色は、**キャラクターの個性を際立たせたいときや、「エネルギッシュ」「力強さ」を表現したい場面**に適しています。使い方によっては色同士がぶつかり合い、画面がうるさく感じられることもあるため、バランスを取る工夫が必要です。

キャラクターの髪と目をそれぞれ青と黄色でまとめたイラスト。視覚的なコントラストが強く、エネルギッシュな印象を受ける



◆肌の影色を決めるときは色相環を意識しよう

肌の影色を選ぶときに**ありがちなのが、「①影＝グレーという先入観でグレー系の色を使う」「②肌と同じ色味（色相）で暗くした色を使う」という方法**です。どちらも間違いではありませんが、この影色の選び方だと、ベースの肌色が引き立たず、少し野暮ったい印象になってしまうことがあります。そんなときに**意識したいのが「色相環」**です。

● やりがちな影色２パターン

①グレー系の影色の例

②同じ色相で明度を下げた影色の例

「入門カラーパレット」の「SKIN COLOR NO.01」を見てみましょう。ベースの肌色は淡いオレンジ（明度が高く、彩度が低めの色）、影色は淡いピンク（こちらも明度が高く、彩度が低め）です。

3 色の基本② 「彩度と明度」を知ろう

◆まとまりのある配色って何？

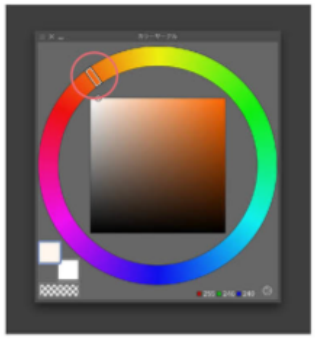
「まとまりがある配色」とは、色同士が同じ方向性を持ち、キャラクターの個性や世界観が一目で伝わる状態を指します。色相や彩度・明度をそろえることで、自然で見やすく、調和の取れた印象になるのです。反対に、色の距離が離れすぎていたり、役割のバランスが崩れていると視線が散り、まとまりのない配色に見えてしまいます。ここでは、AとB、2つのイラストを比べながら、そのちがいを感じ取ってみてください。

Aのイラストはなんとなくまとまりがないような気がする…

では、その「まとまりのなさ」が何に起因するのか、カラーサークルで分析してみるである

● **入門カラーパレットの肌と影の色**

この配色を色相環で見ると、影色はベースの色相から少し下にずれた位置から選んでいるのがわかります。これは、**血管や光の影響を考慮して色相を青色方向に色をずらしている**からです。このように、環境の要因などを考えてリアルを反映して色相を少しずらすことで、今っぽい影色の組み合わせをつくることができるのです。※彩度や明度については次ページ以降で詳しく解説しています。



「SKIN COLOR NO.01」のベースカラーの色相

「SKIN COLOR NO.01」の影色の色相

肌と影、色相がちがう……!?　同じ色相で合わせた方がいいんだと思ってた

それも間違いではないが、今の絵柄としては少し野暮ったく見えてしまうことがあるのである

● 影色でイラストの情報を増やす

このように、**影色の色相をあえて変化させることで、イラスト全体の情報量が増し、より魅力的で深みのある仕上がりになります**。単調な影ではなく、異なる色相を取り入れた影は、光の表情や空気感を豊かに演出し、作品に「今っぽさ」や洗練された印象をもたらしてくれるのです。

この影の決め方は肌だけじゃなく、あらゆるものに適用できる。特にChapter 2ではこの考え方をもとにした配色パターンを紹介していくであるぞ

●肌のベースと影の関係性

やわらかいイエベ寄りの肌のベースは「明度が非常に明るめで彩度が低め」の「ライト・ソフト系」のトーン。対する影色も、「明度が非常に高めで彩度が低め」というベースと同系統の色味。
肌のベースと影はトーンが揃っており、全体として淡くやわらかな印象が成立。肌エリアだけ見れば、まとまりは十分と言えます。

むむ…肌のベースと影の組み合わせは悪くなさそうだね？

●瞳のベースと影の関係性

瞳のベースは「高明度・高彩度のビビッド」なオレンジです。影色は「彩度がさらに高く、明度も高い」ビビッドレッド。肌の淡さと比べて圧倒的に元気で強いトーンとなります。
瞳のベースと影はビビッドトーンで構成されているため、元気で活発な印象が成立。瞳だけ見れば、こちらもまとまっています。

瞳もベースと影の組み合わせはバッチリ合ってるんだね

●髪のベースと影の関係性

髪の毛のベースは、「中明度、かつそこそこ高彩度」の赤みの強い色。影色は「明度が大きく落ちますが、彩度が高め」の濁りの少ない深い赤黒。どちらも中〜低明度の濃いトーンで統一されており、髪の毛だけで見ると、まとまっていると言えるでしょう。

ん？　てことは配色は問題ないってこと??

◆トーンの不一致がまとまりのなさを生む

近しい彩度（鮮やかさ）と明度（明るさ）の色の組み合わせを「トーン」と呼びます。キャラクターの配色では、色相だけでなく、この明度や彩度の方向性、「トーン」の揃い方も印象を大きく左右します。
肌や瞳、髪の毛、それぞれのベースと影色は合っているのに、「なんとなく浮く」「まとまらない」と感じるときは、「トーン」の差に注目していみましょう。今回の例では、肌・瞳・髪それぞれのパーツにまったく異なるトーンが採用されており、それが全体の一体感の欠如を生む原因になっています。

・肌…ライト（淡い）
・瞳…ビビッド（強い）
・髪…ダーク（深い）

なるほど…三者三様のトーンが同時に存在してることで、キャラクター全体にまとまりがないように感じられたんだね

●彩度（色の鮮やかさ）

彩度が低いと無彩色に、高いと鮮やかになります。

●明度（色の明るさ）

明度が低いと黒に近づき、高いと白に近づきます。

MEMO

色を構成する「色相・彩度・明度」を、色の三属性と呼びます。

キャラクターの配色を考える際は、**色相だけでなく、彩度・明度のまとまり（トーンの統一）にも目を向けることが重要**です。肌のトーンを基準に、瞳や髪の彩度・明度を寄せていくと、配色がぐっと扱いやすくなり、まとまりのあるキャラクターへと仕上げることができます。

逆に言えば、彩度と明度で差をつけることで、あるパーツだけを強く主張させたりすることもできるであるぞ

◆彩度と明度で全体を整える!

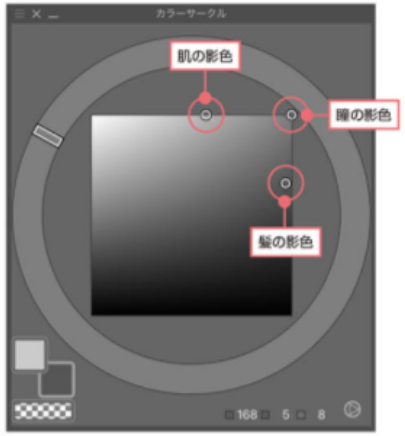
このように、配色を考えるときに、彩度と明度を意識すると、色同士が自然にまとまり、キャラクター全体に統一感が生まれます。まず**使いたい色を決めたあとで、ほかの色の「彩度と明度のバランスを揃える」**という工程を加えるだけで、イラストはぐっと見やすく、まとまりのある印象になるのです。

●瞳の影色に全体を合わせた場合

たとえば、瞳の影色を強いビビッドトーンにしたとき、その色を基準にして全体の色味を調整したのが右のイラストです。
肌の影や髪の彩度・明度を近い方向へ寄せていくことで、バラバラだった色にまとまりが出て、全体的に鮮やかでポップな印象に変わりました。

右は瞳の彩度の高さを他の影色にも合わせたイラスト。
全体的に鮮やかでパキッとポップな印象を与える

• 影色の彩度と明度を確認してみよう



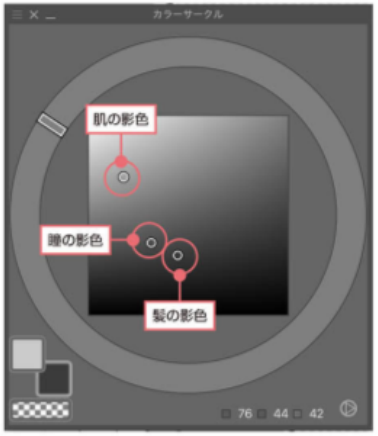
本当だ。どの影色も彩度が高めなのがわかるね

POINT

髪の影色の明度が他に比べて少し低めなのはなぜ?

３つの影色のうち、髪の影色の明度のみ低く設定しているのは、髪のベースカラー（赤）の彩度が高く、影色の彩度をただ上げただけでは印象があまり変わらないためです。明度を下げることで、全体のバランスを整えています。

●髪の影色に全体を合わせた場合



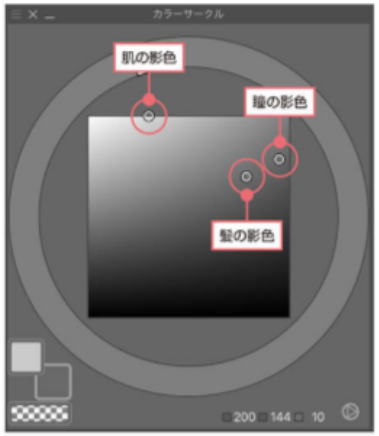
髪の影色の彩度と明度に、肌と瞳の影色を合わせたイラスト。
全体的に落ち着いた雰囲気になる

POINT

肌の影色の明度が他に比べて少し高めなのはなぜ?

肌の影色の明度のみ高めに設定しているのは、肌のベースカラーがもともと明るく、瞳や髪の影色と同じように明度を下げなくても、同程度の暗さに見えるためです。

●肌の影色に全体を合わせた場合



肌の影色の明度の高さに、髪と瞳の明度を合わせたイラスト。
全体的に明るくやわらかい

3つのイラストはどれも色の情報が整理されているのがわかるかの?

メリハリを生む髪色の明度調整

髪の色は、肌や瞳と比べて 明度差（明るさの差）を大きくつけることで、立体感やメリハリをしっかり表現できます。
以下の３つのカラーサークルは、それぞれ、肌と瞳と髪の毛の明度差を表したものです。肌と瞳はベースと影色の差が少なく、色調が自然にまとまるようにしていることがわかります。
一方で、髪はベース色と影色の明度差を大きく設定しています。これは、頭部の立体感を強く出すためで、明暗の差がしっかりあるほど印象がはっきりするからです。

● 肌

● 瞳

● 髪

髪の毛の影の明度をぐっと下げた場合

もし髪の明度差を肌や瞳と同じくらいの小さな差にそろえてしまうと、全体としては整った印象にはなりますが、髪の元の色が高彩度なため、立体感が弱く見えてしまいます。
下部のイラストを見るとやや存在感が薄く感じられるのではないでしょうか。
特に彩度が高く、やや暗めの色を髪に使うときは、思い切って影の明度を下げることで、より力強く、メリハリのある髪の表現が可能になります。

髪の毛の影の明度差を小さくすると、
表情の印象が残りづらい

ただし、これは作風や表現意図によっても変わる。絶対的なルールというのはないから、自分が表現したい方向性にあわせていろいろ試してみることが重要であるぞ

4 肌の色から選ぶキャラクター配色法

◆キャラクター配色のカギを握るのは？

キャラクターの色設計で重要になるのは、「肌」「髪」「瞳」の３つのパーツです。その中でも、肌の色は全体のバランスを整えるうえで基準となることが多く、髪や瞳の色を決める際の出発点とすることができます。**肌の色を起点に考えることで、キャラクター全体に自然なまとまりを生み出せる**のです。

肌の色を基準に合わせる色を考える…コスメ選びと一緒でなんだかワクワクするね！

パーツ① 肌

この本では、キャラクター配色設計の基準として考えます。まずは肌の色から決めていきましょう

パーツ② 髪

キャラクターの個性を強調する要素のひとつ。肌とのコントラストや彩度の差を工夫することで、印象を引き締めたりやわらかく見せたりできます

パーツ③ 瞳

髪や肌との色の関係性を意識することで、視線を自然に誘導し、キャラクターに生命感を与えます

この本では、まず「①全体のキャラ配色をざっくり決め」、「②肌の色を決めて」、「③その他のパーツを②の肌色に合わせて調整する」この3つの流れで使用することを前提としておるぞ

まずは肌色を決めるんだね。でもその肌色ってどう決めたらいいんだろ?

◆本書で紹介する肌の色のカテゴリー

キャラクター配色において、肌の色はキャラクター性や印象を決める重要なパーツです。本書では、描きたいキャラクターの性格やイラストで与えたい雰囲気に合わせて肌の色を選ぶ方法を提案しています。ここでは、**肌色を６つのタイプに分類し、それぞれの特徴と与える印象について解説**します。キャラクターのイメージに合った肌色を選ぶ参考にしてください。

●オレンジベース

・健康的で、明るく親しみやすい雰囲気を持つ
・日差しがよく似合う、活発なイメージと相性◎

POINT

こんなキャラクターにおススメ

明るく元気な主人公キャラ
スポーツが好き
冒険物

●イエローベース

・あたたかくエネルギッシュなイメージを持つ
・ナチュラルで親しみやすい雰囲気

POINT

こんなキャラクターにおススメ

素朴でやさしい性格のキャラ
自然体なキャラを表現したいときに◎

●ブルーベース

・透明感があり、クールで上品な印象
・洗練された落ち着いた雰囲気

POINT

こんなキャラクターにおススメ

クール系の主人公やライバル
儚げな印象のあるキャラ
幻想的な雰囲気の魔法使い

●明るい褐色ベース

・ヘルシーで生命力を感じさせる
・アクティブでエネルギッシュ
・海、砂漠、南国の世界観と相性◎

POINT

こんなキャラクターにおススメ

冒険者・旅人系キャラ
快活で陽気な性格の仲間キャラ

●濃い褐色ベース

・存在感が強く、パワフルで魅力的
・重厚感があり、芯の強さを感じさせる

POINT

こんなキャラクターにおススメ

戦士・騎士など強さを象徴するキャラ
荘厳・ミステリアスな魔族・王族キャラ

●ファンタジー

・一目で異種族とわかる個性
・世界観の特異性、設定の奥行きを感じさせる
・キャラの能力や属性を直接伝えやすい

POINT

こんなキャラクターにおススメ

属性持ち（炎・氷・雷など）の異能力キャラ
SF 世界、魔族、精霊などのキャラクター

ストーリーでキャラクターを語れるマンガやアニメとちがい、イラストは 1 枚で伝えるインパクトが重要。どんなイラストなのか、どんなキャラクターなのかが連想できる肌の色は最初に選ぶパーツとして最適なのである

イラストを描くときに知っておきたいRGBとCMYK

Chapter 2 以降は、「肌」「髪」「瞳」と、さまざまな配色レシピを紹介。配色ごとに、色玉とあわせて RGB 値と CMYK 値が掲載されています。でも RGB と CMYK ってそもそもなんのこと？　ここでは、イラスト制作に欠かせない 2 種類の色の仕組み について解説します。

RGBは光で色を表現する「加法混色」

RGB［Red（レッド）、Green（グリーン）、Blue（ブルー）］は、モニターやスマートフォンなど、光を発するデバイスで色を表現する方式です。光の三原色を組み合わせて色をつくります。RGB は色を混ぜるほど明るくなり、最終的には白に近づきます（加法混色と呼びます）。

SNS で投稿するなら RGB で OK だね!

RGBの特徴

・デジタルイラストやウェブ用の画像で基本となるカラーモード
・ネオンカラーや鮮烈な青緑など、CMYK では再現が難しい色も扱える

CMYKはインクで色をつくる「減法混色」

CMYK［Cyan（シアン）、Magenta（マゼンタ）、Yellow（イエロー）、Key Plate（ブラック）］は、印刷で使用するインクの色の組み合わせです。インクを重ねるほど光を吸収し暗くなります（減法混色と呼びます）。

RGB で制作したイラストを CMYK に変換すると色がしずむことがあるぞ

CMYKの特徴

・印刷物の標準的なカラーモード
・RGB より色域が狭く、ビビッドな色味を表現しづらい

CLIP STUDIO PAINTでRGB・CMYKの色を設定する

44 ページからの配色レシピを CLIP STUDIO PAINT でどのように設定するか、確認してみましょう。ここでは［ウィンドウ］→［カラースライダー］を選択して設定します。

本書に掲載されいている色玉には、RGB 値と CMYK 値がそれぞれ記載されています。カラースライダーの該当する値に数値を入力することで、配色レシピ通りの色を設定することができます。

CHAPTER 2

まずはここから決めよう!

肌と影色のレシピ

キャラクター配色において、肌の色は基本すぎて意外と軽視されがち。髪や瞳の色にはこだわるのに、肌は「なんとなくそれっぽい色」を選んだり、毎回同じ色で塗ってしまうという人も多いのでは？　大きな面積を占める肌の色はキャラクターの印象を決める重要なパート。この章では、6つにカテゴリー分けした肌の色を起点に、キャラクターの魅力を大きく引き出す配色パターンを提案します。

1 オレンジベースの影色配色レシピ

◆万能ベースカラーで迷わない肌づくり

ほんのりピンクを含んだオレンジ系ベースは、どんなキャラクターにもなじむ万能カラー。キャラクターの肌の色選びに迷ったらまずこの色を。**影はピンク系を合わせると、やわらかく親しみやすい雰囲気**に。

RECIPE 1 クリアライト▶

肌のベースは、白に近い明度を持つ透明感のあるライトトーン。ピンク系の影は血色感を引き立て、肌の透明感を損なわずに立体感を演出できるため、**フレッシュな印象を与えたいキャラクター**にぴったり！

R255 G246 B240 C0 M6 Y6 K0

R255 G172 B171 C0 M45 Y23 K0

癖がないからどんなキャラクターやシチュエーションにも合いそう!

オレンジベースの肌をつくるには、色相を「赤と黄色の中間(橙)」にして、彩度は低〜中間に設定すると、自然な肌トーンとして使いやすい。ここで紹介するオレンジベースの肌は、基本的にこの2つを意識しながらつくっているのである

◀ RECIPE 2 サニーライト

太陽光を浴びたような、黄みを含んだ明るく**健康的な肌の色が特徴的**なパターン。イエローベースほど強い黄みではないため、濃いめのピンク系の影色を重ねることで、引き締まったパッキリした印象を与えます。

R255 G238 B228 C0 M10 Y11 K0

R230 G125 B128 C12 M64 Y39 K0

彩度・明度差を大きくしてコントラストを強めて印象付けよう！

RECIPE 3 ピーチベール▶

ほんのり桃色をまとった、やわらかくかわいらしいベースの色が特徴。オレンジにピーチを少し混ぜたトーンがベースにあることで、**女性的で愛らしい印象**に。影色のピンクの明度を少し下げてくすませることで全体の透明感がアップ。

R255 G243 B239 C0 M8 Y6 K0

R243 G167 B173 C4 M46 Y22 K0

程よい明度差で自然な陰影を付けて上品な印象に

◀ RECIPE 4 ナチュラルミドル

どんなキャラにも合う自然でベーシックな色。ベースは明度が高い一方、彩度は低めなので淡くナチュラルな印象を与えます。影色は冷たすぎない暖色系のピンクベージュを合わせて、透明感を強調。**やわらかい雰囲気のキャラクターに◎**

少し黄みを強めたベースは健康的で万人向けカラー！

R255 G237 B228 C0 M11 Y10 K0

R255 G154 B151 C0 M53 Y31 K0

◀ RECIPE 5 ウォームサンド

やや濃いめのトーンで、砂のようなナチュラルさと落ち着きを感じさせるオレンジベース。**ドライで元気な印象**を与えます。
青みや紫寄りの影色は肌をくすませてしまうため、オレンジブラウンを合わせて血色を追加。

R255 C0 G240 M9 B230 Y10 K0

R216 C19 G150 M50 B137 Y41 K0

赤み＋少しブラウンが入った落ち着いた影色は大人っぽさを演出するのにも◎

RECIPE 6 テラコッタタン ▶

陶器のテラコッタを思わせる赤みを帯びたオレンジベースの肌色。強めのオレンジを含むことで、**キャラクターに力強さと存在感**を与えます。
影色にも赤みを含んだトーンを選ぶと自然になじみます。明度を少し落とすことで、しっかりした立体感を演出。

R250 C2 G230 M14 B223 Y11 K0

R212 C21 G135 M57 B133 Y39 K0

落ち着いた肌に自然な血色感を加える深みのある影色

◀ RECIPE 7 ダスティオレンジ

赤みと黄みをバランスよく含んだやわらかい色味。彩度を低めに設定することで、くすんだ落ち着きのあるベースは**大人っぽく上品な雰囲気**を与えたいときに◎。影色も彩度を抑えた暖色系を。

R248 C3 G232 M12 B223 Y12 K0

R227 C13 G162 M45 B146 Y38 K0

肌の黄みを引き立てる赤茶影があたたかみを与える

◀ RECIPE 8 アンバーブロンズ

オレンジ×ブロンズのツヤ肌。やや赤褐色寄りの深い色で**落ち着きのある大人っぽさとオレンジの持つ元気さが同居するアンバランス感**が魅力。やや色相をずらしたピンク寄りのブラウン系の影を合わせることで、肌が生き生きと見えます。

R255 C0 G231 M15 B226 Y9 K0

R222 C16 G149 M51 B144 Y36 K0

黄みが混ざったくすんだ赤影。肌に合わせるとなじんで透明感が出る

RECIPE 9 ヘルシーグロウ ▶

非常に明るいライトトーン。白に近い明度を持つため、透明感と清潔感が際立ちます。影色で濃淡差を強調することで**健康的なツヤ肌を演出**。明るい肌に明度を落とした濃い赤系の影を重ねることで、陰影がドラマチックになり、肌の透明感もより引き立ちます。

R255 C0 G245 M7 B241 Y5 K0

R209 C22 G136 M56 B136 Y38 K0

高明度肌×中明度影でキャラに立体感。白肌に濁った影は土っぽくなるため、赤みを出すことを意識して

◆魔王の配色チェック! やりがちカラーを攻略しよう

NG 例はオレンジ系の肌と同系色の影色で、色相差がほとんどないため自然になじむ一方、**陰影のニュアンスが単調になりやすく、古臭い印象を与えてしまう**ことも。ただし、レトロ風な絵づくりをするのであればむしろアリ。

肌のベースは同じ色!
影色によって印象が変わることがわかるね

R255 C0 G175 M43 B123 Y51 K0

2 イエローベースの影色配色レシピ

◆ヘルシーな血色感でナチュラルな美しさを演出

黄みを含むベースは、自然な血色感をもたらし、健康的で親しみやすい印象を与えます。元気なキャラクターやアウトドア派にぴったり。彩度を低く、明度を高く設定すると透明感が増すベースカラーに変化します。**影の色はピンク〜オレンジ系がおすすめ**。

RECIPE 1 ハニーミルク▶

明るくやさしいミルキーイエロー。ほんのり蜂蜜色が混じったようなやわらかいベースに、赤みを含んだオレンジ系の影色がふんわり自然な血色感を強調し、違和感なく溶け込みます。

R255 G251 B238	C1 M2 Y9 K0
R241 G181 B146	C7 M38 Y42 K0

明度が高くて、日常系や明るい印象のキャラクターに合いそう!

イエローベースの肌をつくるときは、色相を「黄〜橙」に設定し、黄みを土台に少しだけ赤みを混ぜるのがポイント。赤を混ぜすぎるとピンク寄りになり、ブルベの方向へ近づいてしまうため、黄みと赤みのバランスがとても重要である。青みを避けるほどイエベらしい自然な肌色になるであるぞ

RECIPE 2 レモンシャイン

明度の高い黄みを含んだ肌は、素肌に光をまとったようなクリアな印象。肌全体が明るく**スポーティでアクティブなキャラクターにぴったり**。影色は赤みよりオレンジ寄りのアプリコット系を選んでやわらかい立体感を演出。

R255 G251 B238	C1 M2 Y9 K0
R248 G184 B119	C4 M36 Y55 K0

彩度差をやや強めにすることで元気な印象に!
太陽の下が似合う

RECIPE 3 バニラクリーム▶

まろやかバニラトーンで、ぬくもりをまとう黄み肌。淡いバニラ色に近い、やわらかくあたたかな色で**ヘルシーな仕上がり**に。血色感と温度感を同時に与える影色はしっかり暗いのにハードすぎず、キャラクターを自然に目立たせます。

R248 G238 B214	C4 M82 Y19 K0
R222 G149 B123	C16 M51 Y48 K0

黄み肌×黄系の影はくすみの危険信号。
血色を足す赤茶影で肌を引き締めて健康的に

RECIPE 4 ナチュラルオーカー

ほのかな黄みを含んだ明るいアイボリーは標準的で**使い勝手がいいイエローベースの代表格**。彩度控えめの黄土色に対し、影色は中彩度で血色感をプラス。

R255 G250 B238	C1 M3 Y9 K0
R234 G167 B125	C10 M43 Y50 K0

明るいトーンに赤茶影は重く見える。
親しみやすいアイボリー肌には明るい赤橙のカゲがバッチリ◎

◀ RECIPE 5 サンディーベージュ

屋外で日差しを浴びて日焼けしたような、黄みをしっかり含んだサンド感のあるウォームベージュ。影色には肌の黄みと調和しやすい、赤みを抑えたブラウン系を。**立体感と重厚感をプラス**してイラストに奥行きを与えます。

R243 G224 B185 C7 M14 Y31 K0

R182 G122 B61 C36 M59 Y83 K0

影の明度を下げて立体感を出すとキャラクターがぐっと引き立つ。赤み影を使うと不自然に浮くため注意

RECIPE 6 クレイタン▶

ほんのりピンクを含んだ淡いベージュに、土色のニュアンスを加えた落ち着きのある黄褐色。粘土のような深みのあるトーンで、**大人っぽく上品な雰囲気を演出**します。肌のやわらかさに深みのある影を重ねることで、落ち着き＋立体感。

R239 G228 B217 C8 M12 Y15 K0

R185 G138 B122 C34 M51 Y49 K0

くすんで見える赤茶影も黄み肌と色相が近いため血色としてなじむ

◀ RECIPE 7 オリーブダスク

明度が高く、黄みをしっかり含んだベースに、ほんのり緑が混ざる**知的なくすみニュアンス**が洗練された印象を演出します。黄み肌の中でも透明感のあるトーンが特徴。影色には赤みを抑えたブラウン系で、肌の黄みと調和させて。

R255 G251 B228 C1 M2 Y14 K0

R201 G164 B122 C27 M39 Y54 K0

明るい黄肌の影は、色相差より明度差で立体感を出してみて

◀ RECIPE 8 キャラメルアンバー

明度が高いクリーム系ベースに赤みを含ませたほんのりキャラメルの甘さを感じる黄みが特徴。**しっかりとした強さとかわいらしさが共存**する肌トーン。影色には赤みを帯びたブラウン系で奥行きを演出。

R252 G243 B223 C2 M6 Y16 K0

R219 G145 B102 C18 M52 Y60 K0

影度・明度差をしっかり付けて元気で快活な印象を！

RECIPE 9 サニーグロウ▶

明度が高く、黄みをしっかり含んだライトクリーム系ベース。ハイライトが映えるツヤ肌で、影色との濃淡差が強く、キャラクターに活力と温もりを与えます。パキッとした元気さが特徴で、**健康的で明るい印象**を演出します。

R255 G240 B205 C1 M8 Y24 K0

R228 G137 B108 C13 M57 Y54 K0

赤橙系の影色は黄み肌を華やかに引き上げてくれる

◆魔王の配色チェック! やりがちカラーを攻略しよう

イエベ肌だからといって、むやみに**影色を黄色くしすぎると肌っぽく見えなくなります**。ベースの黄みを活かす影色選びがコツ。

肌のベースは同じ色！黄色すぎる影を重ねることで、血色が悪く感じてしまうよ

R248 G219 B132 C7 M17 Y55 K0

3 ブルーベースの影色配色レシピ

◆透け感を演出して洗練された印象に

清らかに透き通る美しさと上品さを演出する青みを含むベースは、**知的なキャラクターや幻想的な世界観におすすめ**です。影の色は紫や青みグレーを使うことで透け感を強調。キャラの清涼感を引き立てます。

RECIPE 1 ポーセリンローズ▶

白い陶器のような明るいベースに、ほんのりローズを重ねたような肌色。明度が非常に高く、**儚げで上品なキャラクターにぴったり**。赤みを含むピンク系ブラウンの影色がやわらかい立体感を演出します。

R255 G245 B244 C0 M7 Y4 K0

R233 G158 B183 C10 M49 Y13 K0

影色がブルベ肌の透明感をさらに引き立てていて清楚なイメージになるね

ブルーベースの肌をつくるときは、色相を「青みを含んだピンク」を土台に、明度高め・彩度控えめでつくると透明感が出るぞ。暗すぎる影は逆に肌をくすませるから注意である

◀ RECIPE 2 クリスタルピンク

明るいベースに、淡いピンクを重ねた肌色。透明感と清潔感を演出し、**アイドル的なキュートさを演出**します。赤みを帯びたローズ系の影色を重ねることで、さらにかわいらしさアップ。

R255 G244 B245 C0 M7 Y3 K0

R246 G167 B216 C7 M46 Y0 K0

赤を強くしたピンクパープルの影を重ねることで華やかさUP！

RECIPE 3 ローズスノー▶

RECIPE 2 に近い、やわらかく上品な肌色。ほんのり青みも含んでいるため、**透明感と気品が出ます**。なめらかさと血色ピンクのニュアンスには、同系統のクールピンク系の影色を重ねるとなじみます。

R254 G242 B245 C0 M8 Y2 K0

R220 G153 B186 C17 M50 Y10 K0

くすみローズを重ねて肌を静かに整えるため大人っぽさが出て◎

◀ RECIPE 4 シルクヌード

黄みを抑えたベージュにほんのりピンクを含む、現実的なブルベ標準肌。洗練された印象を与え、**都会的でスマートな雰囲気を演出**します。影色には青みを帯びたローズ系レッドを重ねると、肌のクールトーンと自然に調和。

R255 G246 B244 C0 M6 Y4 K0

R241 G156 B161 C6 M50 Y26 K0

青みが少ない明るいブルベ肌には、ピーチ系の影が血色よくなじみ、ヘルシーな仕上がりに

◀ RECIPE 5 ライトモーブ

白に近い明るさを保ちながら、ほんのり青みピンクを含む上品なくすみ肌。**落ち着いた雰囲気**を演出し、リアルな質感を表現します。影の色にはブルベ肌と自然に調和する紫寄りの青みピンクが似合います。

R253 G237 B237 C1 M11 Y5 K0

R192 G146 B170 C31 M49 Y20 K0

ベースに合わせて彩度は控えめに。程よいコントラストで上品な空気感を演出

RECIPE 6 ストームトープ▶

灰色を含んだクールな中間色で、グレー×ベージュ×ピンクが絶妙に混ざるブルベ肌が、**モダンで都会的な印象**にぴったり。影色は青みを帯びたくすみ系ローズで、肌のスモーキー感と自然に調和します。

R244 G232 B236 C5 M12 Y5 K0

R204 G150 B180 C25 M49 Y14 K0

青み肌に合わせて彩度をやや高めにして立体感を演出

◀ RECIPE 7 アッシュ

淡いピンクに灰色と褐色のニュアンスを重ねたクールトーン肌。ローズとグレーが混ざることで、**近未来的な雰囲気が出ます**。影色は紫寄りのピンクにグレーを加えた、シックなモーブ系（紫寄りのグレー）カラー。深みとクールさをプラス。

R249 G237 B241 C3 M10 Y3 K0

R170 G145 B159 C40 M46 Y28 K0

赤紫を、意図的にグレー寄りにした影が肌と調和。淡いベースにしっかり赤みを足してくれる

◀ RECIPE 8 ノクターンシェード

深い青みを含むクールなブロンズ肌は、それだけで幻想的な存在感を放ちます。ブロンズベースに影色としてモーブを重ねることで、肌の冷たさが際立ち、**幻想的で洗練された陰影**が生まれます。

R246 G237 B241 C4 M9 Y3 K0

R145 G131 B150 C51 M50 Y31 K0

赤紫のくすみ色を血色として影に使うと、全体が灰色にならない

RECIPE 9 スノーシャドウ▶

非常に明るいペールピンク肌は黄みをほぼ排除したクールトーン設計で**儚げな透明感を際立たせます**。影色には青みを強く含むラベンダー系を選ぶことで、肌に冷たさと奥行きをプラス。青い影が淡いピンクのベースに重なり、幻想的な立体感を生み出します。

R255 G248 B252 C0 M5 Y0 K0

R167 G163 B208 C41 M37 Y4 K0

強めの紫の影が、肌の透明感を一気に高めて印象的に見せてくれる

◆魔王の配色チェック! やりがちカラーを攻略しよう

透明感を出したいからといって、影色に青すぎる色を選ぶのは注意が必要。**過度な青みは肌を不自然に見せ、現実感を損なってしまいます**。自然な仕上がりにするためには、青みをほどよく抑えた影色を選ぶのが◎

肌のベースは同じ色！影の青みが強すぎると血色が失われて不自然に浮いてしまうよ

R136 G202 B244 C49 M10 Y2 K0

4 明るい褐色ベースの影色配色レシピ

◆ヘルシーなツヤ感でアクティブに!

日焼けしたような褐色ベースは、**スポーティで活発なキャラクターに最適**。影には、肌の色相の類似色である赤みやオレンジを取り入れると、自然な陰影で立体感をプラスしながら、ベースにうまくなじみます。

RECIPE 1 サンライトタン▶

軽く日焼けしたような黄みを帯びた褐色で、血色感と温もりを感じさせる肌色。明るさを保ちながら、自然な黄みが増すことで、**健康的でアクティブな印象**を演出します。黄みを帯びたベースには、赤みを含むブラウン系の影色で自然な陰影を表現。

R255 G222 B191	C0 M19 Y26 K0
R219 G137 B126	C17 M57 Y44 K0

黄み強めの褐色か、赤み強めの褐色かによっても印象が変わるね

明るい褐色肌をつくるときは、色相を「赤〜橙〜黄」を土台に、全体的に明度は高め、彩度は控えめにするとナチュラルに仕上がるであるぞ

◀ RECIPE 2 ゴールデンサンド

砂浜を思わせる淡い金褐色で、黄みをしっかり含んだウォームトーン。明るさと温もりを兼ね備え、**南国や海辺のキャラクターにぴったり**の健康的な肌色です。影色には色相を少しずらした赤みを含むブラウン系で。

R248 G211 B153	C5 M22 Y44 K0
R193 G118 B86	C31 M63 Y67 K0

赤茶影が黄みを濁らせず温度感をプラス！

RECIPE 3 トフィーテンダー▶

キャラメル系の甘さを感じる褐色に、ほんのり赤みを含んだ肌色。黄みと赤みのバランスが絶妙で親しみやすい雰囲気を演出できるため、**日常系からファンタジーまで幅広く対応**。影色は赤みをしっかり含むブラウン系で彩度を高めに明度を低めに設定。

R244 G200 B165	C6 M28 Y36 K0
R215 G105 B84	C19 M71 Y64 K0

コーラルレッド系の深い影が血色の延長で相性抜群。彩度を高くして華やかに

◀ RECIPE 4 ハニーブラウン

蜂蜜のようなやわらかい光沢を感じる褐色で、黄みをしっかり含んだウォームトーン。健康的な印象を演出します。こちらも**日常系からファンタジーまで使える万能カラー**。影色には赤みの強いテラコッタブラウンが合います。

R248 G210 B152	C5 M23 Y44 K0
R221 G123 B88	C16 M63 Y64 K0

黄み肌に赤茶影を合わせてあたたかさをキープしつつ立体感を出す

◀ RECIPE 5 テラコッタライト

赤土を思わせるテラコッタを明るくした、ナチュラルな褐色。赤みを含むことで、あたたかみとやわらかさを兼ね備えています。**落ち着きのある健康的な雰囲気**を表現するのにぴったり。影色には赤みを含んだ暗めのブラウンで立体感を強調します。

R232 G182 B167 C11 M36 Y30 K0

R183 G103 B99 C36 M69 Y56 K0

赤みの影でありながら、青も含むことでやわらかく沈み肌に上品になじむ

RECIPE 6 ココナッツブラウン▶

軽やかなブラウンにピンクベージュのやわらかなニュアンスを加えた肌色。黄みを抑えた中間トーンで、**中性的で都会的な雰囲気**に◎。影色は赤みのあるダスティブラウンを合わせて上品な陰影を。

R232 G209 B197 C11 M21 Y21 K0

R193 G120 B123 C30 M62 Y43 K0

くすまない青み血色が清楚感を保ち、しっとり感を演出

◀ RECIPE 7 サンセットアンバー

日没の光を思わせる赤みを帯びた褐色で、夕焼けのニュアンスを含む肌色。黄みよりも赤みが強く、あたたかみと落ち着きがあります。ナチュラルでありながら、**都会的なキャラクターやエレガントな雰囲気**に最適。影色にはローズブラウンを重ねて血色感を出します。

R224 G182 B175 C15 M35 Y26 K0

R181 G92 B108 C36 M75 Y47 K0

黄みが少なく肌のローズとうまく調和

◀ RECIPE 8 バンブーブラウン

緑をわずかに含むマットな褐色で、竹や土を思わせる自然なトーン。黄みとグレーのニュアンスが加わり、落ち着きと力強さを兼ね備えています。**自然派キャラクター、ファンタジーの世界観に**もなじむ万能カラーです。影色にも緑を加えてなじませています。

R213 G185 B145 C21 M30 Y45 K0

R147 G102 B80 C50 M65 Y70 K5

黄み肌に赤茶影を置くことで、黄ぐすみを防ぎつつ立体感を出せる

RECIPE 9 アースライトスキン▶

土色をやわらげたような、黄みと赤みのバランスが取れた褐色。派手すぎず、くすみすぎないため、どんなキャラクターにも合わせやすい基準色。**ナチュラルで落ち着き**があります。影色には赤みを強く含んだブラウン系をチョイス。

R236 G191 B174 C9 M32 Y29 K0

R197 G111 B104 C29 M67 Y53 K0

赤要素が濃いので血色感として華やかさが出て明るい印象に◎

◆魔王の配色チェック! やりがちカラーを攻略しよう

褐色肌だからといって、影色に無彩色（グレー）を選ぶのはNG。**血色が失われ、不健康な印象になりがち**です。ただし、濃い褐色の場合はグレーを使っても違和感が少なく、落ち着いた陰影として表現できます。

肌のベースは同じ色!
影に寒色を使うとあたたかさが一気に失われくすんでしまうよ

R172 G149 B128 C39 M43 Y49 K0

5 濃い褐色ベースの影色配色レシピ

◆深みのあるトーンで重厚感を表現

力強く落ち着いた印象を与える濃い褐色ベースは、**大人っぽいキャラクターや威厳ある人物にぴったり**。影の色は濃い赤茶や黒寄りブラウンで、重厚感と存在感を際立たせます。

赤みのあるブラウンがあたたかさとやわらかさを出しているね

RECIPE 1 チョコレートディープ▶

やや赤みを帯びた濃褐色。あたたかみがあり、エネルギッシュな雰囲気を持つので、**元気系・陽キャ**など、活発でポジティブなキャラクターにマッチします。影の色も赤系にすることで、個性を崩さずに陰影を表現できます。

R206 G144 B132	C24 M51 Y43 K0	R146 G60 B68	C48 M87 Y69 K11

褐色肌をつくるときは、色相を「赤〜黄」で色みがきちんと分かるように彩度、明度を調整しよう。塗りたいのが「赤みブラウン系」か「グレーブラウン系」かを考えながら設計するとよいぞ

◀ RECIPE 2 ココアシャドウ

冷たさが少し混ざった深いブラウン。赤みが控えめで、ややグレイッシュなニュアンスを含むため、**落ち着きと上品さ**を感じさせます。影色には落ち着いた深みのある明度低めのワインレッドを合わせてシックで大人っぽい雰囲気に。

R176 G138 B135	C38 M50 Y41 K0	R109 G57 B64	C59 M83 Y67 K26

低明度で少し冷たさを感じる影色。肌がくすまない程度の彩度差で、落ち着いた雰囲気に

RECIPE 3 ルビーブラウン▶

赤みが強く、血色感が豊かな濃褐色。情熱を感じさせる色で情熱的・**魅惑的・セクシーな雰囲気**に◎。影色は暗めの赤紫系で、肌色の赤みを引き立てながらキャラクターに深みを与えます。

R194 G131 B136	C30 M57 Y38 K0	R142 G64 B77	C51 M86 Y65 K11

影色の彩度を高めにして血色とツヤ感をUP

◀ RECIPE 4 ロイヤルウッド

赤みは控えめで、ややグレイッシュなニュアンスを含む黒檀のように落ち着いた褐色。**重厚感と上品さ**を感じさせます。影色には暗い赤茶系を選び、肌色の落ち着いたトーンを引き締めて。

R141 G109 B105	C53 M61 Y55 K2	R69 G40 B44	C69 M83 Y73 K48

影色が暗いため、コントラストが強く出る。彩度差が小さいため、渋めの統一感が印象的

◀ RECIPE 5 マホガニーディープ

暗めで深みとあたたかみを兼ね備えた赤茶を含んだ濃褐色。**知的で大人っぽいキャラクター**や信頼感の演出に。影色には同系色の暗い赤茶系を重ねて自然な陰影を表現します。

R126 G86 B88 C58 M71 Y60 K10

R61 G31 B37 C70 M86 Y74 K55

明度差はあえて控えめにしてくすみ同士で自然な陰影をつくり、影としての深みを強調

RECIPE 6 コーヒーダーク▶

赤みよりも黄みがやや強く、ブラウン系の中でも落ち着きのある濃褐色。影色には赤みのある茶色を重ねることで、肌の黄みを引き締めながら**重厚感と高級感**をプラス。

R129 G98 B81 C56 M64 Y68 K9

R67 G32 B27 C65 M85 Y85 K55

ベースの黄みと影の赤みで色相差をつくり、深みを出す

◀ RECIPE 7 アッシュブラウンディープ

赤みを抑えたグレイッシュなニュアンスを持つクール寄りの濃褐色。落ち着きと冷静さを感じさせるため、**ミステリアスで知的なキャラクター**に最適。影は肌と同系統の赤茶系をベースにしつつ、暗めに設定して自然な立体感を出します。

R145 G125 B126 C51 M53 Y45 K0

R65 G47 B51 C73 M79 Y70 K45

ベースとの明度差を出すことでしっとりした陰影を演出

◀ RECIPE 8 ウォルナットブラウン

黄みと赤みがバランスよく含まれ、やわらかい雰囲気を持つあたたかい褐色。安心感やナチュラルさを演出するため、**やさしい印象のキャラクター**に。影色は赤寄りのダークブラウンで、肌のあたたかみを引き締めながら自然な陰影をつくります。

R174 G140 B117 C39 M48 Y53 K0

R127 G70 B61 C53 M78 Y75 K19

黄みと赤みで暖色同士のためなじみがよく彩度をあげることで華やかさも

RECIPE 9 ミッドナイトブラウン▶

夜の黒のような深めのブラウン。黒に近い暗さを持ちながら、わずかな赤茶のあたたかみが残るため、冷たすぎない重厚感が出ます。**強い・寡黙・頼れるキャラに最適**。クールで硬派な雰囲気に。影はさらに暗くすることで、肌の赤茶を引き立てます。

R76 G56 B62 C71 M77 Y66 K35

R34 G15 B19 C78 M87 Y80 K69

暗いベースに明るい影を置くと陰影のバランスが崩れてしまうため、低明度同士で統一感を出すのが◎

肌のベースは同じ色!
濃い褐色肌を美しく見せるには、影の明度差(暗くすること)が重要!

◆魔王の配色チェック! やりがちカラーを攻略しよう

濃い褐色の肌に、明るすぎる（彩度が高い）影色を使うと、**陰影のメリハリがなくなります**。美しい褐色を引き立てるには、影色の濃淡が重要です！

R203 G86 B57 C25 M79 Y80 K0

6 ファンタジーベースの影色配色レシピ

◆異世界感をまとう大胆な個性派カラーベース

青は神秘的で冷たい印象、赤は情熱と力強さ、緑は自然や異形感を象徴。**魔法使いやモンスターなど、非現実的なキャラクターに最適**で、作品に独特の世界観を加えます。

RECIPE 1 アイスブルーム▶

氷の透明感と花びらのような青のニュアンスをあわせ持つ青肌。**神秘的で静かな美が際立つファンタジートーン**。やや紫寄りのブルーグレーの影が、肌色の透明感を引き立てます。

R169	C39	R118	C63
G197	M18	G121	M54
B231	Y3	B184	Y7
	K0		K0

ファンタジー肌を考えるときは、「青=水、氷、夜」「緑=植物、神秘、精霊」「赤=火、戦闘」のように、色の持つ心理的イメージや属性から考えてみるとよいぞ

◀ RECIPE 2 ミントグロウ

爽やかなミントカラーに肌のグロウ感（内側の輝き）を足した緑肌。明るく清潔感があり、**自然や草木を連想させるヘルシーな雰囲気**。影色には深みのある青緑系で、肌色の明るさを引き締めて。黒や灰色の影を使うと、ゾンビっぽい表現にも◎

R144	C47	R58	C78
G225	M0	G133	M38
B173	Y44	B123	Y56
	K0		K0

自然との結びつきを感じさせる緑ベースの肌は、森の精霊、エルフ、ゴブリンなどに最適である

RECIPE 3 ルージュフレア▶

高発色の輝きを宿した赤肌。鮮烈で力強く、視覚的インパクトが高い色のため、圧倒的な存在感を持ち、**情熱的、戦士的なエネルギーを想起させる**キャラクターにぴったり。影色も赤系にすることで、個性を崩さずに立体感を表現します。

R255	C0	R181	C36
G96	M76	G36	M98
B89	Y56	B50	Y86
	K0		K2

生命力や情熱を感じさせる赤ベースの肌は、武闘派の魔族やデーモン、鬼などのキャラクターを考えるときにベストである

RECIPE 4 スモークヴェール▶

スモーキーな灰色に、薄膜（ヴェール）のようなやわらかさを重ねた肌の色。無機質すぎず、上品なくすみを含むため、**冷たさと優雅さが共存**。影色はやや紫みを帯びたダークグレーで、肌色のスモーキー感を引き立てます。

R192 G194 B196 C29 M22 Y20 K0

R111 G107 B121 C65 M59 Y45 K1

影や死、静寂を思わせるグレーベースの肌は、ゴーレムや死霊、暗殺にまつわるキャラクターをつくるときにぴったりである

◆魔王の配色チェック! やりがちカラーを攻略しよう

特に大きなNGはありませんが、彩度や明度が高すぎる色をベースにすると、肌というより**「ペンキを塗ったような不自然な仕上がり」になってしまいます**（もちろん、そういう演出が目的ならOK！）。

R0 G104 B255 C84 M58 Y0 K0

R0 G80 B255 C87 M65 Y0 K0

CHAPTER 3

肌の色から決める 髪色のレシピ

キャラクターの印象を大きく左右する髪の毛の色。髪は肌と隣り合うパーツのため、肌との調和やコントラストを意識することで、配色がぐっと引き立ちます。ここでは、6つに分類した肌の色を起点に、キャラクターをより魅力的に見せる髪色の組み合わせを紹介します。髪のハイライトは自然な光を表現しつつ、キャラクターの個性を際立たせる色を厳選。配色に迷ったときの指針として役立ててください。

0 キャラクター配色における髪色の役割

◆髪の毛の色でキャラクター性が決まる?

色が持つイメージは、キャラクターの印象を大きく左右します。とりわけセリフのないイラスト表現においては、色はキャラクター性を語る重要な要素となり、その影響力は決して小さくありません。なかでも**髪色は画面を占める面積が大きく、色の特徴がストレートに伝わる**ため、キャラクターの個性を印象付けるうえで非常に効果的なパーツです。

Chapter 3では、以下の6 つの髪色タイプについて、より魅力的に映えるよう、肌の色との相性を踏まえた配色例を紹介していきます。

●色が持つ一般的なイメージ

ブラック	真面目、大人っぽい、知的、重厚感、冷静、寡黙
ブラウン	親しみやすい、自然体、おだやか、日常、やさしい、あたたかい
イエロー	明るい、陽気、元気、個性的、自由、ムードメーカー
レッド	情熱的、エネルギッシュ、勇敢、直情型、派手、カリスマ性
ブルー	冷静、知的、クール、落ち着き、真面目、清潔感、孤高
グリーン	やさしい、おだやか、癒し、自然体、中立、ミステリアス、魔法

◆ベース・影・ハイライトの三要素

髪色は、単に色を 1 色選ぶだけでは完成しません。最低でも、「ベース」「影」「ハイライト」の3色で構成すると、光と立体感を描き出すことができるようになります。

●1. ベースカラー

キャラクターを決定づけるメインの色。髪全体に塗る色のため、キャラクターの印象や世界観をもっとも強く伝える要素です。ここで選んだ色をベースに、影やハイライトの色を決めていきます。

MEMO

ベースの配色のポイント
- 肌の色とつながる色相を選ぶ
- 肌に対して補色を選ぶときは、肌の色になじむように調整する

●2. 影色

髪の質感や立体感をつくりだす色。髪の奥行き・束感・ボリューム表現を表現します。ベースの色味をより強調したり、キャラクターの印象を引き締める役割もあります。

MEMO

影色の配色のポイント
- 影は「色相をほぼ変えずに、明度を下げる」が基本
- 濁りすぎない範囲で彩度を落とすと、陰影が美しくなる

●3. ハイライト

髪の光、ツヤを表現する色。ハイライトは光を受けたもっとも明るい部分に入れる色で、髪にツヤや透明感を与えます。ベースの色とのコントラストで髪全体にメリハリをつくる役割もあります。

MEMO

配色のポイント
- 光の影響を考えてハイライトの色を選ぶ
- ベースとの明度差をしっかり付けると髪のツヤが表現できる
- あえてはずした色を選ぶとキャラクターにインパクトを与えられる

1 オレンジベースの髪配色レシピ

◆万能ベースカラーに映える髪配色って？

ピンクを含んだオレンジ系の肌に合わせやすい髪色パターンを紹介します。ベースカラーには、**黄みや赤み、くすみのいずれかを持たせるとうまくなじみます**。特に寒色を使うときには黄みを足しつつ、彩度を抑えめにするのが肌なじみのポイントです。

ブラック系

RECIPE 1 ベルベットブラック▶

肌の黄みの補色である青方向の色を使い、**引き締め効果で肌色を明るく見せます**。赤要素を入れて赤紫にして、オレンジベースになじませる工夫も。深めの髪色が大人っぽく上品な雰囲気に仕上げます。

肌の色は基本のオレンジベースである「クリアライト」（44 ページ）を使用しています

ベース	影色	ハイライト
R52 C80 M100 Y64 K53	R32 C87 M100 Y70 K63	R255 C4 M20 Y74 K0
G2 B43	G1 B32	G214 B77

オレンジベースの肌に合わせる髪の色は、

- 適度に赤と黄を含む色が調和しやすい
- 青みが強すぎると肌との温度差が大きく不自然になりがち
- ハイライトは高明度・高彩度にすると健康的に見える

この3点を意識するとよいぞ

ブラック系

◀ RECIPE 2 スモークチャコール

黒にグレーを溶かし込んだ青み系ダークカラー。オレンジベースの肌×寒色は、温度差が強すぎると髪だけ浮いてしまったり、黄ぐすみする危険性があるため、**寒色に赤みを入れたり、ハイライトで明度差を付けて顔まわりを明るく見せて**対応しましょう。

ハイライトは、ベースと連続性のあるミントで温度感を描えて

R61 C82 M78 Y55 K21	R37 C90 M90 Y59 K39	R110 C49 M0 Y23 K0
G63 B85	G38 B63	G249 B235

ブラウン系

RECIPE 3 ミルクティブラウン▶

黄みを含んだ暖色系のベージュブラウンは黄み肌との相性抜群。顔全体のトーンが上がり、やわらかさや幼さをほどよく添えます。**誰にでもなじみやすい「安全性の高い基準色」として使いやすい配色**です。

光として認識しやすい肌と同系統の暖色ライトは肌なじみも◎

R182 C36 M51 Y60 K0	R111 C61 M69 Y66 K17	R253 C6 M0 Y37 K0
G137 B104	G82 B77	G255 B183

ブラウン系

◀ RECIPE 4 カカオモカ

肌となじみやすい、赤みを含む中明度のブラウンが**肌のオレンジと共鳴し、あたたかみと大人っぽさを演出**します。ベースと色相が近い高明度のピンクベージュのハイライトがこの配色のポイント。

ハイライトのピンクベージュは、黄み肌となじみ◎！肌と髪の調和を高める役割も

R126 C54 M81 Y69 K18	R77 C67 M86 Y69 K43	R255 C0 M31 Y1 K0
G66 B68	G40 B50	G202 B223

イエロー系

◀ RECIPE 5 シャンパンブロンド

黄と白に少量のグレーを混ぜた「きらつかない金」。純金髪では浮きやすい肌トーンも、グレーを加えることでなじみやすくなります。明るいベージュが肌を暗く見せず、**透明感を引き立て上品さを備えた落ち着いたブロンド**に。

肌と補色関係にあるハイライトが透明感を底上げ。光を入れるだけでなく肌を明るくきれいに見せる

R225 G218 B197	C15 M14 Y24 K0	R148 G118 B137	C51 M58 Y36 K0	R176 G254 B255	C32 M0 Y10 K0

イエロー系

RECIPE 6 ハニーゴールド▶

オレンジ寄りのゴールド。肌と近い色相を使って血色感を引き上げ、顔まわりを明るく見せます。彩度が高すぎる黄やオレンジは、肌がくすんで見えることもありますが、**適度な彩度に抑えることでギラつかず、軽やかでアクティブな印象に**なります。

ハイライトは、ベースが光を受けて変化したイエローグリーン。寒色すぎない色がベースとなじんで透明感 UP

R246 G195 B94	C7 M30 Y68 K0	R159 G93 B48	C44 M71 Y91 K6	R236 G255 B163	C15 M0 Y45 K0

レッド系

◀ RECIPE 7 ローズコーラル

ピンクにオレンジを加えることで、オレンジベースの肌にやわらかく溶けて血色感を引き上げ、黄み肌が美しく映えます。素直な**かわいらしさが出る赤系の代表的ニュアンスカラー**です。

赤系の髪×黄みハイライトでやわらかさを強調。明度差を付けて光を表現

R248 G168 B168	C2 M46 Y24 K0	R160 G80 B86	C45 M79 Y61 K3	R255 G240 B195	C2 M8 Y29 K0

レッド系

◀ RECIPE 8 ダスティベリー

肌の補色に近い赤紫で肌との対比を生み、顔まわりの透明感 UP。グレイッシュな赤紫で沈ませることで、肌との温度差が小さくなり、黄み肌にもなじみます。大人びた**ミステリアスな空気が印象的なヘアカラー**です。

肌と補色関係にあるハイライトが透明感を底上げ。光を入れるだけでなく肌を明るくきれいに見せる

R121 G77 B104	C62 M78 Y47 K5	R42 G22 B39	C81 M91 Y68 K57	R255 G192 B230	C3 M35 Y0 K0

ブルー系

RECIPE 9 ミストアクア▶

補色となるオレンジ肌×青緑は、肌の黄みが引き立ち顔色を明るく見せる効果アリ。青が濃すぎると浮いてしまうため、水色に白と緑を重ねて低彩度に。**緑を含むことで肌とよくなじみ、清涼感を軽やかに添えてくれます。**

黄みを含んだやさしい黄みミントのハイライトが肌になじみつつ透明感を加える

R167 G203 B202	C40 M12 Y22 K0	R58 G59 B75	C82 M77 Y59 K28	R238 G255 B200	C12 M0 Y30 K0

ブルー系

◀ RECIPE 10 ナイトネイビー

肌を引き締める深めのブルーバイオレット。青の深みが肌の明るさを際立たせ、知性や落ち着きを感じさせます。**彩度と明度を下げて寒色を肌にうまくなじませ落ち着いた印象**に。

肌なじみがよい暖色のハイライト。青紫のベースと明度差が大きく髪を軽く見せる

R63 G59 B119	C88 M88 Y33 K1	R22 G17 B44	C95 M99 Y64 K54	R255 G217 B147	C2 M20 Y47 K0

グリーン系

◀ RECIPE 11 セージグリーン

肌の透明感を引き出す補色寄りのグリーンに灰色を混ぜることで、肌と衝突せずになじみます。**自然で中性的、かつ現代的な雰囲気が特徴のヘアカラー**です。ハイライトには寒色ベースでも冷たくなりすぎない黄みを含んだミントを採用。

ハイライトは黄みミントで肌とのつながりと光感を両立

R150	C47	R59	C80	R242	C11
G179	M22	G116	M48	G255	M0
B158	Y41	B102	Y64	B192	Y33
	K0		K4		K0

グリーン系

RECIPE 12 ジュエルエメラルド▶

寒色の青緑で顔まわりの透明感を出しつつ、肌になじむように黄みを混ぜた宝石のような光沢感のあるグリーン。**ファンタジー寄りの表現にも使える、存在感を強調するアクセントカラー**です。

高明度ながら白過ぎず、おだやかな寒色ハイライトがやわらかい印象を生み出す

R89	C58	R22	C81	R235	C15
G225	M0	G141	M33	G255	M0
B170	Y48	B141	Y48	B173	Y42
	K0		K0		K0

◆魔王の配色チェック! やりがちカラーを攻略しよう

オレンジベースはある程度どんな色でも合わせやすいものの、極端に彩度が高い濃い色は浮きがち。肌のやわらかさに似合う色選びを心掛けて。

白（無彩色）のハイライトはベースと色のつながりがなく、肌とのコントラストも強いため、浮いてしまうことも

R0	C91	R0	C94	R255	C0
G42	M72	G35	M79	G255	M0
B255	Y0	B215	Y0	B255	Y0
	K0		K0		K0

2 イエローベースの髪配色レシピ

◆ヘルシーな血色感でナチュラルな美しさを演出

イエローベースの肌を明るくみせる髪色パターンを紹介します。**イエロー系、ブラウン系が自然になじむ一方で、イエベ肌が苦手とするのはブルー系のヘアカラー**。彩度を落としたり、黄み寄りに調整する工夫でぐっとなじみやすくなります。

ブラック系

RECIPE 1 インセンスブラック▶

黒にブラウンを少量混ぜて、**青みを排除した「イエベ専用」ブラック**。青黒だとくすみやすいイエベ肌ですが、焦げ茶（赤み＋黄み）を含むことで冷たく見えず、血色を損ないません。

ハイライトは高明度の黄系で強い明度差をつくる。補色寄りの暖色を加えてあたたかみを演出

ベースにはイエベ肌となじむ ウォームブラックを。重く見えすぎない上品な黒が◎

影色はわずかに紫寄りの影色にすることで色相のぶつかりを避けて自然な陰影を形成

肌の色は基本のイエローベースである「ハニーミルク」（48 ページ）を使用しています

ベース		影色		ハイライト	
R49	C77	R30	C84	R255	C6
G44	M75	G26	M82	G250	M0
B41	Y76	B30	Y76	B134	Y56
	K52		K63		K0

イエローベースの肌に合わせる髪の色は、

- 寒色が強すぎると肌がくすむ
- 暖色やニュートラルカラーがなじみやすい
- ハイライトは黄みを含む明るい色にすると自然に見える

この3点を意識するとよいぞ

ブラック系

◀ RECIPE 2 アンバーシャドウ

ダークブラウンにほんのり赤みを忍ばせた「温度のある黒」はイエベ肌と相性◎。黄みと赤みが得意なイエベ肌と調和し、黒髪でありながら冷たさを感じさせない肌の血色感を引き立てる万能カラーです。

イエベ肌と相性の良い
暖色ハイライトが
立体感を出すポイント

R66	C70	R40	C78	R255	C0
G43	M79	G26	M84	G191	M35
B42	Y76	B31	Y75	B175	Y27
	K49		K62		K0

ブラウン系

RECIPE 3 サンドラテ▶

白と黄みをしっかり含んだ明るめのベージュブラウン。**肌と髪の色相が同系統のため肌なじみは抜群。**自然な血色が保たれ、顔まわりが一段明るく見えます。

黄を含む白のハイライトが
肌の色とのつながり◎
髪がやわらかいラテ感を出す

R184	C35	R112	C59	R254	C6
G138	M50	G83	M67	G255	M0
B79	Y75	B59	Y80	B180	Y38
	K0		K21		K0

ブラウン系

◀ RECIPE 4 スパイスモカ

イエベ肌にブラウンを合わせるなら黄みや赤みを含ませるのが最適。こちらも肌に調和するよう、赤みをしっかり含んだ中彩度のブラウンに。グレーを加えないため発色がよく、イエベ特有の血色と共鳴しやすいのが特徴です。

黄緑のハイライトはイエベ肌と
なじみつつ、軽さと抜け感が◎
黄寄りに落とすと
ナチュラルな仕上がりに

R189	C33	R115	C54	R222	C21
G91	M76	G55	M84	G255	M0
B68	Y74	B50	Y79	B139	Y55
	K1		K28		K0

イエロー系

◀ RECIPE 5 バタークリームブロンド

黄と白を主体に彩度を控えめにした、きらつきすぎないブロンド。**イエベ肌には、黄・オレンジ・ベージュなどの暖色が自然になじみ**、明るく健康的に見せてくれます。乳白寄りの色味が上品な明るさを演出する、重さのないゴールドトーンです。

やわらかいアイボリー寄りの
ハイライトはイエベ肌に
もっともなじむ光の色

R239	C10	R157	C47	R255	C0
G219	M16	G119	M58	G240	M9
B170	Y38	B118	Y48	B231	Y10
	K0		K0		K0

イエロー系

RECIPE 6 マリーゴールドゴールド▶

濃い黄色にオレンジを重ねた力強いゴールド。太陽のような明るさや主役感を一気に引き上げます。高彩度の純黄色だと肌の黄みを強調しすぎるため、**赤み寄りのオレンジを足すのがなじませるコツ**です。

ハイライトはベースと近い色相で
高明度にして明度差をつけることで、
自然な光沢に

R213	C23	R138	C50	R255	C4
G168	M38	G80	M73	G255	M0
B27	Y93	B14	Y100	B194	Y32
	K0		K16		K0

レッド系

◀ RECIPE 7 ピーチブロッサム

単体では浮きやすいピンクにオレンジを重ね、イエベ肌になじむように仕上げました。肌と髪にコントラストをつけるため、髪の明度は肌より一段下げています。かわいらしさと若々しさを出したいときにぴったりの配色です。

ハイライトはイエベ肌と
同じ黄系で統一して
全体のまとまり感をUP！

R249	C1	R161	C43	R255	C5
G125	M65	G60	M88	G252	M0
B115	Y46	B59	Y79	B166	Y44
	K0		K7		K0

レッド系

◀ RECIPE 8 テラコッタローズ

茶とオレンジを重ねた赤。**赤を黄みに寄せることで、イエベ肌でもなじみがよく浮きません**（逆に青が入ると肌がくすみます）。低明度のため、深みと存在感が出て落ち着いた雰囲気を演出できます。

ハイライトの黄色は、赤茶色の髪に光が当たったときの反射色。さらに肌と色がかぶらないように緑寄りに調整

R176	C38	R79	C58	R216	C23
G53	M91	G9	M99	G255	M0
B36	Y99	B13	Y98	B144	Y54
	K4		K54		K0

ブルー系

RECIPE 9 リーフミント▶

イエベ肌になじむよう、水色に黄緑を重ねて青成分を控えめに整えた軽やかな寒色。**肌の黄みと髪の青緑が補色関係となり、肌をより明るく見せます**。爽やかさがあり、抜け感のあるミント系ブルーです。

ハイライトの黄緑は、ツヤ感だけでなく髪色の青緑とイエベ肌をつなぐ中間色としても機能

R56	C67	R19	C91	R226	C19
G200	M0	G58	M71	G255	M0
B167	Y47	B62	Y68	B152	Y51
	K0		K39		K0

ブルー系

◀ RECIPE 10 インディゴモス

一般的に、純粋な青だけの髪色はイエベ肌の完全な補色となり黄ぐすみしやすいもの。ただし、**黄と青の中間にある緑を混ぜて調整**することで、肌の黄みとぶつからず、透明感を引き立てることができます。

青緑の髪×黄色のハイライトは浮いてしまうため、黄みを最低限にしたミントで対応

R3	C94	R1	C95	R142	C42
G50	M72	G15	M85	G255	M0
B52	Y72	B19	Y81	B214	Y31
	K47		K71		K0

グリーン系

◀ RECIPE 11 オリーブシルク

イエベ肌に合うオリーブ系ベースは、黄みを含む緑なので肌が沈まず相性◎。**黄緑にグレーを重ねて彩度を抑えたくすみトーンが、イエベの温度感にマッチ**し、落ち着きと洒落感を出しつつ、やわらかな印象をつくります。

淡くホみを含んだラベンダーのハイライトが肌と髪、両方を美しく見せる

R189	C32	R75	C75	R254	C9
G198	M18	G128	M42	G199	M29
B167	Y38	B108	Y63	B255	Y0
	K0		K1		K0

グリーン系

RECIPE 12 エンヴィエメラルド▶

イエベ肌に**緑を合わせるときは、しっかり黄色を含んだ高彩度のイエローグリーンに調整**（青に寄せると肌がくすむ）。わずかにミント系になるため、透明感が出て肌が明るく見えます。ファンタジー表現にも適したアクセントカラーです。

ハイライトを黄寄りにすることで、肌と髪の温度が揃い、明るく見える

R23	C76	R6	C88	R237	C16
G174	M8	G109	M48	G255	M0
B98	Y78	B81	Y79	B132	Y57
	K0		K9		K0

◆魔王の配色チェック! やりがちカラーを攻略しよう

原色ブルーやネイビーなどの青の強い色は、イエベと相性が悪く肌がくすむ原因に。**青を使うときは、緑を足したりトーンを揃える**など一工夫しましょう。

R116	C47	R28	C76	R223	C16
G246	M0	G154	M29	G241	M2
B251	Y15	B209	Y11	B255	Y0
	K0		K0		K0

3 ブルーベースの髪配色レシピ

◆透け感を演出して洗練された印象に

透明感が持ち味のブルベ肌には、**彩度を落としたくすみ感のある色やアッシュ系が相性◎**。肌がくすんで見える完全な黄みは避け、青・灰・紫を混ぜて中和することで似合わせが可能になります。

ブラック系

RECIPE 1 オブシディアンブラック▶

純黒に青を重ねたブルベ向けブラック。ブルベの血色を損なわずに肌を引き締め、透明感を強く際立たせます。**ブルベ肌は、青、青紫、シアンなど「寒色系」ともっとも調和しやすく**、肌の青みと共鳴して透明感を高めます。

肌の色は基本のブルーベースである「ボーセリンローズ」（52 ページ）を使用しています

ベース	影色	ハイライト
R21 G22 B66	C99 M100 Y59 K35	R13 G13 B49	C100 M100 Y64 K50	R97 G139 B255	C67 M45 Y0 K0

ブルーベースの肌に合わせる髪の色は、

- 青みが強すぎると顔色が青白く沈む
- 赤紫、ラベンダー、アッシュなど、寒色でもやわらかい色がなじみやすい
- ハイライトは青白すぎると血色が消えるので、ピンク系の明るい色が◎

この3点を意識するとよいぞ

ブラック系

◀ RECIPE 2 ミッドナイトヴァイオレット

黒にごく少量の紫を混ぜて、光が当たると紫が淡く透けるように設計。**ブルベの血色を引き立てる紫を青に混ぜることで、肌の色を沈ませず**、黒髪に神秘的な透明感と奥行きをもたらします。

ハイライトに黄色は、髪のベースと補色関係のため、浮いてしまう。ベースの明度を上げた紫を使って肌の透明感をUP

R24 G23 B35	C89 M88 Y71 K61	R15 G14 B26	C91 M90 Y75 K67	R71 G18 B146	C88 M100 Y7 K0

ブラウン系

RECIPE 3 アッシュココア▶

ブルベ肌を美しく見せるため、**黄みを完全に排した低彩度のグレーブラウンで構築**。黄みを含むブラウンは、本来ブルベ肌とは相性が悪い色のため、クール寄りのニュアンスを必ず混ぜることがポイントです。

肌の青みと血色（赤紫）の両方を自然に引き出すピンク系のハイライトで冷たさを和らげる

R113 G103 B119	C65 M62 Y45 K1	R69 G62 B88	C81 M80 Y53 K18	R219 G155 B181	C17 M49 Y14 K0

ブラウン系

◀ RECIPE 4 ローズトープ

肌の色を上品に見せるため、赤紫にグレーを溶かしてつくったブルベ用ブラウン。スモーキー調でブルベ肌の青みと赤みを自然に引き出す最適な寒色です。**黄みのない紫が、黄ぐすみを回避して肌の白さを強調**します。

ベースと影の低彩度の紫にハイライトで鮮やかな赤紫を入れて、透明感と光の表現、華やかさをプラス

R82 G62 B93	C77 M82 Y50 K14	R50 G37 B69	C87 M93 Y56 K33	R213 G74 B150	C21 M83 Y9 K0

イエロー系

◀ RECIPE 5 フロストブロンド

黄みが苦手なブルベ肌に合わせるため、黄みを完全に排して白と銀で構成した高明度のブルベ肌用ブロンド。肌の青みを引き立て、くすまず上品な透明感を生む凛とした清潔感をまとう寒色系のハイトーン。

ブルベ肌の透明感を強める
青みハイライトで
血色を損なわずに
透明感を引き上げる

R233 C10 M13 Y11 K0	R135 C56 M57 Y29 K0	R255 C1 M0 Y10 K0

イエロー系

RECIPE 6 ムーンライトブロンド▶

肌になじむよう、黄を極力使わず紫を重ねて中和した「月光」を思わせるベース。ブルベ肌が得意とする黄みをほぼ含まないグレイッシュトーンが、冷たさと上品さを兼ね備えた透明感あるブロンドとして成立します。

黄みをほぼ含まないニュートラルなホワイトで、
髪のハイライトとして自然な光を再現

R221 C16 M16 Y8 K0	R143 C53 M65 Y46 K1	R255 C1 M0 Y10 K0

レッド系

◀ RECIPE 7 フューシャペタル

黄みゼロの赤紫はブルベ肌がもっとも映える色です。高彩度のピンクですが、青みを強く含んだ「冷たさ」があり、暖色すぎない絶妙なバランスが◎。青みピンクはブルベ肌の血色として処理されるため、顔色が冴えて透明感が際立ちます。

一見不思議に
見えるミントシアンの
ハイライトは、
ベースの補色寄りで、
ツヤをもっとも
強調できる組み合わせ

R213 C39 M82 Y0 K0	R138 C58 M100 Y40 K1	R158 C38 M0 Y14 K0

レッド系

◀ RECIPE 8 ボルドーワイン

赤紫に黒を重ね、冷たさを含んだ深みのあるワインカラーはブルベ肌の得意領域。黄みを排除して赤を「紫と闇」で包みこむことで、ブルベの透明感を活かします。深い陰影と大人のツヤを演出できる赤系トーンです。

ハイライトは、赤紫ベースの
自然な反射光を再現した
青みピンク

R66 C77 M100 Y60 K41	R30 C82 M95 Y76 K70	R255 C9 M68 Y0 K0

ブルー系

RECIPE 9 グレイシャーブルー▶

緑を含まない純度の高い氷のような水色は、青と紫の中間にあるため肌の青みを自然に際立たせます。ブルベは純青の冷たさを拒まず、肌の明るさとして受け取れるため、**澄んだ青が肌をさらにクリアに見せ、ファンタジー感のある雰囲気**が無理なく成立します。

肌の青み、透明感、血色を美しく引き出す、
青方向の色をハイライトに採用

R180 C34 M22 Y0 K0	R62 C84 M85 Y51 K18	R211 C21 M0 Y4 K0

ブルー系

◀ RECIPE 10 ロイヤルネイビー

ブルベ肌が得意とする青紫。黒に近い深い青を基調に、わずかに紫を含ませて設計した重厚な寒色です。**深い青が肌の明るさを強調**し、顔立ちに知性と威厳を添えてくれます。

黄みほぼゼロ、青＋紫、
高明度というブルベ肌に
とって理想のハイライト

R37 C99 M100 Y31 K0	R13 C99 M100 Y65 K52	R196 C31 M34 Y0 K0

グリーン系

◀ RECIPE 11 ヴィリジアンミスト

ブルベ肌は**黄みの強いグリーンを合わせるとくすんでしまう**ため、「青寄りクールグリーン」＋「彩度は抑えめ」がポイント。黄みを排して静かな涼感を生み出す、都会的なミストトーン。

アイスミントのハイライトでブルベ肌の透明感と清涼感を最大限に引き出す

R150 C47	R59 C80	R188 C29
G182 M22	G118 M49	G255 M0
B191 Y23	B124 Y50	B252 Y11
K0	K1	K0

グリーン系

RECIPE 12 スペクトラルエメラルド▶

イエローベースに転びやすい濃い緑ですが、この色は黄みを含まない青寄りの高彩度グリーン。イエベ向きの黄寄りエメラルドと違い、ブルベ肌でも透明感を損なわず成立します。**非現実的な雰囲気や存在感を放つ鮮烈なクールトーン**です。

グリーンが黄寄りにならない全体の寒色バランスを壊さないハイライト

R7 C88	R2 C100	R120 C46
G109 M52	G35 M94	G255 M0
B121 Y51	B67 Y59	B237 Y23
K3	K36	K0

NG…

◆魔王の配色チェック! やりがちカラーを攻略しよう

イエローとは逆で、**黄みの強い色を使用すると肌の色がくすみ**、血色が悪く見えてしまいます。派手すぎない色選びで上品な仕上がりに。

R244 C5	R211 C22	R255 C6
G155 M50	G69 M85	G240 M5
B59 Y79	B8 Y100	B91 Y71
K0	K0	K0

4 明るい褐色ベースの髪配色レシピ

◆ヘルシーなツヤ感でアクティブに!

黄みと赤みを適度に含んだ明るい褐色肌は、**血色感とツヤを引き立てる色を選ぶことが重要**となります。黄、赤系の髪色の相性がよく、反対に、アッシュなどの寒色はくすみの原因となるため避けたほうが無難です。

ブラック系

RECIPE 1 ラッカーブラック▶

黄みと赤みを含む肌に自然になじむ、赤みを帯びた深いブラック。**褐色肌は強い黒や高彩度カラーとの相性がよく**、りんかくが引き締まり、肌のツヤもより際立ちます。

ハイライトは髪のベースを補強しやすい黄色の明度を大幅に上げて質感のツヤを強調

赤にほんの少し黄みを含んだ、暖色寄りの黒が、健康的で血色のよい印象をいっそう引き立てる

影色はベースより赤みと明度を下げて彩度も抑えた色。同系色のため違和感なく自然な影を表現

肌の色は基本の明るい褐色ベースである「サンライトタン」（56 ページ）を使用しています

ベース	影色	ハイライト
R50 C69	R30 C79	R255 C6
G12 M92	G7 M89	G237 M7
B10 Y91	B7 Y88	B94 Y70
K67	K73	K0

明るい褐色肌に合わせる髪の色は、

- **黄、赤寄りの暖色ブラウンが相性◎**
- **グレイッシュやアッシュなど青みの寒色は肌がくすみやすい**
- **ハイライトは黄色寄りが自然で健康的**

この3点を意識するとよいぞ

ブラック系

◀ RECIPE 2 バーニッシュドオニキス

黒に赤茶をほんのり溶かし、光沢感を強調したヘアカラー。**明るい肌色（高明度）に対して、明度差を大きく取り、キャラクターの存在感を強調**します。ほどよいツヤと立体感で肌の魅力を引き立てます。

暗い髪に入れたピンクのハイライトが、キャラの個性をぐっと引き立てる

R15 G10 B54	C99 M100 Y64 K46	R9 G6 B40	C100 M100 Y67 K57	R237 G76 B157	C9 M82 Y2 K0

イエロー系

◀ RECIPE 5 サンフレアブロンド

濃い黄にオレンジを溶かした中明度のブロンドで、あたたかみのある配色。褐色肌に寄り添い、白金ほど強くないものの十分な**明るさを保つことで、肌を暗く沈ませず、太陽の光を浴びたような健康的な輝き**を与えます。

ハイライトはベースの黄みブラウンと調和し、自然な光を表現

R165 G107 B25	C43 M64 Y100 K3	R109 G58 B17	C55 M79 Y100 K33	R228 G255 B132	C19 M0 Y58 K0

ブラウン系

RECIPE 3 ココナッツブラウン▶

強い黄みを持つ中明度のブラウンで、赤みを抑えたおだやかな色調が特徴です。**肌色が持つ黄みのトーンと近い色相のため無理なくなじみ**、健康的で自然体の印象をつくります。

ベースと同系色のハイライトがつくる自然なツヤがイラストにぬくもりと安心感を与える

R122 G83 B9	C56 M67 Y100 K20	R74 G50 B7	C66 M74 Y100 K48	R255 G247 B170	C4 M3 Y43 K0

イエロー系

RECIPE 6 トロピカルハニー▶

黄と橙に赤を重ねた光を感じさせる高彩度カラー。**肌がもつ黄み・赤みと響き合い、自然な明るさのまま華やかさをプラス**。肌をくすませず、生命力あふれる鮮やかな印象を引き出すヘアカラーです。

ハイライトをピンクにすることでツヤが際立ち、透明感と立体感を与える

R251 G159 B92	C1 M50 Y64 K0	R162 G76 B47	C42 M81 Y91 K7	R255 G226 B250	C2 M17 Y0 K0

ブラウン系

◀ RECIPE 4 スパイスチェスナット

肌のあたたかさと調和する赤みブラウン。**彩度が高くにごりのない色が肌を明るく見せます**。ベースのブラウン×ハイライトのコーラルが自然なツヤと個性を引き出します。

肌の黄みと赤みになじみがいいハイライトのコーラルが光のやわらかさを表現

R138 G51 B55	C49 M90 Y78 K17	R84 G31 B41	C61 M91 Y75 K46	R255 G199 B173	C0 M31 Y30 K0

レッド系

◀ RECIPE 7 パパイヤローズ

ローズブラウンを基調にした中明度のカラーで、**黄みを含むやわらかな赤が特徴**。青みピンクのように浮くことなく、肌の黄みと自然に溶け合って血色を保ちながら、肌全体を明るく見せます。

黄色のハイライトは、赤系の髪に自然な光を与えつつ肌の透明感と明るさを引き出す

R205 G84 B112	C25 M79 Y42 K0	R133 G40 B58	C51 M94 Y73 K19	R241 G255 B135	C14 M0 Y56 K0

レッド系

◀ RECIPE 8 チリマルーン

肌なじみのよいレッドブラウンを高めの彩度で仕上げ、華やかさを出しながらも重く見せない配色。**青みのない暖色なので褐色肌に自然になじみ**、情熱的な印象と大人の魅力を無理なく引き出します。

赤の重さを軽やかに整えて
健康的な輝きを引き出す
高明度イエローのハイライト

R152	C45	R68	C62	R255	C5
G13	M100	G2	M100	G230	M12
B20	Y100	B7	Y98	B113	Y63
	K14		K60		K0

ブルー系

RECIPE 9 ラグーンターコイズ▶

青緑を基調に、黄みを含ませた海の光を思わせる配色。**青を選ぶときは緑寄りにすることが肌となじませるポイント**。さらに適度な明度を保つことで顔まわりを明るく保ち、爽やかさと肌なじみを両立させます。

褐色肌になじみつつ、
髪に透明感と明るさを与える肌と
寒色をつなぐハイライト

R0	C75	R0	C97	R255	C7
G176	M10	G51	M78	G251	M0
B175	Y38	B65	Y63	B101	Y67
	K0		K38		K0

ブルー系

◀ RECIPE 10 ディープオーシャン

彩度が高すぎる青は褐色肌をくすませてしまうためNG。**純度の高い青を使うときはビビッドな色味ではなく落ち着いたブルーブラック**を。肌の明るさを損なわず、透明感と寒色の美しさを引き立てます。

涼しい水色のハイライトは
肌をくすませず、深い青を
明るく涼しげに見せる

R12	C100	R4	C100	R118	C47
G41	M96	G12	M98	G255	M0
B95	Y51	B35	Y69	B236	Y23
	K12		K61		K0

グリーン系

◀ RECIPE 11 バームグリーン

高彩度の黄緑は褐色肌をくすませやすいものの、**「緑をしっかり含む中明度の黄緑にする」「影色に暗めの黄緑を使って全体を整える」**ことで、肌の黄みに自然になじみます。

肌となじみのいい黄色を
ハイライトに使って黄緑の
強さをやわらげる

R117	C58	R46	C80	R255	C4
G208	M0	G135	M35	G229	M13
B8	Y99	B5	Y100	B135	Y55
	K0		K1		K0

グリーン系

RECIPE 12 ジャングルエメラルド▶

黄みを含んだ深緑が、肌との調和と神秘的な雰囲気をもたらします。ただし、暗い深緑は肌の明るさを弱めるため使用には注意が必要。**黄みを追加する、彩度を抑えるなど肌をくすませない工夫**を。

深緑の重さを抜き、褐色肌ともつなぐ
重要な役割を担うライトライムのハイライト

R0	C93	R0	C94	R174	C37
G55	M64	G18	M80	G255	M0
B26	Y100	B14	Y87	B127	Y63
	K50		K73		K0

NG…

◆魔王の配色チェック! やりがちカラーを攻略しよう

赤みと黄みを含む明るい褐色肌は幅広い髪色に合いますが、肌の黄みより強く鮮やかなオレンジは肌をくすませてしまいます。また、**彩度の低いグレー寄りの影色は髪全体をくすんで見せる**ため、使う際は注意が必要です。

R255	C0	R136	C50	R255	C2
G158	M50	G72	M77	G255	M0
B46	Y82	B17	Y100	B231	Y14
	K0		K18		K0

5 濃い褐色ベースの髪配色レシピ

◆深みのあるトーンで重厚感を表現

力強く落ち着いた濃い褐色肌の魅力を活かすには、肌の温度に寄り添う**暖色系のブラウンや深紅が特によくなじみます**。一方で、青みの強い寒色を使いたい場合は、明度を上げたり黄みを少し含ませるなど、肌をくすませないための工夫が必要です。

ブラック系

RECIPE 1 エボニーレガリア▶

青や赤を一切含まない純度の高い黒で、光沢が際立つように設計された漆黒。中明度の**褐色肌に対して髪が極めて暗いことで強い明度差が生まれ、肌のツヤをより美しく見せます**。肌本来の艶やかさがいっそう鮮やかに際立つコントラストが魅力。

肌の色は基本の濃い褐色ベースである「チョコレートディープ」(60 ページ) を使用しています

ベース	影色	ハイライト
R33 C83 M78 Y77 K60	R20 C87 M84 Y78 K68	R133 C63 M100 Y22 K0

濃い褐色肌に合わせる髪の色は、

- **青みが強い寒色は肌をくすませやすい**
- **無彩色を使う際はハイライトでアクセントを**
- **白に近すぎるハイライトは肌が暗く見える可能性あり**

この3点を意識するとよいぞ

ブラック系

◀ RECIPE 2 ミスティックアッシュ

濃い褐色の肌をさらに上品に美しく見せる薄い墨のような灰黒は、肌との強いコントラストによってインパクト大。銀髪のような淡いグレーをまとう妖艶さは、SF やファンタジー要素のある作品にもおすすめです。

明るいスミレ色のようなハイライトが銀髪の神秘性を演出

R215 C19 G220 M12 B225 Y10 K0	R109 C67 G105 M61 B135 Y35 K0	R171 C38 G179 M29 B244 Y0 K0

ブラウン系

RECIPE 3 ダークシアブラウン▶

静かな重みをまとった暖色ブラウンは、肌をくすませず血色よく見せてくれます。肌色と近い色系統ながら、**やわらかな明度差があり、自然体でありながら芯のある力強さ**を引き出します。

濃い褐色肌と色相が近い黄金色のハイライトはなじみがよく、ツヤと立体感が出て相性抜群

R61 C71 G42 M78 B38 Y78 K52	R37 C79 G25 M83 B28 Y77 K64	R255 C1 G185 M36 B79 Y72 K0

ブラウン系

◀ RECIPE 4 コッパークレイ

肌の赤みと同じ方向に寄せた高彩度・低明度の赤銅色で、褐色肌の黄みや赤みにしっかりなじみ、健康的な印象を与えます。**深い赤色が肌のツヤを際立たせ、存在感のある仕上がり**になります。

赤銅色×黄色のハイライトによって、炎のようなあたたかさと情熱的な輝きを生む

R107 C53 G0 M100 B16 Y100 K39	R65 C63 G0 M100 B12 Y92 K61	R255 C0 G163 M47 B25 Y88 K0

イエロー系

◀ RECIPE 5 ソーラーフレア

肌の黄みに寄り添うように強い黄色を高彩度でまとめた、太陽のような力強さを宿したヘアカラー。肌の持つ黄みと彩度が近いため、ビビッドな黄色でも不自然にならず、**肌のあたたかさと響き合い、圧倒的な美しさ**を引き出します。

おひさまを思わせる黄色のハイライトが肌と髪のベースになじみ、明るさを強調

R255 G206 B0	C4 M24 Y89 K0	R168 G111 B0	C43 M62 Y100 K2	R249 G255 B203	C7 M0 Y28 K0

イエロー系

RECIPE 6 ホワイトサンゴールド▶

中明度の肌に対し、白金に黄を重ねた高明度の黄が強いコントラストを生み、肌を宝石のように際立たせます。青みのない淡黄にしたことで肌と自然になじみ、**強い存在感**を放ちます。

褐色に近いハイライトを入れることで金髪の印象を変えてインパクトを与える

R255 G250 B130	C6 M0 Y58 K0	R232 G162 B2	C13 M44 Y94 K0	R214 G236 B255	C19 M4 Y0 K0

レッド系

◀ RECIPE 7 スカーレットフレイム

血色がよく見え、健康的でエネルギッシュな印象を与える褐色肌×赤髪は相性抜群。**原色ならではの情熱や生命力が映え、鮮烈な存在感**を放ちます。強さを象徴したいときにぴったりの配色です。

肌の黄みに寄り添い、光として自然に見える黄色ハイライト

R236 G0 B35	C7 M98 Y88 K0	R112 G0 B12	C52 M100 Y100 K37	R255 G214 B25	C6 M20 Y86 K0

レッド系

◀ RECIPE 8 ロイヤルクレムゾン

低明度で深みのある赤によって重厚さを際立たせる設計。**青みを抜いた赤のため、肌のあたたかなトーンと衝突せず、血色を損ないません**。赤の力強さを威厳としてまとわせた気高さのあるヘアカラーです。

肌と異なる温度感を持つハイライトの青みピンクは個性を演出したいときにぴったりのアクセントに

R181 G27 B0	C37 M99 Y100 K3	R60 G0 B0	C64 M99 Y100 K64	R255 G142 B206	C5 M57 Y0 K0

ブルー系

RECIPE 9 ウルトラマリンナイト▶

紫を帯びた深い青を高彩度でまとめた夜空のようなヘアカラー。青みが強い配色は褐色肌が苦手とする領域ですが、**あえて青を合わせることで、非現実的な存在感や幻想的な雰囲気を演出**します。

高彩度のアクアミントのハイライトがツヤとやわらかい質感を強調

R20 G0 B126	C100 M100 Y50 K1	R7 G0 B47	C100 M100 Y65 K54	R49 G253 B208	C56 M0 Y37 K0

ブルー系

◀ RECIPE 10 セレスティブルー

高彩度の青で、澄んだ発色をそのまま生かした大胆な配色です。**肌の持つあたたかいトーンが青の鮮烈さに埋もれず、原色でもしっかり主役として成立**します。強い色彩がアートのように映え、存在感を高めます。

ハイライトの水色は、ベースの落ち着いた青を崩さずに清涼感をプラス

R23 G52 B217	C91 M76 Y0 K0	R8 G15 B81	C100 M100 Y61 K23	R79 G227 B255	C56 M0 Y10 K0

グリーン系

◀ RECIPE 11 エデングリーン

黄みを帯びた高彩度の緑が肌の黄みとよくなじみ、くすまず明るく見せてくれます。濃い褐色肌は、鮮やかさと生命力を思わせる**原色寄りの緑を乗せても色が負けにくく、存在感と調和を生み出します**。

レモンイエローのハイライトは髪色を明るく見せ、キャラを健康的に見せる

R1	C71	R0	C90	R237	C17
G203	M0	G89	M53	G255	M0
B0	Y100	B0	Y100	B77	Y73
	K0		K24		K0

グリーン系

RECIPE 12 インペリアルエメラルド▶

青緑は本来褐色肌と合わせにくい色のひとつですが、青と黄のバランスを整えた**黄寄りのエメラルドが清涼感とヘルシーさを両立**。ファンタジーの世界観でも圧倒的な主役感を放つ、威厳ある配色です。

あえて浮かせたピンクのハイライトが強いアクセントになり、個性と存在感をプラス！

R0	C73	R0	C91	R255	C20
G189	M0	G89	M55	G140	M51
B137	Y60	B67	Y82	B250	Y0
	K0		K22		K0

NG…

◆魔王の配色チェック! やりがちカラーを攻略しよう

濃い褐色肌はさまざまな髪色と相性がよく、美しさを引き出せる一方で、**髪の陰影が淡すぎると肌の濃さに負けて浮いてしまい、意図しない印象**になることも。

R207	C22	R97	C53	R255	C0
G255	M0	G233	M0	G255	M0
B249	Y10	B249	Y14	B255	Y0
	K0		K0		K0

6 ファンタジーベースの髪配色レシピ

◆異世界感をまとう大胆な個性派カラーベース

ファンタジー世界ならではの肌色に寄り添い、その独特の色相と世界観を最大限に引き立てるヘアカラーを提案します。

ブラック系

RECIPE 1 アビスブラック▶

反射を抑えた完全な黒で、深海や虚無を思わせる静かな重みをもつ髪色です。青系の肌と合わせると、冷たさが神秘的な雰囲気へと変わり、赤系の肌では強いコントラストが生まれて力強い印象に。緑系の肌には異質さが物語性を生み、灰系の肌にはもっとも自然になじみます。**あらゆるファンタジー肌を受け止める基準の黒として機能**する万能な配色です。

ハイライトはベースと調和する色相かつ、冷たい光を表現できる高明度の配色。彩度も高めで、暗い髪にメリハリを与える

赤にほんの少し黄みを含んだ、暖色寄りの黒が、健康的で血色のよい印象をいっそう引き立てる

影色は青みを強めた色で奥行きを演出。彩度抑えめでなじみがよく、自然な影を表現

肌の色は基本のファンタジーベースである「アイスブルーム」（64 ページ）を使用しています

ベース		影色		ハイライト	
R23	C89	R14	C92	R55	C91
G30	M83	G18	M88	G57	M89
B38	Y72	B28	Y74	B121	Y31
	K59		K66		K1

青肌を基本としているが、Chapter 2で紹介しているファンタジー肌、どれでも合うように設計しているぞ。いろんな組み合わせを試してみようである!

ブラック系

◀ RECIPE 2 スペルシャドウ

黒に紫を重ね、魔力が揺らめくような反射を持たせた神秘的な配色。肌の青みと組み合わせると冷たさが異界性へ転じ、灰寄りの肌ではりんかくが際立ちます。**深い闇に紫の気配が宿ることで、幻想的な「異界」を思わせる髪色**として成立します。

深い青紫に映えるハイライトで神秘的な存在感を強める

R36 C96	R22 C98	R149 C65
G25 M100	G15 M100	G0 M86
B79 Y57	B59 Y63	B205 Y0
K23	K40	K0

ブラウン系

RECIPE 3 ルーンブラウン▶

茶に赤みを含ませ、**大地や遺跡を思わせる深み**を持った配色。青系の肌には土の温度感でバランスを整え、赤系の肌には自然な同系色としてなじみ、緑系の肌ではどこか民族的な物語性を感じさせます。

深い赤に華やかな紫をハイライトで重ね、ツヤと妖しい魅力を強める

R73 C61	R44 C72	R152 C51
G14 M96	G8 M93	G24 M100
B22 Y87	B16 Y83	B92 Y47
K56	K68	K2

ブラウン系

◀ RECIPE 4 エンシェントオーカー

おだやかな彩度の黄土色で、大地の温もりを思わせるやわらかな配色。赤系や緑系の肌とは特に調和がとれ、原始的・部族的な雰囲気を強く引き出せます。**素朴さと物語性を兼ね備えた髪色**です。

やわらかなハイライトで自然なツヤを出し、髪色のあたたかさを引き立てる

R122 C58	R74 C69	R212 C22
G98 M61	G59 M72	G188 M28
B63 Y82	B47 Y79	B136 Y51
K13	K41	K0

イエロー系

◀ RECIPE 5 スターライトブロンド

白金の輝きを基調に、星明かりのような発光感を帯びたヘアカラー。肌の青みには冷たさと光が融合して異界的な天使像を、赤系の肌には気高さや神格性を、灰系の肌には無機質さと光の対比による完成度をもたらします。**神性を帯びたファンタジー万能色**として成立する配色です。

涼しい髪色にあたたかい光を添え、明るさと異次元感を際立てるハイライト

R255 C3	R133 C54	R205 C28
G255 M0	G161 M31	G255 M0
B216 Y22	B172 Y29	B99 Y70
K0	K0	K0

イエロー系

RECIPE 6 サンフレアゴールド▶

強い黄色を主軸に、**太陽の力を宿したような輝き**を持たせたヘアカラー。肌との温度差が心地よく映え、特に赤系や緑系の肌では生命力や力強さの象徴として成立します。明るさが存在感を高める、活力に満ちたゴールドです。

黄金の髪に異界の光をハイライトで入れ、超常的な存在感を強める

R237 C14	R124 C54	R243 C12
G206 M21	G75 M72	G255 M0
B23 Y89	B1 Y100	B158 Y47
K0	K22	K0

レッド系

◀ RECIPE 7 ブラッドコーラル

高明度のピンクで、生命感とやわらかな光をあわせ持つ鮮烈なヘアカラー。肌の青みに対しては補色効果で強く映え、灰寄りの肌では神秘性が際立ちます。特に**青肌で主役級の存在感を発揮する赤系カラー**です。

ピンクの髪に映える涼しい黄色のハイライトが異次元感 UP

R255 C0	R184 C36	R255 C6
G82 M81	G26 M98	G255 M0
B141 Y18	B82 Y56	B156 Y48
K0	K0	K0

レッド系

◀ RECIPE 8 インフェルノマルーン

深い赤を基調に、**炎や魔界を思わせる重厚な気配を宿した髪色**です。青系肌に強いコントラストをつくりつつ、赤系の肌とは同系の熱が響き合って存在感を強化、灰寄りの肌とは異質さが際立ちます。暗め赤ならではの神秘と力を帯びた配色です。

深い赤に炎の光をハイライトで追加。力強い輝きを演出

R73	C60	R24	C82	R255	C0
G5	M100	G0	M91	G122	M66
B15	Y93	B3	Y85	B51	Y78
	K57		K75		K0

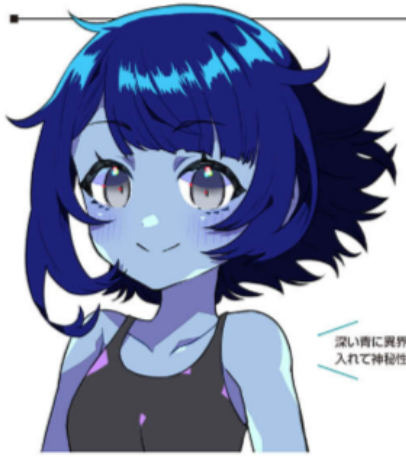
ブルー系

RECIPE 9 グレイシャーシアン▶

水色に白を重ね、氷の反射のような冷たい光を宿したヘアカラー。肌の青みとは同系統として種族的な一体感が生まれ、赤系の肌には対比が鮮やかに作用し、灰寄りの肌では透明感を引き上げます。**静謐な印象をもたらす配色**です。

淡い青髪に水色のハイライトでさらに透明感を加えて冷たさを表現

R223	C15	R120	C61	R120	C50
G236	M5	G132	M48	G223	M0
B248	Y2	B177	Y16	B255	Y6
	K0		K0		K0



ブルー系

◀ RECIPE 10 ナイトアークブルー

黒に近い青で、**夜の深みを閉じ込めたような配色**。肌の青みとは特に相性がよく、統一感が生まれます。赤系・緑系・灰系など幅広い肌にも自然になじみ、静かな力を宿した万能のダークブルーとして機能します。

深い青に異界の光をハイライトで入れて神秘性を演出

R30	C100	R10	C100	R64	C64
G34	M100	G10	M100	G200	M2
B121	Y36	B45	Y65	B248	Y4
	K1		K53		K0

グリーン系

◀ RECIPE 11 フェイグリーン

明るい緑を基調に、**妖精や自然霊を思わせる軽やかな発色**をもつ髪色です。青系肌に対しては異種感が映え、赤系の肌には補色効果で華やかさが強まり、緑系の肌とは同系のまとまりが生まれて種族的ニュアンスが高まります。鮮やかで物語性の強い配色です。

鮮やかな緑に光を差し、生命感を強めるハイライト

R101	C57	R12	C83	R255	C8
G225	M0	G137	M32	G250	M0
B114	Y70	B46	Y100	B82	Y72
	K0		K0		K0

グリーン系

RECIPE 12 ヴォイドエメラルド▶

深い闇を思わせる暗い緑に、宝石のようなハイライトの輝きを宿した髪色です。青系肌では冷たい異界性が強まり、灰寄りの肌とは無機質な雰囲気が合わさって「異界の存在感」が際立ちます。**静かで神秘的な重みをもつ配色**です。

深緑になじむハイライトが異世界的な輝きを与える

R4	C91	R0	C91	R109	C49
G66	M60	G31	M72	G255	M0
B15	Y100	B7	Y99	B202	Y38
	K42		K67		K0

◆魔王の配色チェック! やりがちカラーを攻略しよう

どんな色味でも自由な解釈ができるのがファンタジー肌の魅力。ただし、**髪色を完全に彩度のないグレーでつくってしまうと、肌の異質さがことさら強調されてしまいます**。全体の調和を保つためにも、色の組み合わせには注意が必要です。

R155	C45	R45	C80	R255	C0
G155	M37	G45	M75	G255	M0
B155	Y35	B45	Y73	B255	Y0
	K0		K50		K0

ハイライトの色がキャラクターの印象を決める?

髪の毛のハイライトは面積こそ小さいものの、髪全体の印象やキャラクターの雰囲気を大きく左右する重要な要素です。同じ髪色でも、ハイライトを変えるだけで「やさしい」「神秘的」といった印象を自在につくれます。

自然な光に見せたい場合は、髪のベース色を明るい方向に動かし、光源や髪色に合わせて色相を少し調整するのが基本です。どんな肌にもなじみやすいゴールド系が定番ですが、あえて**ピンクや青を加えることで個性を強調し、イラストに映えるアクセントとして活かす**こともできます。

自然な光に近い色を使ってハイライトを入れた場合。リアリティはあるものの、このイラストの場合は画面に緑が多く、インパクトには欠ける

ハイライトを白で入れてみたパターン。白はコントラストは強いものの、イラストの情報は特に増えず、なんとなく「水で薄めた」ような印象になることも

黄緑の補色のピンクを使ってみたパターン。補色ハイライトで強いインパクトを与えられるだけでなく、ピンクを入れることでキャラクターのキュートさも強調できる

魔王にとって、髪の毛のハイライトは食材の「味変」と同じ！　イラストの情報や印象を調整するアイテムとして考えてみるとよいぞ

CHAPTER 4

肌の色から決める

瞳の色のレシピ

瞳は顔の中心に位置し、肌の色とも密接に関わるパーツです。第一印象を決めるだけでなく、キャラクターの本質や物語性を象徴し、視覚的な個性を際立たせる役割があります。ここでは、6つに分類した肌の色を起点に、キャラクターをより印象的に見せる瞳の色の組み合わせを紹介します。瞳をより魅力的に描くためのコラムや、髪との組み合わせ方を紹介したコラムも掲載しています。

1 オレンジベースの瞳の配色レシピ

◆万能ベースカラーに映える瞳の色って？

ピンクを含んだオレンジ系の肌に合わせやすい瞳の色パターンを紹介します。ここでは瞳の色の「①ベース」「②影色（シャドウ）」を扱っています。ハイライトの色合いを変えたりしてさまざまなバリエーションを試してみましょう。

ブラック系

RECIPE 1 オブシディアンライン▶

わずかに青みを含んだ黒が肌のやわらかい赤みを引き締め、瞳に確かな芯を与えます。甘さを抑えつつ透明感を損なわないため、**知的で静かな印象**を自然に演出できる配色です。

肌の色は基本のオレンジベースである「クリアライト」（44ページ）を使用しています

ベース		影色	
R62	C82	R5	C100
G64	M77	G9	M100
B83	Y56	B43	Y66
	K23		K55

オレンジベースの肌の特徴は「健康的」「血色感がある」こと。合わせる瞳の色で、どんな印象を与えたいか考えながら色を決めるとよいぞ

◆瞳の色でキャラクターの魅力を引き出そう

瞳は顔の中の面積が小さく、基本的に色選びで大きく破綻することはありません。ただし、キャラクターに与える印象や演出効果は変わります。**オレンジ肌の「明るさ」「活発さ」を強めたいのか、逆に「落ち着き」「クールさ」を加えたいのか**などを考えると、より狙い通りの仕上がりになります。

暖色（茶、黄、赤）を使うと統一感が出てなじみやすい

寒色（青、緑）の瞳はアクセントとなり、肌を引き締める効果アリ

ブラック系

◀ RECIPE 2 スモークドジェット

黒にグレーを混ぜることでコントラストが和らぎ、肌の明るさと階調を整えます。瞳だけが浮かず、顔全体がおだやかなトーンでまとまるため、**自然体で日常的なキャラクター**に適しています。

R123	C60	R50	C80
G125	M50	G51	M75
B138	Y39	B55	Y69
	K0		K43

ブラック系

RECIPE 3 インクブラウンブラック▶

黒の中に赤茶を含ませることで肌のほのかな赤みと調和し、冷たくなりすぎない黒目になります。血色が失われず感情が伝わりやすいため、黒の瞳の中でも**意思の強さを出したいキャラクター**に◎

R86	C70	R19	C86
G72	M71	G3	M91
B75	Y63	B14	Y80
	K24		K73

ブラウン系

◀ RECIPE 4 ミルクココア

肌と同系統ながら高彩度にしたことでブラウンが肌と同化せず、衝突しすぎない程よい距離感をつくりだします。顔の立体感が自然に保たれ、**安心感のある王道的なキャラクター**に最適です。

R212 G178 B163 C21 M34 Y33 K0

R133 G82 B69 C53 M73 Y73 K14

ブラウン系

RECIPE 5 ローストアンバー▶

少し赤みを帯びたブラウンが肌の赤みとなじみ、頬や唇の色とまとまってあたたかみを演出します。**落ち着きや大人っぽさ、神秘性をやわらかく表現**できる配色です。

R196 G155 B161 C28 M45 Y29 K0

R102 G27 B33 C54 M96 Y87 K40

ブラウン系

◀ RECIPE 6 トープヘーゼル

ブラウンにグレーを混ぜた低彩度のベースが主張を抑え、肌本来の色みを邪魔しない配色。瞳が語りすぎないことでキャラクターに**品が生まれ、控えめで知的な印象**に仕上がります。

R191 G175 B168 C30 M32 Y31 K0

R103 G75 B56 C61 M69 Y79 K26

イエロー系

RECIPE 7 ハニーアンバー▶

肌と同系統の黄みを持ちつつ、彩度が高いため肌の色を濁らせず、瞳にやわらかな光を感じさせます。**親しみややさしさが強く引き出され、温度感のある魅力が生まれる配色**です。

R212 G182 B126 C22 M31 Y54 K0

R141 G90 B43 C50 M69 Y95 K12

イエロー系

◀ RECIPE 8 シャンパンゴールド

高明度の黄と白が肌の明るさと調和し、顔全体のトーンを引き上げます。影の色が軽いため**透明感が増し、清楚な明るさを自然に表現**できます。

R236 G226 B182 C11 M11 Y34 K0

R160 G115 B52 C45 M59 Y91 K3

イエロー系

RECIPE 9 サンフレアトパーズ▶

肌より強いオレンジ寄りの金が瞳を主役として際立たせ、**生命力や元気さを強調する配色**です。動きのあるキャラクターに適しており、画面での存在感を高めてくれます。

R225 G159 B95 C15 M46 Y65 K0

R131 G86 B72 C54 M71 Y71 K13

レッド系

◀ RECIPE 10 ローズクォーツ

淡いピンクが肌の赤みに寄り添い、明度の高さと控えめな彩度でキャラクターのかわいらしさを引き出します。**幼さと感情の揺らぎを自然に表現できる、繊細な表情づくり**に適した瞳の色です。

R243 G213 B226 C5 M23 Y4 K0

R169 G111 B151 C42 M65 Y22 K0

レッド系

RECIPE 11 サーモンコーラル▶

青みのないピンクがキュートな配色。肌をくすませず、健康的で明るい赤目をつくります。**活発で前向き、ポジティブなキャラクター**に向いています。

R255 G192 B196 C0 M36 Y15 K0

R189 G71 B64 C32 M85 Y76 K1

レッド系

◀ RECIPE 12 ボルドーベリー

暗めの赤が肌の色とのコントラストを生み、色気や深みを演出します。夜の雰囲気や重い感情表現に向いており、**大人びた魅力を持つキャラクター**を描くのに最適です。

R138 G51 B58 C49 M90 Y76 K17

R59 G5 B27 C68 M100 Y76 K60

ブルー系

RECIPE 13 ダスティアクア▶

青緑に白を混ぜて彩度を落とすことで補色の衝突が軽減され、やさしい異物感としてなじみます。独自性を添えつつ調和する、**おだやかなファンタジー色**としておすすめです。

R206 G223 B224 C23 M8 Y13 K0

R27 G138 B140 C81 M35 Y48 K0

ブルー系

◀ RECIPE 14 スチールブルー

青の冷たさをグレーで和らげ、暖色の肌ともぶつかりにくいバランスのとれた配色です。**理性的で知的な雰囲気で、落ち着いたキャラクター**に適しています。

R193 G204 B217 C29 M17 Y11 K0

R37 G74 B117 C92 M77 Y40 K3

ブルー系

RECIPE 15 ナイトネイビー▶

黒の代わりに使った暗めの青の影が、キャラクターに強い目力を与えます。**重厚感や静けさ、威厳を持たせたいときに効果的**で、存在感のあるキャラクターをつくれます。

R78 G89 B179 C78 M69 Y0 K0

R12 G8 B64 C100 M100 Y64 K37

グリーン系

◀ RECIPE 16 ピスタチオグリーン

明るい黄緑が肌の黄みと自然になじみ、瞳が不自然に浮くことなく若々しさを演出します。**軽さや親近感を出したいキャラクター**に向いています。

R222 G239 B176 C19 M0 Y40 K0

R86 G97 B1 C72 M55 Y100 K18

グリーン系

RECIPE 17 セージオリーブ▶

グレーを混ぜた落ち着いた緑は主張が強すぎず、自然でリアルな印象を与えます。色の主張が控えめなため、**現代的で落ち着いたキャラクター**に合わせやすいニュアンスカラーです。

R196 G210 B182 C29 M12 Y33 K0

R94 G117 B88 C70 M49 Y71 K5

グリーン系

◀ RECIPE 18 エメラルドグロウ

鮮やかな緑が暖色の肌との対比で宝石のように輝き、強いファンタジー性を生み出します。**特別な存在感を持たせたいキャラクター**や主役にも使える配色です。

R148 G255 B191 C42 M0 Y40 K0

R2 G69 B58 C92 M62 Y78 K36

◆瞳の色にNGってあるの?

オレンジベースの肌は、黄から赤までの成分を含む中間的な色味で、配色次第で「バランサー」にも「主役」にもなる柔軟さが魅力。その肌ベースに、高彩度・高明度の純シアンのような水色寄りの原色の瞳にすると、**肌との色相差が極端に広がり**、さらに明度の高さも相まって、瞳だけが画面上で独立した点として浮いてしまい、顔全体のバランスが崩れ、**中間肌ならではの安定感・汎用性といった強みが失われやすくなります**。

R85 G255 B255 C51 M0 Y16 K0

R0 G155 B255 C74 M32 Y0 K0

逆に言えば「目立つ」瞳の色ということでもある。あえて「世界観から浮かせて」特徴的なキャラクターをつくる場合には「高彩度」「高明度」が使えるぞ

色に正解はない!

ここで紹介している瞳の色レシピは、あくまで一例にすぎません。「この肌色にはこの色は使えない」と考えすぎてしまうと、かえって表現の幅を狭めてしまいます。色選びをするときは、「使ってはいけない色」を探すのではなく、「どんな雰囲気を出したいか」という演出の視点で色を決めることが大切です。

たしかに、上にある瞳の配色も、見ようによっては瞳に違和感が出るから、注目ポイントになりそうだよね

その通り。実は色には間違いはない。ただ、他の色との組み合わせによって「受け取る印象が変わる」ことはある。この本で挙げるNG配色は、あくまで肌を基準に「そのまま使うとキャラクターの魅力や印象が伝わりにくくなる」色のことと考えるとよい。理由を理解して使えばNG配色は表現の武器にもなるぞ

2 イエローベースの瞳の配色レシピ

◆イエローベースの肌に似合う瞳の色

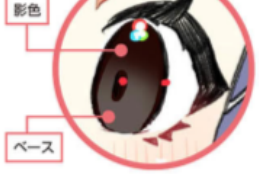
イエローベースの肌に合う瞳の配色を紹介。あたたかみを引き立てるブラウンやアンバー系は、肌の健康的な印象を強めてくれ、キャラクター全体に親しみやすい雰囲気を与えます。

ブラック系

RECIPE 1 アンバーオニキス▶

赤茶を少し含んだ黒がイエローベースの肌に含まれる黄・赤系の影色と調和し、純黒のように瞳だけが冷たく浮いて見える状態を防ぎます。黒の強さを保ちつつも威圧感が出にくく、**落ち着いた存在感と主役らしい雰囲気**をだしやすい配色です。

肌の色は基本のイエローベースである「ハニーミルク」（48ページ）を使用しています



ベース			影色		
R99	C67		R39	C74	
G87	M65		G9	M90	
B83	Y64		B6	Y91	
	K16			K71	

イエローベースの肌の特徴は「やわらかさ」と「明るい」こと。合わせる瞳の色で、どんな印象を与えたいか考えながら色を決めるとよいぞ

◆瞳の色でキャラクターの魅力を引き出そう

瞳は顔の中の面積が小さく、基本的に色選びで大きく破綻することはありません。ただし、キャラクターに与える印象や演出効果は変わります。**イエベ肌の「かわいさ」や「親しみ」を強めたいのか、逆に「知性」「都会感」を加えたいのか**などを考えると、より狙い通りの仕上がりになります。

茶や黄の瞳はなじみがよく、親しみやかわいらしさを補強

肌と類似色の緑の瞳は相性がよく安心感が生まれる
青瞳のアクセント効果（落ち着き・知性）が生まれる

ブラック系

◀ RECIPE 2 スモークブラウンブラック

黒にブラウンを混ぜてコントラストを下げ、やわらかくした色調がイエベ肌になじみ、目元だけ重く見えるのを防ぎます。表情が読みやすく、**日常シーンや明るいキャラクターに適した色**です。

R103	C67	R46	C80
G97	M61	G46	M75
B94	Y60	B46	Y73
	K9		K49

ブラック系

RECIPE 3 ダークハニーインク▶

黄みを帯びた黒が肌の色温度とぴったり合い、瞳が浮かずになじみます。黒目の強さは残しつつやさしい印象も保てるため、**おだやかだけどしっかりした芯のあるキャラクター**に向いています。

R83	C67	R30	C78
G68	M68	G4	M90
B41	Y89	B2	Y90
	K36		K74

ブラウン系

◀ RECIPE 4 キャラメルブラウン

黄寄りのブラウンはイエベ肌と同系統の色ながら、明度差があるため、同化せず顔に自然な立体感をつくれます。安定して使いやすく、失敗しにくい色で、「基準色」として扱いやすく、**王道キャラクターに最適な万能ブラウン**です。

R174 G143 B178 C40 M46 Y77 K0

R90 G43 B9 C58 M83 Y100 K45

ブラウン系

RECIPE 5 ローストチェスナット▶

赤みのあるブラウンが肌の血色と共鳴し、瞳にあたたかさと奥行きを与えます。顔色がよく見えて落ち着いた雰囲気になるため、**成熟した、大人びたキャラクター**に向いています。

R204 G157 B143 C25 M44 Y40 K0

R115 G43 B6 C53 M88 Y100 K33

ブラウン系

◀ RECIPE 6 ゴールデントープ

黄みを含んだトープ（ブラウンとグレーの中間色）のため、イエベ肌でもくすまず、自然にまとまります。彩度を抑えた配色で瞳の主張が控えめになるため、落ち着きや知性を出したいときにぴったりです。

R170 G148 B102 C41 M43 Y64 K0

R76 G67 B63 C72 M70 Y70 K32

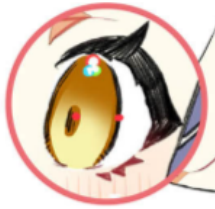
イエロー系

RECIPE 7 メープルアンバー▶

肌の黄みとよく合う琥珀色で、瞳が内側から発光しているように見えます。顔全体の明るさが増し、**元気な印象ややさしさ、親しみやすさ**を表現できる、イエベ肌と特に相性のよい色です。

R248 G242 B171 C7 M4 Y42 K0

R179 G107 B0 C38 M65 Y100 K1



イエロー系

◀ RECIPE 8 バターゴールド

白を含む淡い金色の瞳が肌の黄みを濁らせず、きれいに見せてくれます。ふわっと軽く見える瞳がキャラクターの透明感と清潔感を演出し、**やわらかくやさしい雰囲気**に仕立ててくれます。

R255 G247 B190 C3 M4 Y34 K0

R229 G147 B0 C14 M51 Y96 K0

イエロー系

RECIPE 9 サンセットトパーズ▶

肌より少し強めのオレンジ寄りの色で、自然と瞳に視線が集まります。活発さやエネルギーを視覚的に表現しやすく、**元気なキャラクター**にぴったりの明るい配色です。

R255 G234 B85 C6 M9 Y72 K0

R225 G105 B0 C14 M71 Y100 K0

レッド系

◀ RECIPE 10 ピーチローズ

黄みのあるピンクがイエベ肌と調和し、血色がよく見えます。青みピンクのように浮かず、**やわらかくかわいい印象**をつくれる瞳の色です。

R255 G153 B149 C0 M53 Y32 K0

R181 G0 B53 C36 M100 Y80 K2

レッド系

RECIPE 11 コーラルフレア▶

明るく健康的なオレンジ寄りのピンクが顔をいきいきと見せ、健康的な明るさを強調。**表情が豊かに見え、ポジティブで活発なキャラクター**に合います。

R255 G191 B142 C0 M35 Y44 K0

R174 G28 B92 C41 M99 Y48 K1

レッド系

◀ RECIPE 12 ガーネットレッド

深みのある赤の明度を抑えることで刺激を和らげ、落ち着きとほどよい色気を加えます。イエベ肌でも沈まず、**大人っぽいキャラクターや夜の空気感を出したい場面**にぴったりです。

R245 G85 B80 C2 M80 Y61 K0

R51 G0 B3 C68 M97 Y94 K67

ブルー系

RECIPE 13 ターコイズミスト▶

少し黄を含む青緑のため、純青よりも肌と衝突しにくく、ほどよく爽やかな印象になります。適度な異質さを加えることもできるので、**個性を出したいキャラクター**におすすめの色です。

R169 G234 B238 C37 M0 Y13 K0

R53 G100 B101 C83 M56 Y59 K9

ブルー系

◀ RECIPE 14 ダスティスチールブルー

彩度を抑えた落ち着いた青によって冷たすぎない印象になり、イエベ肌にも自然になじみます。**知的でクールな雰囲気**を出したいときに使いやすい、手軽に使える青としてもおすすめです。

R186 G215 B218 C32 M9 Y16 K0

R71 G100 B103 C78 M58 Y56 K8

ブルー系

RECIPE 15 ディープネイビー▶

黒のかわりに使った暗い青の影が、どっしりした印象を与え、キャラクターを不要に冷たく見せることを防ぎます。**落ち着きや威厳、静かで重みのあるキャラクター**に向いています。

R77 G106 B108 C76 M55 Y55 K5

R1 G25 B28 C95 M81 Y78 K65

グリーン系

◀ RECIPE 16 ライトオリーブ

明るい黄緑が肌の黄色成分と自然につながり、自然体で若々しい雰囲気を与えます。**緑の中でも扱いやすく、色味がありながらもナチュラルで現実的なキャラクター**に使える色です。

R241 G245 B189 C10 M1 Y35 K0

R106 G113 B36 C66 M51 Y100 K9

グリーン系

RECIPE 17 セージモス▶

黄みがかった落ち着いた灰緑が主張しすぎず、自然でナチュラルな雰囲気を演出。**現代的でおだやかなキャラクターに合わせやすい**、控えめで安心感のある色です。

R218 G216 B178 C19 M13 Y35 K0

R97 G103 B68 C68 M55 Y81 K13

グリーン系

◀ RECIPE 18 エメラルドアンバー

暖色方向に調整した鮮やかな緑が、イエベ肌でも浮かず、宝石のような特別感を演出します。**無理なくファンタジー要素を出せる**、存在感の強い瞳の色です。

R225 G245 B163 C19 M0 Y46 K0

R5 G149 B72 C81 M24 Y93 K0

◆瞳の色にNGってあるの？

イエローベースの肌は、血色感や生命感が自然に引き立つあたたかい色調が特徴。**瞳もある程度その温度に寄り添うと、顔全体に調和が生まれます**。しかし、低彩度・高明度で青白いグレーのような寒色寄りの瞳色は、色温度が極端に冷たく、肌の黄みとの相性が乏しいため、目元だけが「白浮き」したように見えます。結果として顔色が悪く見えたり、無機質な印象につながることも。特に日常シーンや親しみやすさを重視したキャラクターでは、避けておくと無難な組み合わせです。

R216 G222 B234 C18 M11 Y5 K0

R120 G163 B227 C57 M31 Y0 K0

配色の違和感はときに魔法の入口。定石を知ることであえてそれをくずして生まれる配色もあるぞ

瞳の影をアレンジして印象を変えてみよう①

瞳を塗るとき、同じ影の色を使っていても、影を入れる量によってキャラクターの印象や目の表情は大きく変わります。

- **影が大きいと、瞳の明るい面積が減る**

・透明感やうるっとしたかわいらしさ
・子どもっぽさや純粋さ
・素直・元気・明るい印象

- **影が小さいと、瞳の明るい面積が増える**

・目がよく光を受けているように見える
・大人っぽさ・落ち着き
・感情が読み取れずミステリアスな印象

絵柄やキャラクター性に合わせて、影の大きさを調整することで、表情がより豊かになるのである

3 ブルーベースの瞳の配色レシピ

◆ブルーベースの肌に映える瞳色

ブルーベースの肌には、透明感を高めるクールトーンの瞳色が相性抜群。肌の白さを際立たせて魅力的に見せる瞳の配色を紹介します。

ブラック系

RECIPE 1 オブシディアンブラック▶

少し青みのある黒がブルベ肌の影色となじみ、瞳が不自然に浮かなくなります。黒の印象は残しつつ、肌の透明感が引き立つため、**冷静さや落ち着いた雰囲気、知的な印象**を出したいときに向いています。

肌の色は基本のブルーベースである「ポーセリンローズ」（52ページ）を使用しています

ベース
R65 G73 B113
C84 M78 Y41 K4

影色
R21 G8 B85
C99 M100 Y60 K20

ブルーベースの肌の特徴は「透明感」「クール」「都会的」。合わせる瞳の色で、どんな印象を与えたいか考えながら色を決めるとよいぞ

◆瞳の色でキャラクターの魅力を引き出そう

瞳は顔の中の面積が小さく、基本的に色選びで大きく破綻することはありません。ただし、キャラクターに与える印象や演出効果は変わります。**ブルベ肌の「透明感」「クールさ」を引き立てたいのか、逆に「やわらかさ」「親しみ」を加えたいのか**などを考えると、より狙い通りの仕上がりになります。

寒色（青、緑）の瞳で透明感の相乗効果

茶や黄の瞳で青みを中和して親しみや落ち着きを出す

ブラック系

◀ RECIPE 2 クールスモーク

黒にグレーを混ぜた低コントラストの色は、肌との明度差が気にならず、ブルベ肌で起こりやすい「瞳が点のように小さく見える」現象を防ぎます。明るいベースに視線が自然に誘導され、**肌の白さを際立たせる安定した配色**です。

R138 G143 B165
C53 M42 Y27 K0

R36 G41 B60
C89 M85 Y62 K42

ブラック系

RECIPE 3 インディゴインク▶

黒に濃紺を混ぜて黄みを排除し、ブルベ肌の青っぽい影と調和する青の印象が強い配色。普通の黒より奥行きが生まれ、**落ち着いた雰囲気の中に冷静さやキャラクター性がにじむ**配色です。

R40 G46 B138
C97 M94 Y14 K0

R11 G2 B60
C100 M100 Y64 K43

ブラウン系

◀ RECIPE 4 アッシュブラウン

黄みを抑えたグレーっぽいブラウンがブルベ肌の透明感を邪魔しません。瞳が自然になじみ、**上品で落ち着いた印象になるため、日常的なキャラクター**に使いやすい色です。

R177	C36	R99	C68
G160	M38	G86	M67
B166	Y28	B91	Y58
	K0		K12

ブラウン系

RECIPE 5 ローズブラウン ▶

赤に紫を混ぜたブラウンが肌の色とよく合い、血色補正としても機能します。肌がくすまず、やさしい温度感を与えられるため、**冷たさを和らげたやわらかい表情を見せたいとき**に向いています。

R154	C48	R87	C76
G112	M62	G31	M100
B142	Y30	B82	Y50
	K0		K18

ブラウン系

◀ RECIPE 6 クールトープ

低彩度の落ち着いた灰茶で、瞳が強く主張しすぎず肌をきれいに見せます。視線が強く集中しないため、**控えめで知的な印象**がつくりやすく、キャラクターの表情や構図を主役にしたいイラストにも有効です。

R163	C42	R76	C74
G153	M40	G59	M79
B159	Y31	B74	Y60
	K0		K27

イエロー系

RECIPE 7 シルバーアンバー ▶

琥珀色にグレーを加えて黄みの強さを抑えることで、ブルベ肌でも黄色の瞳が自然に合います。金系の華やかさを自然に演出しつつ、あたたかさと透明感の両方を出せるため、**落ち着いた華やかさ**をつくりたいときにぴったりです。

R206	C23	R117	C56
G203	M19	G77	M70
B193	Y24	B17	Y100
	K0		K24

イエロー系

◀ RECIPE 8 プラチナシャンパン

白金寄りの淡い金は、色相よりも明度で存在感を示すため肌の白さをより引き立てます。瞳が明るく、軽く見え、**清楚・繊細・上品**といった印象をつくりだすのが得意な配色です。

R255	C1	R149	C49
G247	M5	G129	M51
B229	Y13	B106	Y59
	K0		K1

イエロー系

RECIPE 9 フロストトパーズ ▶

淡い金に白と青を含ませた中間色。ベースに対する補色の影色が、**ファンタジー感を自然に演出**します。瞳を宝石のような装飾的要素として扱いたいときにも◎

R232	C13	R82	C79
G215	M17	G79	M76
B164	Y41	B140	Y24
	K0		K0

レッド系

◀ RECIPE 10 ローズペタル

青みを含む淡いピンクがブルベ肌の血色をきれいに見せ、可憐さや感情の機微を表現します。やさしい表情をつくりやすく、**かわいらしさや繊細さを出したい**ときにぴったりです。

R226 G200 B227 C14 M26 Y0 K0

R137 G48 B158 C60 M89 Y0 K0

レッド系

RECIPE 11 ベリールビー▶

紫みの強い赤紫が肌によくなじみ、華のある雰囲気と品位を同時に保ちます。存在感がある色味で**上品な華やかさ**を出せるのに浮きにくい、主役にも使いやすい赤色です。

R234 G139 B216 C18 M55 Y0 K0

R131 G0 B70 C55 M100 Y59 K16

レッド系

◀ RECIPE 12 ボルドーワイン

深い赤紫の明度を下げることで刺激を抑え、**落ち着いた色気と大人っぽい雰囲気**をつくりだします。内面性のあるキャラクターを表現したいときに向いている重めの色です。

R136 G78 B110 C57 M79 Y44 K1

R51 G1 B35 C76 M100 Y68 K58

ブルー系

RECIPE 13 グレイシャーブルー▶

白を多く含む淡青が肌の影色と一致し、透明感をさらに強めます。瞳に冷たさと距離を感じるため、**感情を抑えたキャラクターや含みのあるキャラクター**にも適しています。

R181 G211 B243 C33 M12 Y0 K0

R0 G20 B126 C100 M99 Y48 K1

ブルー系

◀ RECIPE 14 スチールサファイア

青にグレーを加えることで彩度を抑え、刺激を弱めて知的で冷静な印象をつくりだします。強すぎない落ち着いた青のため、**冷静で判断力のあるキャラクターやクールな性格**を表すのにも適した配色です。

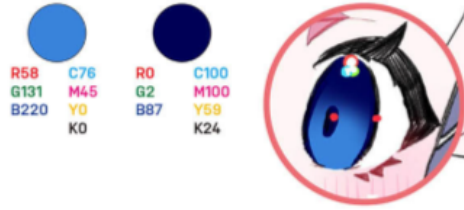
R151 G167 B213 C47 M32 Y4 K0

R11 G22 B124 C100 M99 Y48 K0

ブルー系

RECIPE 15 ミッドナイトネイビー▶

黒に近い深い青で、瞳の色が沈みません。冷たくなりすぎない明るいベース色とそれを抑える黒の影色が落ち着きと強さを演出。**強いキャラクター性や威厳を出したいキャラクター**にも使える瞳の色です。



R58 G131 B220 C76 M45 Y0 K0

R0 G2 B87 C100 M100 Y59 K24

グリーン系

◀ RECIPE 16 ミントグレーズ

少し青みのある黄緑が、緑が持つ生命感を程よく抑えて、ブルベ肌でも違和感なくなじみます。透明感と軽さがあるため、**爽やかなアクセントが必要なとき**に適した色です。

R162 G222 B196 C42 M0 Y32 K0

R4 G106 B96 C88 M51 Y66 K8

グリーン系

RECIPE 17 ヴィリジアンアッシュ▶

青緑に灰を混ぜて彩度を抑えたベースが、主張しすぎず落ち着いた雰囲気を演出。**知的でクールなキャラクター**にぴったりの、扱いやすい緑色です。

R182 G194 B195 C34 M20 Y22 K0

R0 G80 B85 C93 M63 Y63 K21

グリーン系

◀ RECIPE 18 スペクトラルエメラルド

青寄りに調整された宝石っぽさのある高彩度グリーンが、ブルベ肌と共鳴し、目を引きます。**主役性を高めたい場面や、特別感を出したいとき**に使える、主役向きの華やかな配色です。

R170 G245 B229 C36 M0 Y21 K0

R22 G141 B141 C81 M33 Y48 K0

R3 G48 B87 C100 M91 Y51 K19

◆瞳の色にNGってあるの？

ブルーベースの肌は、影に青や紫の要素を含むことが多いため、**瞳も同じく「冷たさ」や「澄んだ印象」を持つ色を使うと透明感が引き立ちます**。しかし、高明度・高彩度で蛍光寄りの黄緑は、黄みが強く明度も極端に高いため、肌が持つ静けさや清らかさと方向性が大きく異なります。その結果、瞳だけが人工的で浮いたように見え、目元がチープに映ってしまうことも。知的な印象や静けさを出したいときには避けるのが無難。

R206 G255 B35 C29 M0 Y85 K0

R78 G179 B0 C69 M7 Y100 K0

逆にこの肌とのアンバランスさが「かわいさ」「魅力」につながることもある。瞳に力を持たせたい場合はあえて、このパターンを利用するのもひとつの手である

影色を変えて生まれるキャラの魅力

本書では基本的にまとまりを重視し、瞳の影色はベースから色相を大きく外さずに選んで提案していますが、慣れてきたら、あえてベースカラーと異なる色相で影を入れて、遊び心のある配色を試してみましょう。色の組み合わせに意外性が生まれ、独特の魅力が加わります。

- **ピンクの瞳にグリーンの影**

補色に近い組み合わせで、軽やかでガーリーなキャッチーさを追加

- **ブルーの瞳にオレンジの影**

青の透明感に対してアクセントが生まれ、鮮やかでアート寄りの印象

ベースと影で自然にまとめるだけでなく、アクセントとして魅せるための影を入れると、キャラクターの個性づけにもつながるぞ

グリーン系

◀ RECIPE 16 ミントグレーズ

少し青みのある黄緑が、緑が持つ生命感を程よく抑えて、ブルベ肌でも違和感なくなじみます。透明感と軽さがあるため、**爽やかなアクセントが必要なとき**に適した色です。

R162 G222 B196 C42 M0 Y32 K0

R4 G106 B96 C88 M51 Y66 K8

グリーン系

RECIPE 17 ヴィリジアンアッシュ▶

青緑に灰を混ぜて彩度を抑えたベースが、主張しすぎず落ち着いた雰囲気を演出。**知的でクールなキャラクター**にぴったりの、扱いやすい緑色です。

R182 G194 B195 C34 M20 Y22 K0

R0 G80 B85 C93 M63 Y63 K21

グリーン系

◀ RECIPE 18 スペクトラルエメラルド

青寄りに調整された宝石っぽさのある高彩度グリーンが、ブルベ肌と共鳴し、目を引きます。**主役性を高めたい場面や、特別感を出したいとき**に使える、主役向きの華やかな配色です。

R170 G245 B229 C36 M0 Y21 K0

R22 G141 B141 C81 M33 Y48 K0

R3 G48 B87 C100 M91 Y51 K19

◆瞳の色にNGってあるの？

ブルーベースの肌は、影に青や紫の要素を含むことが多いため、**瞳も同じく「冷たさ」や「澄んだ印象」を持つ色を使うと透明感が引き立ちます**。しかし、高明度・高彩度で蛍光寄りの黄緑は、黄みが強く明度も極端に高いため、肌が持つ静けさや清らかさと方向性が大きく異なります。その結果、瞳だけが人工的で浮いたように見え、目元がチープに映ってしまうことも。知的な印象や静けさを出したいときには避けるのが無難。

R206 G255 B35 C29 M0 Y85 K0

R78 G179 B0 C69 M7 Y100 K0

逆にこの肌とのアンバランスさが「かわいさ」「魅力」につながることもある。瞳に力を持たせたい場合はあえて、このパターンを利用するのもひとつの手である

影色を変えて生まれるキャラの魅力

本書では基本的にまとまりを重視し、瞳の影色はベースから色相を大きく外さずに選んで提案していますが、慣れてきたら、あえてベースカラーと異なる色相で影を入れて、遊び心のある配色を試してみましょう。色の組み合わせに意外性が生まれ、独特の魅力が加わります。

- **ピンクの瞳にグリーンの影**

補色に近い組み合わせで、軽やかでガーリーなキャッチーさを追加

- **ブルーの瞳にオレンジの影**

青の透明感に対してアクセントが生まれ、鮮やかでアート寄りの印象

ベースと影で自然にまとめるだけでなく、アクセントとして魅せるための影を入れると、キャラクターの個性づけにもつながるぞ

4 明るい褐色ベースの瞳の配色レシピ

◆明るい褐色ベースの肌を引き立てる瞳色

明るい褐色の肌には、リッチな色合いのヘーゼルやオリーブ系の瞳色がよくなじみます。軽やかな日差しのような印象を持つ肌をより魅力的に見せる配色パターンを紹介します。

ブラック系

RECIPE 1 ラッカーオニキス▶

光沢のある黒が褐色の肌に立体感を生み、純黒で起こりやすい「瞳が穴のように沈む」印象を防ぎます。黒の持つ強さを残しつつ動きが出るため、目元が自然に引き締まりつつ、**生き生きした存在感**を保てます。扱いやすい基準の黒です。

肌の色は基本の明るい褐色ベースである「サンライトタン」（56ページ）を使用しています

ベース
R74 G50 B57 C71 M80 Y67 K39

影色
R0 G0 B0 C93 M88 Y89 K80

明るい褐色肌の特徴は「健康的」「やわらかい日差しが似合う」こと。合わせる瞳の色で、どんな印象を与えたいか考えながら色を決めるとよいぞ

◆瞳の色でキャラクターの魅力を引き出そう

瞳は顔の中の面積が小さく、基本的に色選びで大きく破綻することはありません。ただし、キャラクターに与える印象や演出効果は変わります。**明るい褐色肌の「ヘルシーさ」「活発さ」を強めたいのか、逆に「知性」「落ち着き」を加えたいのか**などを考えると、より狙い通りの仕上がりになります。

琥珀・金・黄系の瞳でヘルシーさアップ

寒色（青や緑）と肌の対比が美しく爽やかさ・クールさが加わる

ブラック系

◀ RECIPE 2 バーニッシュドブラック

赤茶を含む黒が褐色肌の持つあたたかさに自然になじみます。純黒よりやわらかい印象になるため、目元がやさしく見え、親しみやすい雰囲気を強めてくれるので、**人懐っこさや人間味のあるキャラクター**にぴったりの配色です。

R140 G68 B84 C52 M83 Y59 K9

R49 G0 B10 C70 M97 Y87 K68

ブラック系

RECIPE 3 ダークココアインク▶

黒に近い濃い茶色が強さをやわらげ、褐色肌の上でも重たすぎず自然に見えます。コントラストがなだらかになるため、表情を読み取りやすく、**おだやかで落ち着いたキャラクター**に適しています。

R119 G80 B76 C58 M72 Y66 K16

R53 G0 B8 C68 M98 Y90 K66

ブラウン系

◀ RECIPE 4 ココナッツブラウン

黄みを含んだブラウンが褐色肌と自然になじみ、瞳が浮きません。主張が強くないため、表情やしぐさを引き立てやすく、**日常的で現実感のある人物**にも使いやすい安定した配色です。

R156 G106 B30 C46 M63 Y100 K5

R87 G28 B9 C57 M91 Y100 K49

ブラウン系

RECIPE 5 スパイスチェスナット▶

赤みのあるブラウンが肌の血色と響き合い、瞳に健康的な立体感を与えます。活力ある印象が出るため、**活動的で元気なキャラクター**を表現したいときに向いています。

R200 G140 B142 C27 M53 Y36 K0

R76 G28 B37 C63 M91 Y76 K50

ブラウン系

◀ RECIPE 6 ゴールデントープ

黄みを帯びた落ち着いた茶色が、瞳を過度に目立たせず、キャラクター全体のバランスを整えます。派手さを抑えたい場面や、**大人っぽさや知的さを表現したいキャラクター**にぴったりの瞳の色です。

R184 G154 B114 C35 M42 Y57 K0

R48 G47 B53 C81 M77 Y68 K45

イエロー系

RECIPE 7 ディープキャラメルアンバー▶

明るくて濃い琥珀色が褐色肌とよく合い、瞳が発光して見えます。派手すぎない、存在感ある瞳で視線を集められるため、**主役性の高いキャラクター**にぴったりです。

R255 G213 B39 C5 M20 Y84 K0

R133 G49 B5 C49 M88 Y100 K23

イエロー系

◀ RECIPE 8 トロピカルゴールド

鮮やかなオレンジと褐色肌とのコントラストがエネルギッシュな印象を与えます。**情熱的で活発なキャラクターにぴったり**の華やかな暖色。ベースの明度が明るすぎないため、使いやすいのも◎

R255 G185 B53 C2 M36 Y81 K0

R119 G66 B0 C54 M76 Y100 K27

イエロー系

RECIPE 9 サンバーントトパーズ▶

落ち着いた金色が褐色肌と自然になじみ、金本来の華やかさを残しつつも、派手すぎない上品な印象に仕上がります。**大人っぽさや安定感のあるキャラクター**にぴったり。

R255 G169 B67 C0 M45 Y76 K0

R97 G20 B0 C55 M96 Y100 K45

レッド系

◀ RECIPE 10 パパイヤローズ

黄みのあるピンクが褐色肌の血色を自然に補い、ふんわりとした親しみやすい雰囲気をつくります。瞳の印象がやわらかく、**やさしさやおだやかさを表現したいとき**にも向いています。

R236	C9	R177	C39
G178	M39	G52	M92
B183	Y20	B82	Y59
	K0		K1

レッド系

RECIPE 11 チリコーラル▶

明るい赤系のオレンジが褐色肌に活力を与え、表情を鮮やかに元気に見せます。**活発でエネルギッシュなキャラクターや、勢いのある印象**をつくりやすい配色です。

R254	C1	R145	C46
G176	M41	G10	M100
B101	Y62	B24	Y100
	K0		K18

レッド系

◀ RECIPE 12 マルーンワイン

深い赤が落ち着きと色気を生み、大人っぽく静かな雰囲気をまとわせます。**ミステリアスな空気感や内面性を表現したいキャラクター**に適した重厚な暖色です。

R234	C10	R60	C65
G111	M70	G0	M100
B124	Y38	B11	Y91
	K0		K63

ブルー系

RECIPE 13 ラグーンターコイズ▶

青に緑を混ぜたような明るいベース色が褐色肌との温度差を和らげ、冷色でも自然になじみます。瞳の印象が強く、**キャラクターにほんの少し異質さを持たせたいとき**にぴったりの配色です。

R247	C7	R0	C93
G255	M0	G78	M66
B206	Y27	B90	Y59
	K0		K19

ブルー系

◀ RECIPE 14 ディープオーシャンブルー

ベースの明るい青と影の濃い青のコントラストで瞳に印象的な深みが生まれます。落ち着きや強さが自然に伝わる配色で、**静かで芯のあるキャラクター**によく合います。

R50	C70	R8	C100
G180	M13	G0	M100
B220	Y13	B74	Y61
	K0		K33

ブルー系

RECIPE 15 ストームネイビー▶

ベースの明るさを彩度を抑えた暗めの青で引き締めた瞳の色。冷たさを出さず、**落ち着いた印象**を与えます。

R58	C76	R0	C100
G131	M45	G2	M100
B220	Y0	B87	Y59
	K0		K24

グリーン系

◀ RECIPE 16 バームグリーン

黄緑が褐色肌の黄みと自然につながり、やわらかくなじみます。肌とのコントラストが弱めな分、瞳が主張しすぎず、**若々しさ、親しみやすさなど日常感を出したいキャラクター**に。

R234 G255 B177 C15 M0 Y40 K0

R58 G138 B0 C78 M34 Y100 K0

グリーン系

RECIPE 17 ジャングルモス▶

明度を下げた深い緑によって、褐色肌との間にしっかり明暗差を生み、瞳の存在感を高めます。緑の生命感に重みを加えたことで、**野性味や静かな強さ**が視覚的に伝わります。

R132 G202 B163 C53 M3 Y46 K0

R29 G65 B40 C87 M62 Y93 K42

グリーン系

◀ RECIPE 18 エメラルドフレア

高彩度の鮮やかな緑が褐色肌の落ち着いた明度と強いコントラストを生み、視線を瞳に誘導。現実的な褐色肌をベースに、瞳の色だけで非日常的な雰囲気をまとわせられるため、**特別な力を持つキャラクター**にぴったりです。

R122 G252 B123 C49 M0 Y67 K0

R0 G94 B23 C89 M52 Y100 K20

◆瞳の色にNGってあるの?

明るい褐色の肌は、中明度とやわらかなあたたかさ、そして自然なツヤ感が魅力。**低明度・低彩度のくすんだ青紫の瞳の色は、肌との温度差が大きく、色が暗く沈む**ため相性があまりよくありません。肌が持つ生き生きとした質感を弱め、瞳が影に沈んだように見えてしまうことで、表情が読み取りにくくなり、全体がやや「くすんだ印象」になってしまいます。

R178 G177 B200 C36 M30 Y13 K0

R92 G87 B103 C72 M68 Y51 K8

ここでの「NG」はあくまで知っておくと便利な指標である。気に入った色なら、遠慮なく使うのがよいぞ!

オッドアイにするときのポイントは?

オッドアイ（左右で異なる瞳色）は、キャラクターの個性を際立たせる効果的な演出ですが、色の組み合わせによって意図しない違和感を生んでしまうことも。注意したいのが「濃い瞳×薄い瞳」という明度差の大きい組み合わせ。左右の目の明るさが極端に異なることで、視線が一方に偏ってしまいます。

- **明度差が大きいオッドアイ**

- **明度差を合わせたオッドアイ**

色相や彩度で差をつけたり、共通のハイライトを入れて統一感を出すとまとまりが出るのである

5 濃い褐色ベースの瞳の配色レシピ

◆濃い褐色ベースの肌に合う瞳色

濃い褐色肌には、強い存在感を放つダークブラウンやディープアンバーが映えます。重厚な色合いが肌との美しいコントラストを生み、力強さや神秘性を高めてくれます。

ブラック系

RECIPE 1 エボニーアイ▶

純黒は褐色肌との間に最大の明度差を生み、瞳の形を強く目立たせます。存在感が出るので、強い意志や芯のある人物を表現しやすい瞳の色です。強すぎて少し怖く見えるときは、**ハイライトを増やすと生命感とやわらかさが生まれます**。

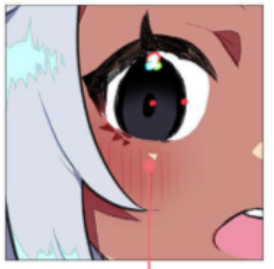
肌の色は基本の濃い褐色ベースである「チョコレートディープ」(60ページ) を使用しています

ベース	影色
R49 C83 M80 Y64 K41	R0 C93 M88 Y89 K80

濃い褐色肌の特徴は「強さ」と「存在感」。合わせる瞳の色で、どんな印象を与えたいか考えながら色を決めるとよいぞ

◆瞳の色でキャラクターの魅力を引き出そう

瞳は顔の中の面積が小さく、基本的に色選びで大きく破綻することはありません。ただし、キャラクターに与える印象や演出効果は変わります。濃い褐色肌の**「力強さ」「存在感」を強めたいのか、逆に「神秘性」「やわらかさ」を加えたいのか**などを考えると、より狙い通りの仕上がりになります。



黒・深茶の瞳で存在感とリアリティを強調

赤瞳で神秘性・強さを演出

ブラック系

◀ RECIPE 2 スターリットブラック

青を含む黒は、純黒のように瞳が真っ黒に沈むのを防ぎ、立体的に見せてくれます。黒の力強さを残しながら、冷たい印象を和らげられるため、無機的にならず**落ち着いた存在感を持つキャラクター**にちょうどよい色味です。

R11 C100 M93 Y48 K12	R1 C96 M92 Y78 K71

ブラック系

RECIPE 3 オニキスブラウンブラック▶

黒に茶を混ぜたことで褐色肌の温度に寄り添い、無彩色の黒の冷たさを抑えます。印象を引き締めつつ、目元がやさしく見えるため、**感情が豊かなキャラクターや親しみやすい性格**に適した色です。

R58 C67 M94 Y82 K62	R23 C84 M92 Y80 K73

ブラウン系

◀ RECIPE 4 ダークシアブラウン

濃いめのブラウンは黒よりやわらかく、自然な重みと深さが出ます。褐色肌の影ともよくなじみ、**落ち着きや信頼感のあるキャラクター**にも向いている瞳色です。黒ほど強く見せたくないときにも◎

R97 G74 B72 C65 M71 Y66 K23

R27 G30 B39 C87 M84 Y71 K58

ブラウン系

RECIPE 5 コッパーアンバー▶

銅のような赤みの金色が褐色肌とよく合い、瞳に落ち着いた輝きを与えます。立体感や華やかさ、肌の美しさを同時に引き上げ、**派手さではなく上品な深みを表現したいとき**にぴったりです。

R184 G81 B86 C35 M80 Y61 K1

R55 G0 B11 C67 M99 Y88 K65

ブラウン系

◀ RECIPE 6 スモークマホガニー

赤みのある暗い茶色は肌の温度となじみ、瞳を沈ませずに芯をつくれます。黒よりやわらかく、茶より重厚で、**大人っぽい落ち着きや威厳を表現**しやすい色です。強さよりも品のある重みを出したいときに適しています。

R174 G119 B123 C39 M60 Y44 K0

R90 G20 B41 C59 M98 Y74 K44

イエロー系

RECIPE 7 サンコアアンバー▶

深い琥珀色が程よい彩度と明度で肌の上で存在感を高めて瞳に視線を集めます。金ほど派手にならず、**生命力や存在感をバランスよく出せる**使いやすい配色です。

R236 G149 B26 C10 M51 Y91 K0

R124 G11 B13 C50 M100 Y100 K29

イエロー系

◀ RECIPE 8 ロイヤルゴールド

鮮やかな金が褐色肌の上で強く光り、自然に視線を引きつけます。色相差より「彩度と明度」で視線を奪うため、**主役やカリスマ性を持つ人物**にぴったり。暗い場面でも瞳だけで存在感を示せる、力のある配色です。

R238 G213 B92 C13 M18 Y71 K0

R122 G66 B0 C53 M77 Y100 K26

イエロー系

RECIPE 9 ホワイトサンアイ▶

白に近い淡い色は肌との明度差が最大級に強く、強烈に目立ちます。色よりも光のような印象をつくれるため、「特別感」や「格の高さ」を演出。**神秘的な雰囲気を表現**するのに適しています。

R241 G235 B192 C9 M7 Y31 K0

R154 G104 B13 C47 M63 Y100 K6

レッド系

◀ RECIPE 10 スカーレットフレイム

純度の高い赤は褐色肌の上で特に強く目を引き、力強い印象をつくります。鮮やかな赤は感情が伝わりやすいため、表情が乏しくても「激しさ」「衝動性」「攻撃性」といった強さを表現しやすく、**行動力あるキャラクター**にも向いています。

R222 G86 B88 C15 M79 Y57 K0

R83 G6 B17 C58 M100 Y95 K52

レッド系

RECIPE 11 ロイヤルクレムゾン▶

暗い赤が落ち着いた強さと色気を出し、褐色肌にも沈まずになじみ、威厳や色気を演出できます。**内面に強さを抱えたキャラクター**に適し、主役級の強者感を演出しやすい色です。

R126 G8 B22 C49 M100 Y100 K28

R37 G1 B13 C76 M94 Y81 K71

レッド系

◀ RECIPE 12 ブラッドガーネット

赤に紫を混ぜた深い色が落ち着きと神秘性を強め、褐色肌の上で宝石のように映ります。**静かな強さや知的な雰囲気を出したいキャラクター**にぴったりの色です。

R211 G34 B115 C22 M94 Y29 K0

R76 G0 B19 C60 M100 Y89 K55

ブルー系

RECIPE 13 ウルトラマリンナイト▶

非常に鮮やかで濃い青が深い落ち着きをつくります。褐色肌とは温度差があるものの、冷たすぎず「静的な強さ」や「静けさ」を演出するのに有効。**理性を感じさせたいキャラクター**に◎

R61 G98 B250 C81 M62 Y0 K0

R19 G0 B94 C99 M100 Y58 K17

ブルー系

◀ RECIPE 14 セレスティアルコバルト

原色に近い青は、褐色肌と大きい色相差を生み、瞳を記号的に強く印象付けます。青が「異質な光」として機能するため、**非日常的で特別なキャラクター**を表したいときに合います。

R62 G177 B255 C66 M20 Y0 K0

R0 G62 B138 C100 M85 Y22 K0

ブルー系

RECIPE 15 ディープミッドナイト▶

暗めの青を黒のように使って、落ち着いた印象に。黒ほど硬くならず、キャラクターに**おだやかな威厳や知性、静けさを足したいとき**に使うのがおすすめ。

R49 G77 B165 C88 M75 Y4 K0

R0 G7 B51 C100 M100 Y65 K50

グリーン系

◀ RECIPE 16 エデングリーン

鮮やかな緑は褐色肌の深いベースに対して生き生きと映え、ポジティブな力強さを表現。生命感を演出する緑によって、赤や金ほど攻撃的にならず**「成長」「希望」の象徴のような、親しみやすいキャラクター**に最適です。

R108 G211 B99 C58 M0 Y76 K0

R2 G71 B22 C91 M58 Y100 K38

グリーン系

RECIPE 17 インペリアルエメラルド▶

暗く深いエメラルドが褐色肌となじみ、高級感を演出。瞳が宝石のように目立つので、**品のある強さを出したいキャラクター**に向いています。派手すぎず存在感を高められる色です。

R81 G255 B201 C53 M0 Y39 K0

R0 G117 B63 C87 M44 Y96 K0

グリーン系

◀ RECIPE 18 ナイトヴァーダント

暗い緑が深い重みをつくり、静かな威圧感や不穏な印象を与えます。黒ほど無機質にならず、緑の気配を残すため、**謎めいた人物や圧のある存在感**を表すのにも適した色です。

R16 G156 B82 C80 M19 Y86 K0

R0 G26 B21 C94 M77 Y85 K68

◆瞳の色にNGってあるの？

濃い褐色の肌は、深い明度と陰影によって生まれる強い存在感が魅力的ですが、中明度・中彩度で黄みの強いベージュの瞳の色はあまり相性がよくありません。肌と明度・色相が近いため、コントラストが出にくく、瞳のりんかくがぼやけて視線の誘導が失われてしまうためです。その結果、キャラクター全体の印象が弱まり、記憶に残りにくくなってしまうことも。**濃い褐色の肌には、はっきりした対比や深みを持つ色を選ぶのがおすすめ**です。

R229 G193 B89 C16 M27 Y71 K0

R119 G87 B18 C57 M65 Y100 K20

ここで「避けたほうがいい」としている色味も、明度や彩度を調整することで映える配色になることも！　まずはいろいろ試してみるのが大事であるぞ

瞳の影をアレンジして印象を変えてみよう②

瞳の影の形そのものをアレンジすることで、キャラクターの個性を大きく変えられます。いつもの影の塗りかたにとらわれず、装飾のように使ってみると、キャラクターの表情づくりが一段と楽しくなります。

- 瞳をぐるっと囲む影

- 瞳の周囲に入れるギザギザした影

色と同じくらい、影のデザインも自由にアレンジして「かわいらしさ」や「コミカルさ」を追求してみようである

6 ファンタジーベースの瞳の配色レシピ

◆異世界感をまとう大胆な個性派カラーベース

青・赤・緑などのファンタジーベースの肌色には、同じくファンタジー性を持つ鮮やかな瞳色が効果的。補色や類似色を活かして独特の世界観を演出しましょう。物語性を考えながら色を選ぶのもおすすめ。

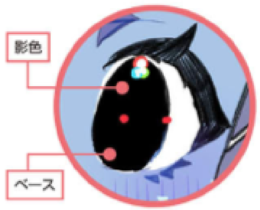
ブラック系

RECIPE 1 ヴォイドアイ▶

無彩色に近い黒。彩度の高いファンタジー肌で起こりやすい**「視覚情報の渋滞」を抑えて、瞳に視線が集まります**。肌の色が鮮やかであるほど効果が強まります。

肌の色は基本のファンタジーベースである「アイスブルーム」(64ページ) を使用しています

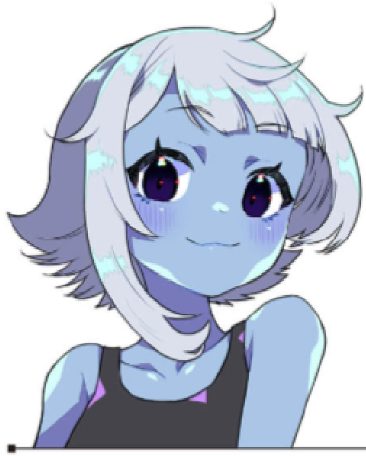
ベース		影色	
R0	C93	R0	C93
G0	M88	G0	M88
B0	Y89	B0	Y89
	K80		K80



ファンタジー肌の特徴は、キャラ設計が自由で肌の色によって世界観を出せること。合わせる瞳の色で、さらにどんな印象を与えたいか考えながら色を決めるとよいぞ

◆瞳の色でキャラクターの魅力を引き出そう

ファンタジー肌における瞳の色はどのような属性や世界観を持たせたいのかが重要となります。**「神秘性」「魔力の強さ」を強調したいのか、「親しみ」を添えたいのか**を考えながら、狙い通りの仕上がりにしましょう。



ブラック系

◀ RECIPE 2 ナイトシード

青を含んだ黒は、真っ黒すぎる不気味さを抑え、瞳を自然な立体に見せてくれます。黒の強さは残しつつ、冷たすぎる印象を避けられるため、**無表情に見せたくないキャラクターに適した配色**です。

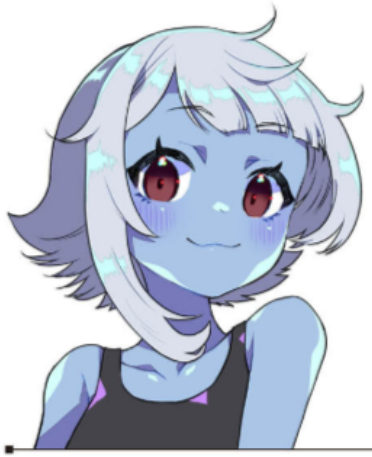
R38	C96	R1	C96
G13	M100	G5	M92
B83	Y60	B19	Y78
	K19		K71

ブラック系

RECIPE 3 スターブラック▶

ベースの明るさを黒の影で引き締めた配色により、瞳が暗闇に沈まず、自然に視線が集まります。肌の色が特徴的であっても、**見るべき場所（瞳）がはっきりするため、キャラクターを認識しやすく**してくれます。

R19	C96	R0	C93
G68	M81	G0	M88
B149	Y14	B0	Y89
	K0		K80



ブラウン系

◀ RECIPE 4 アースコア

落ち着いた赤茶を瞳に入れることで、ファンタジー感のある肌の強さがやわらぎ、安心して見られる印象になります。**自然な色なので、キャラクターの異質さをほどよく中和して、受け入れやすい存在に**してくれます。

R147 G77 B88 C50 M79 Y58 K6

R67 G8 B30 C62 M96 Y100 K60

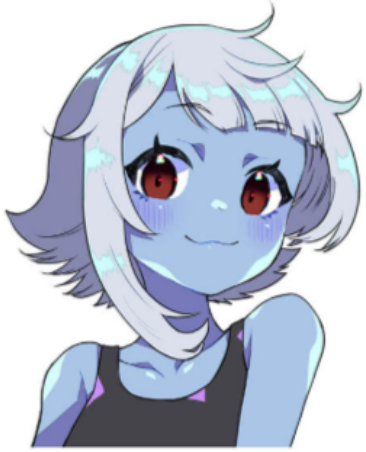
ブラウン系

RECIPE 5 ボーンアンバー▶

彩度の低い茶色が肌の色の主張を邪魔せず、瞳を目立ちすぎないよう整えてくれます。瞳の色より、**表情でキャラクターを表現したいときに**適した控えめで扱いやすい瞳色です。

R213 G190 B186 C20 M28 Y23 K0

R85 G72 B73 C70 M71 Y64 K25



ブラウン系

◀ RECIPE 6 ラスティブラウン

暗い赤茶は黒よりやわらかく、しっかりと重さも出せる色。特徴的な肌でも瞳が沈まず、顔の中にどっしりした落ち着きをつくれます。**安定感のあるキャラクター**に向いています。

R145 G53 B49 C47 M90 Y85 K15

R39 G0 B11 C75 M94 Y82 K70

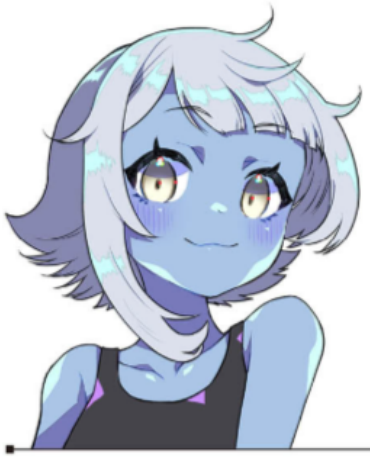
イエロー系

RECIPE 7 ソーラーカーネル▶

明るい黄色が瞳を強調し、明度設計が難しく暗くなりがちなファンタジー肌でもしっかり視線を集めることができます。**色相より明るさで目を引く**ため、どんな肌色でも使いやすく、キャラクターを見やすくしてくれます。

R255 G251 B145 C6 M0 Y52 K0

R234 G125 B1 C10 M63 Y96 K0



イエロー系

◀ RECIPE 8 アウレオラ

白に近い淡い金色で、瞳が光って見えるため、肌の色に邪魔されず顔全体が見やすくなります。派手さではなく**上品さやわかりやすさ、格の高さ**を演出したいときにぴったりの色です。

R255 G255 B236 C2 M0 Y11 K0

R168 G153 B125 C41 M40 Y52 K0

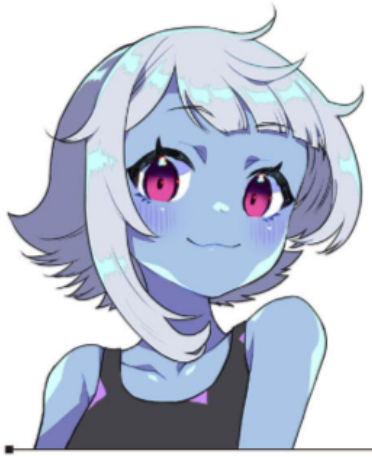
イエロー系

RECIPE 9 インフェルノゴールド▶

彩度と明度が高いオレンジがかった強い金色が瞳に熱量を生みます。ファンタジー感のある肌とのコントラストが強く、**キャラクターの感情や行動力が視覚的に伝わりやすく**なります。

R255 G193 B23 C3 M31 Y87 K0

R209 G62 B19 C23 M88 Y100 K0



レッド系

◀ RECIPE 10 ブラッドルーン

明度を下げたことで赤の刺激を抑えて、画面を引き締めてくれます。深めの赤のため、ファンタジー肌の上でも浮きません。**かわいらしさや静かな緊張感、ミステリアスな雰囲気**を出したいときにぴったりの色です。

R227 G80 B162 C14 M80 Y0 K0

R60 G0 B51 C79 M100 Y62 K46

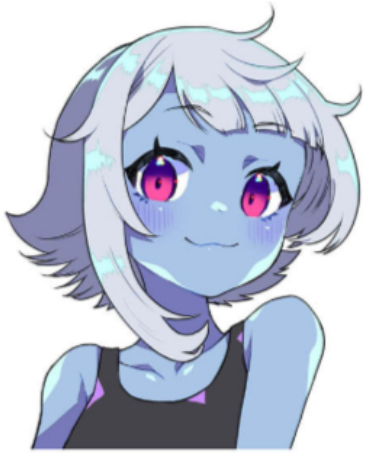
レッド系

RECIPE 11 クリムゾンフレア ▶

はっきりした高彩度の赤がファンタジー肌の上で強く映えます。非日常感あるキャラクターの「感情の核」として作用し、**感情が一瞬で伝わる印象的な瞳**をつくりだします。

R255 G84 B83 C0 M80 Y58 K0

R113 G0 B22 C52 M100 Y99 K36



レッド系

◀ RECIPE 12 ヘルガーネット

赤に青を加えて温度を落とした赤紫が特徴的な瞳。赤の持つ熱だけでなく、深みや奥行きを感じさせるため、**落ち着いた強さやミステリアスな雰囲気**を表現できます。ファンタジー系の肌でも派手になりすぎず、静かで上品な力を演出します。

R255 G83 B165 C0 M80 Y0 K0

R80 G0 B124 C87 M100 Y36 K1

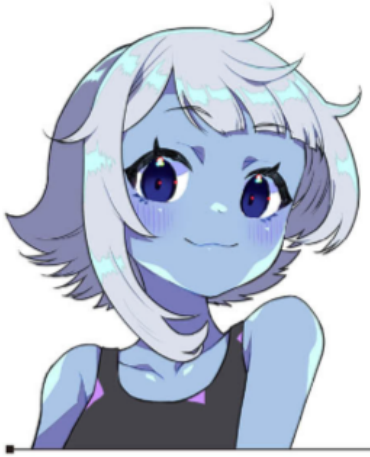
ブルー系

RECIPE 13 グレイシャーコア ▶

淡い青は高明度・低彩度にすることで、冷たさより透明感を強調。肌が濃い原色でも瞳が浮かず、**距離感や静けさを自然に表現**できる色です。

R218 G237 B255 C18 M4 Y0 K0

R116 G127 B147 C62 M49 Y35 K0



ブルー系

◀ RECIPE 14 アビサルブルー

暗い青は明度を落とすことで**青の冷たさを「深み」として処理して奥行きを表現**できます。吸い込まれるような深い瞳の色がキャラクターを印象付けます。

R46 G51 B136 C94 M92 Y17 K0

R13 G5 B53 C99 M100 Y65 K48

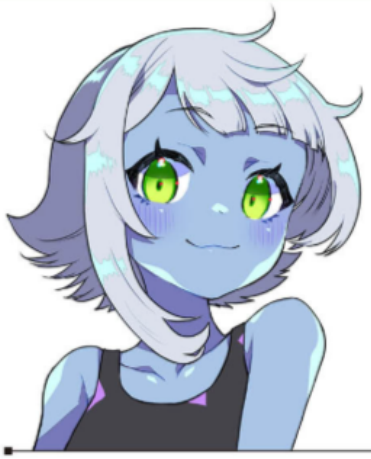
ブルー系

RECIPE 15 ネビュラネイビー ▶

彩度を抑えた濃い紺色は、黒の代わりに安心して使えます。鮮やかな肌の上でも瞳が沈まず、存在感をしっかり保ちながら画面全体を引き締めます。**派手になりすぎず落ち着いた雰囲気を出したいキャラクター**に向いています。

R76 G51 B163 C84 M88 Y0 K0

R2 G2 B65 C100 M100 Y62 K41



グリーン系

◀ RECIPE 16 フェイヴァーダント

鮮やかな緑が肌の色とのコントラストをつくり、瞳に生命感と動きを加えます。**赤や青系肌と特に相性がよく、活発で前向きなキャラクター性を演出**できます。

R219	C24	R51	C72
G255	M0	G179	M4
B104	Y67	B0	Y100
	K0		K0

グリーン系

RECIPE 17 ミスティックエメラルド▶

中〜高彩度の宝石のような緑は、肌に「特別な意味を持つ色」を添えたいときにばっちり。**神秘性、やさしさ、明るさがほどよく共存**しており、個性を演出しながらも扱いやすい、万能なファンタジーカラーです。

R200	C26	R0	C67
G255	M0	G213	M0
B205	Y31	B167	Y50
	K0		K0

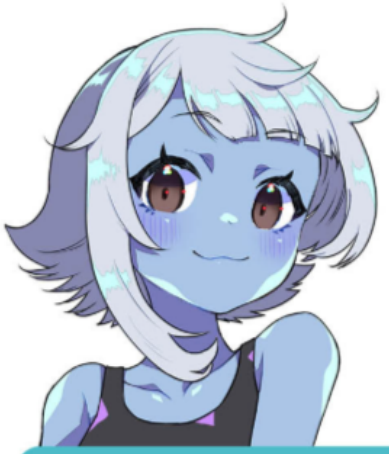
グリーン系

◀ RECIPE 18 ヴォイドモス

生命感を抑えた暗い緑が、重く不穏な雰囲気をつくりだします。**静かに迫ってくるような圧を出したいキャラクターや、謎めいた存在**を描きたいときにぴったりの瞳の色です。

R32	C87	R0	C93
G76	M61	G37	M72
B64	Y76	B27	Y88
	K30		K62

◆瞳の色にNGってあるの？



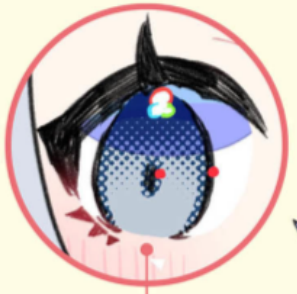
青や緑などの強い色情報を持つ肌において、**瞳は「色を整理する」、もしくは「対比を楽しむ」役割だと考えるとよい**でしょう。その中で、中彩度・中明度の濁った茶色を選ぶと、彩度も明度も控えめで色相の主張も弱く、肌の強さに埋もれてしまいがちです。その結果、視線の誘導がうまく働かず、キャラクターの表情が読み取りにくくなることがあります。見せたいキャラクターの特徴があいまいになるため、「無難な色」選びは慎重にしましょう。

R140	C54	R65	C70
G109	M61	G41	M80
B109	Y53	B41	Y75
	K1		K50

例えば親しみやすいキャラクターにしたい、茶色の瞳にも意味があるなど、理由があっての色選びならOK！ バランスを見ながら、魅力的に見える瞳の色を研究しよう

瞳の影をアレンジして印象を変えてみよう③

瞳の影のアレンジとして、形や色を変えるだけでなく質感を変えてみるのもおすすめです。ベタで塗る代わりに、あえて**ハーフトーン（ドット）を取り入れると、独特の軽さやポップさが生まれ**、マンガ的な表現にも近づきます。ドットの大きさを変えるだけでも印象が変わります。



ドットを大きくするとコミカルに、
小さくすると無機質なイメージに

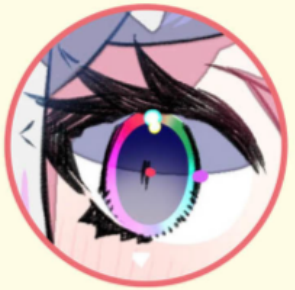
● その他の瞳のアレンジ

「投げ縄塗り」で不規則なパターンを作成して瞳に反映

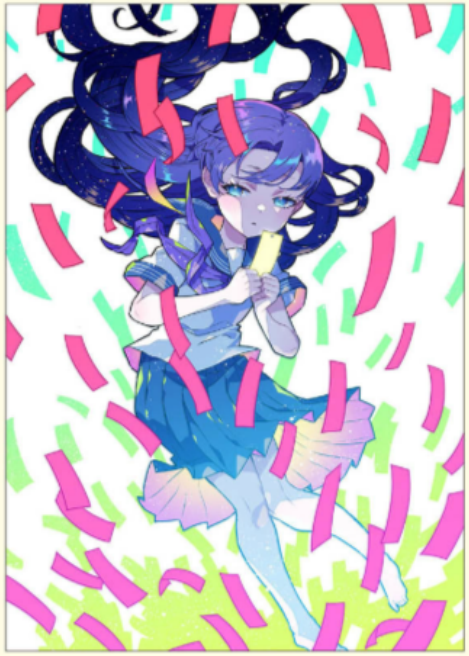
自分で撮影したダイヤモンドの写真をテクスチャとして瞳に使用（フリー素材などを利用する際は規約に注意しましょう）

さらに**イラスト全体のテーマに合わせて瞳のアレンジを変えるのもおすすめ**です。お姫様のイメージに合わせて瞳の中に星を散らばせてみたり、お絵描きをテーマにしたイラストでは瞳の虹彩をカラーサークル風にしてみたり、キャラの属性や世界観を瞳に反映させて、自由にアレンジを楽しんでみましょう。

瞳の中に星を散りばめてキラキラに



瞳の中にカラーサークルを取り入れて、キャラクターの個性をしっかり表現！



アレンジは加えず、あえて淡い塗り方にして、うつろな女の子の感情を表現。瞳を明るくすることで、顔に視線がいく

髪と瞳の組み合わせを楽しもう

本書で紹介している色バリエーションを組み合わせてどのような雰囲気のキャラクターが生まれるのか、色の響き合いから得られるイメージを実際に見てみましょう。

● オレンジベースの肌×黒髪×赤瞳

黒髪の「**RECIPE 2 スモークチャコール**（71ページ）」と赤瞳の「**RECIPE 11 サーモンコーラル**（106ページ）」の組み合わせ。

黒髪の重厚さと赤瞳のコントラストが、物語性を感じさせ、静と動の両面を持つ魅力的な人物像になります。日常では控えめでも、どこか神秘性を感じさせる。そんな二面性を感じさせる組み合わせです。

● ブルベ肌×黄色髪×緑瞳

黄色髪の「**RECIPE 6 ムーンライトブロンド**（82ページ）」と緑瞳の「**RECIPE 16 ミントグレーズ**（124ページ）」の組み合わせ。

青みがかった肌に、白に近いブロンドが合わさり、まるで薄氷の上に月の光が落ちたような印象に。そこに緑の瞳を組み合わせることで、やわらかな色調の中に知性や神秘性が差し込みます。控えめながらも気品があり、自然な輝きが表現できる、繊細な色のハーモニーです。

● 濃い褐色肌×緑髪×黄色瞳

緑髪の「**RECIPE 11 エデングリーン**（94ページ）」と黄色瞳の「**RECIPE 8 ロイヤルゴールド**（137ページ）」の組み合わせ。

力強さや生命力を感じさせる褐色肌に緑の髪を合わせることで「大地の精霊」のような神秘的なイメージに。さらに黄色い瞳によって、野性味や鋭さがプラスされます。ワイルドで存在感の強い組み合わせです。

● ファンタジー肌×赤髪×赤瞳

赤髪の「**RECIPE 7 ブラッドコーラル**（97ページ）」と赤瞳の「**RECIPE 10 ブラッドルーン**（146ページ）」の組み合わせ。

キュートさもあるピンクが、ファンタジー肌の異質さをやわらげ、親しみやすさを生みます。肌そのものがファンタジー色の場合、瞳と髪を同系色でまとめると伝えたいイメージがより鮮明になります。

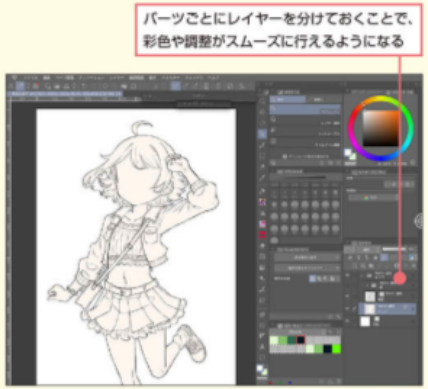
髪と瞳の色相を合わせるのか、反対の補色を選ぶのかによってキャラの印象を左右したり、意外性をもたせることができるのである!

配色レシピを使って色塗りしてみよう

本書で紹介する「配色レシピ」を使いながら、実際にキャラクターの色塗りに挑戦してみましょう。キャラクターの性格や描きたいイラストの雰囲気に合う色の選び方、そして洋服の配色をどのように決めていくのか、わかりやすく解説していきます。

1 線画を描いてレイヤー分けする

CLIP STUDIO PAINT で線画を完成させたら、肌や瞳、髪、洋服など、各パーツのベースカラーを塗り分けるためのレイヤーを準備します。



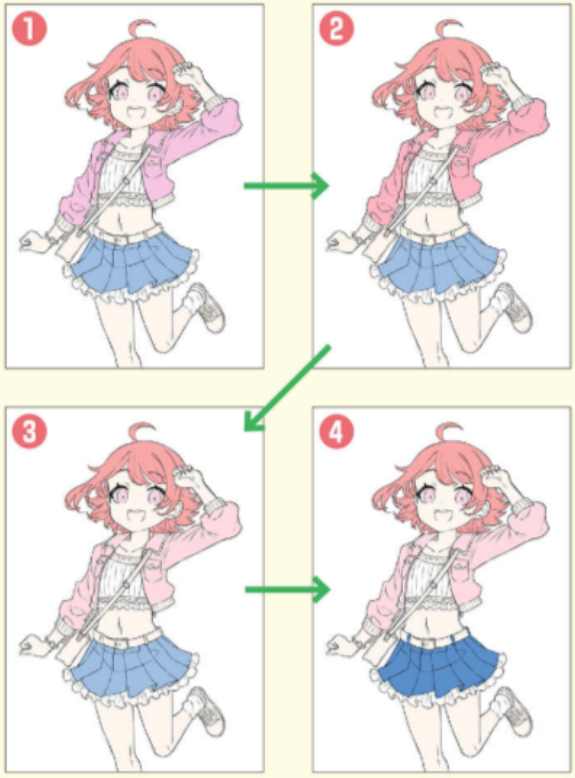
2 肌の色と髪の色に合わせて瞳の色を選ぶ

肌の色は、間違いなく「かわいく仕上がる」鉄板の「**オレンジベース・クリアライト**（44 ページ）」を選択。透明感が出るためキャラクターのフレッシュな雰囲気を引き立ててくれます。かわいらしさを表現したかったので、髪の色は「**ローズコーラル**（72 ページ）」に！

ここで悩んだのが瞳の色。肌と髪のどちらもオレンジ系が強いため、髪色を引き立てる補色寄りにするべきか、同系統でまとめるべきか……。「**ローズクォーツ**（106 ページ）」と「**スチールブルー**（107 ページ）」で悩み、ローズクォーツが持つ「大人っぽさ」と「子どもらしさ」が同居したニュアンスがキャラクターに合うと判断しました。

3 服の色を決める

服の配色レシピは本書にはありませんが、ここまでの工程で決めた**肌・髪・瞳の色を基準にすれば、服の色も方向性が明確になり、それをもとに調整**できます。ジャケットとスカートは面積が大きく全体の印象を左右するため、まずここから配色を決めます。春らしい雰囲気にするため、ジャケットはピンク系、スカートはブルー系にしました。色の方向性が決まったら、細かく調整していきます。



❶❷試しに置いた色は、髪色（黄みピンク）に対し、ジャケットの青みピンクの色味がぶつかって見えるため、黄み寄りのピンクに変更。先程より髪となじみ、全体がまとまりました。

❸さらに、色相を少しずらして差をつけ、肌と髪になじむ色を探します。髪と同じ彩度ではシルエットがぼやけるため、ジャケットは淡いパステルピンクで春らしさをよりいっそう感じられる仕上がりに。

❹全体を見たときにメリハリが出て、ほどよい引き締め効果が出るように、スカートは明度を少し落として濃いめに設定。

4 小物などの色を決める

ジャケット、スカートの色が決まったので、その他衣装・小物の色を決めていきます。ここで悩んだのがポシェットの色。最初は春らしい黄色を試しましたが、アクセントとしてはよいものの、やや幼い印象になってしまい再検討することに。

白や同系色のピンクだとほかの衣装に溶け込みすぎて存在感が薄れてしまうし、逆に濃い色を使うと悪目立ちして大人っぽさが強く出てしまうね

いろいろと試しながら、しっくりくる色を見つけていくよ

最終的には淡いグリーンを選び、さりげないアクセントとして効かせつつ、こなれた印象のコーディネートに仕上げました。パステルグリーンがジャケットとスカートの色を自然につなぎ、両方の色味に新鮮さを加えてくれています。

色選びが完了！　あとは影を塗って仕上げをしていくぞ

5 影を塗る

まずは、影の色があらかじめ決まっている肌・髪・瞳から塗り進めます。**髪（ローズコーラル）の影は明度が低めなので、服の影もそれに合わせて、近い彩度・明度の色を選んで塗る**とよいでしょう。影の色味に一貫性が生まれ、全体の調和が取りやすくなります。また、髪と服の影が大きくズレていると、キャラクターの立体感がちぐはぐに見えてしまうため、**同系統の暗さに揃える**ことで自然な陰影表現ができます。

肌、髪、瞳の影は、本書の配色レシピの影色をそれぞれ使用!

白系のトップスやスカートのフリルに用いる影色は、ピンク系でやわらかさを補うか、青系で清涼感を強調するかで悩みました。青を使うと、白地とのコントラストが強く、やや硬く見えてしまうため、今回は全体に**軽さとあたたかさの両方を表現できるピンク系の影色を採用**しています。

どんな印象を与えたいかを考えながら色選びをするのである

6 ハイライトを入れて仕上げをする

全体にハイライトを追加します。衣装のハイライトには、爽やかさが出るようにグリーン系の色味を多めに使用。**各パーツのハイライトは同じ色で統一せず、少しずつ色相を変えることで画面全体の情報量が増え、メリハリが生まれます。**これで一通りの塗りが完了！

さらにクオリティアップのため、髪の毛にハードライトレイヤーを追加。春らしさをより強調するチェリーピンクをグラデーションで髪の毛に入れて華やかな印象に

肌と相性のよいオレンジ系のチークを入れて、健康的で血色のよさを強調

青みのある色で反射光を入れる

仕上げにスクリーンレイヤーを追加し、地面からの反射光をイメージした青系の光を追加して立体感を強めました。本来の色やハイライトの印象を損なわないように、反射光は控えめにしています。

春っぽい光が飽和したあたたかさを表現するため、全体的に線画に色を付け（色トレス）、塗りと線画をなじませた

完成！

［デザイン］
石川 健太郎

［DTP］
広田 正康

［編　集］
古田 由香里

迷わず塗れる！肌の色から決める

キャラ塗り配色レシピ

2026年3月17日　初版第1刷発行・電子版 ver1.00

［著　者］
ディープブリザード

［発行者］
角竹 輝紀

［発行所］
株式会社 マイナビ出版
〒101-0003　東京都千代田区一ツ橋 2-6-3 一ツ橋ビル 2F
☎ 03-3556-2736（編集）
編集問い合わせ先　pc-books@mynavi.jp
URL　https://book.mynavi.jp

©2026 ディープブリザード
Printed in Japan

■■本書掲載内容の無断転載を禁じます。
■本書は著作権法上の保護を受けています。本書の無断複写・複製（コピー、スキャン、デジタル化等）は、著作権法上の例外を除き、禁じられています。
■本書についてご質問等ございましたら、マイナビ出版の下記URLよりお問い合わせください。お電話でのご質問は受け付けておりません。また、本書の内容以外のご質問についてもご対応できません。
https://book.mynavi.jp/inquiry_list/

迷わず塗れる！ 肌の色から決める

キャラ塗り配色レシピ。

ディープブリザード

マイナビ